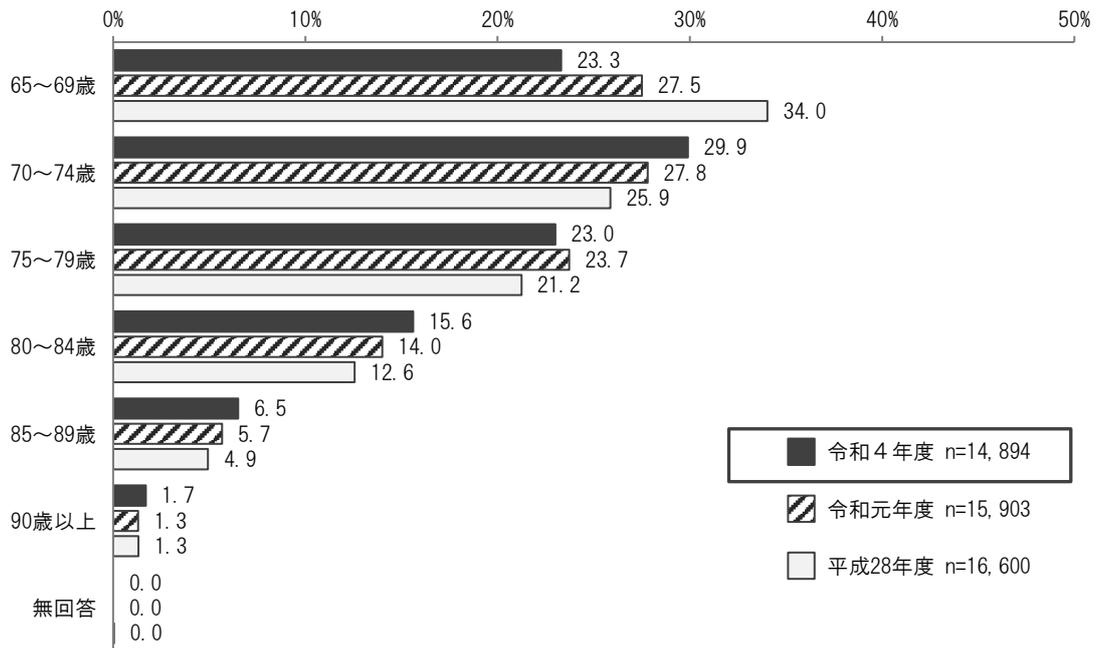


第2章 一般高齡者調査

1 回答者の基本属性

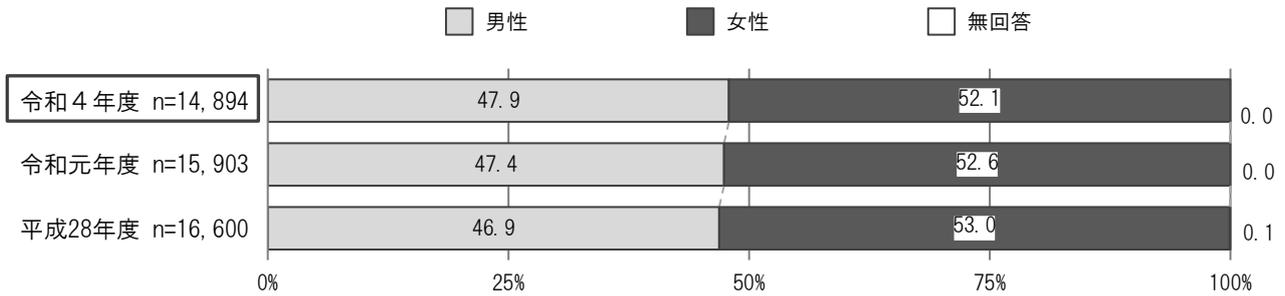
(1) 年齢

図表 2-1-1



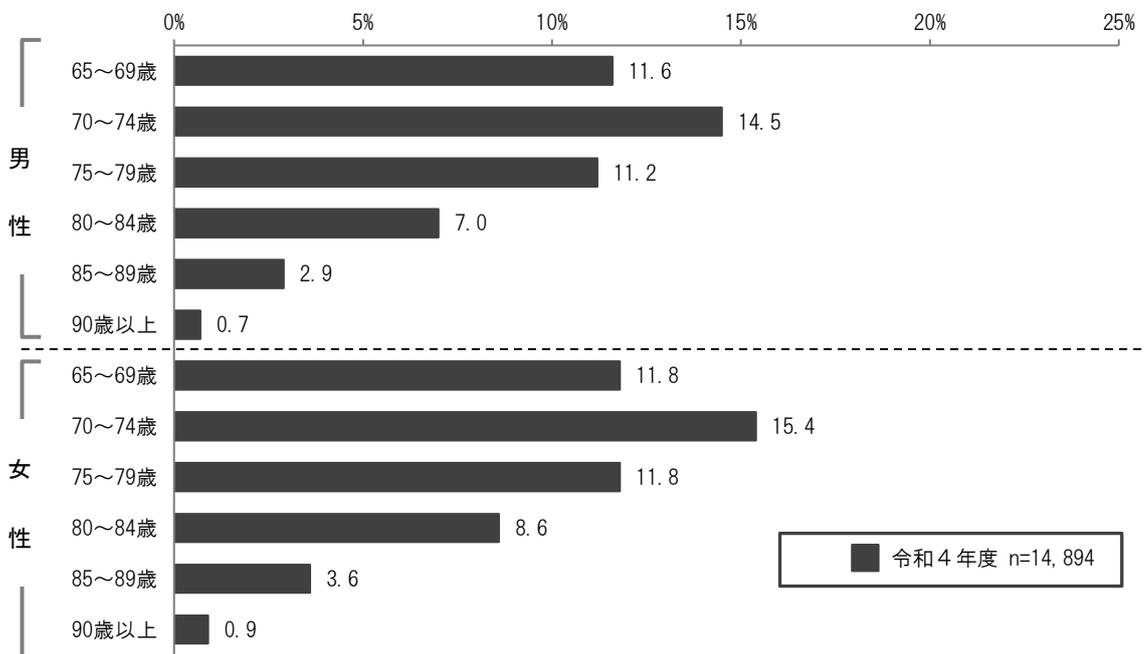
(2) 性別

図表 2-1-2



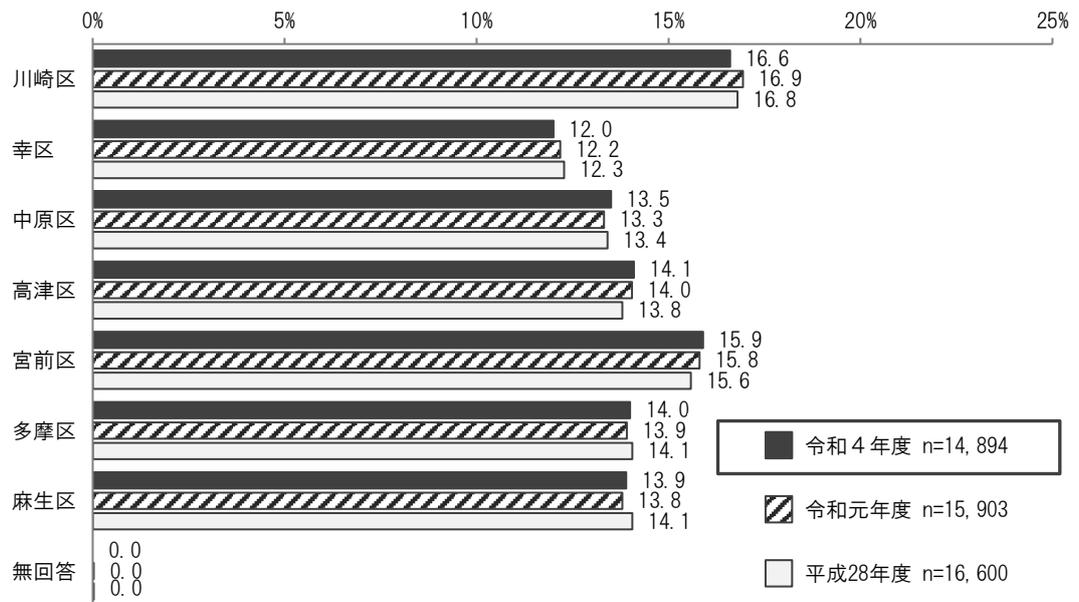
(3) 性別・年齢

図表 2-1-3



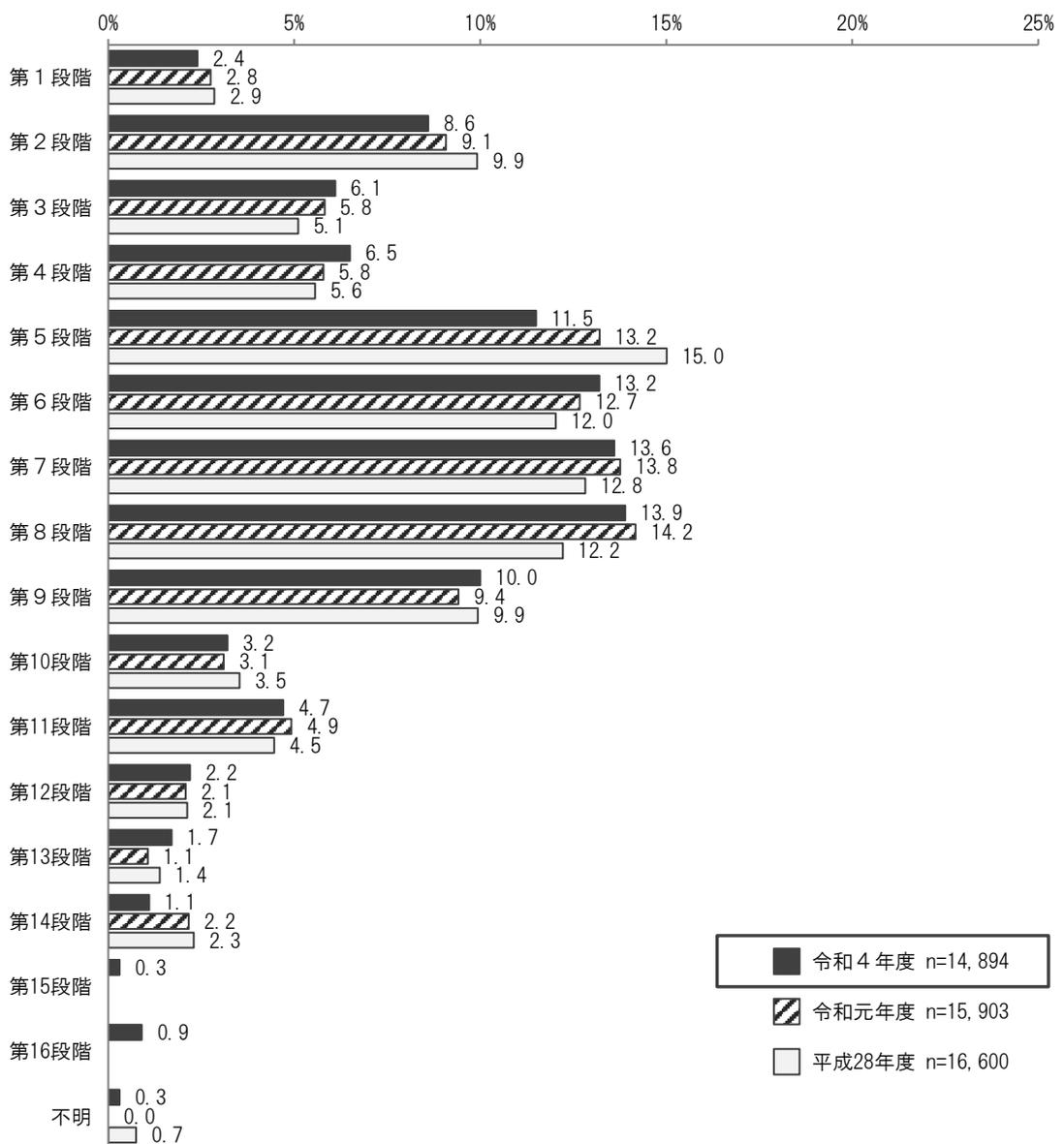
(4) 居住区

図表 2-1-4



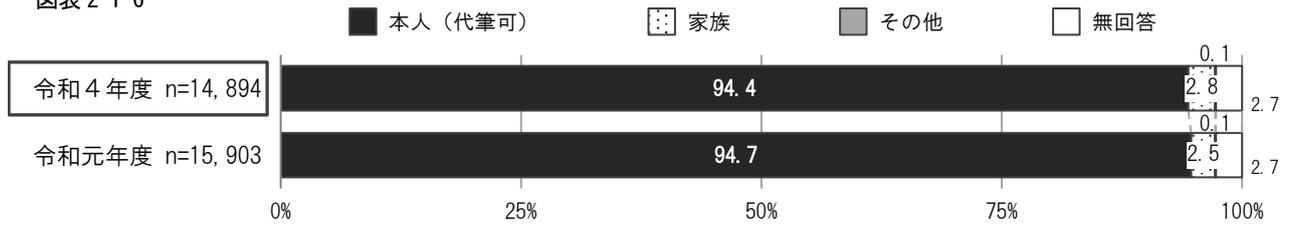
(5) 介護保険料段階

図表 2-1-5



(6) 調査票の回答者

図表 2-1-6

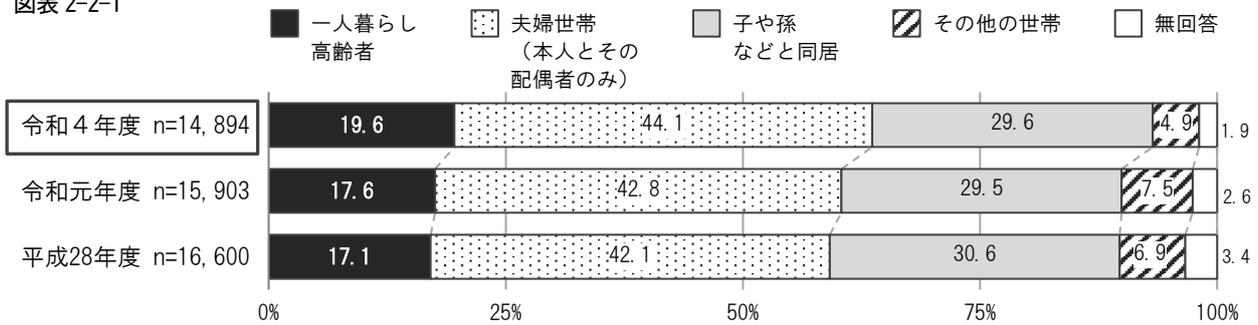


2 ご自身の状況について

問1 あなたの家族構成を教えてください。(1つの番号に○)

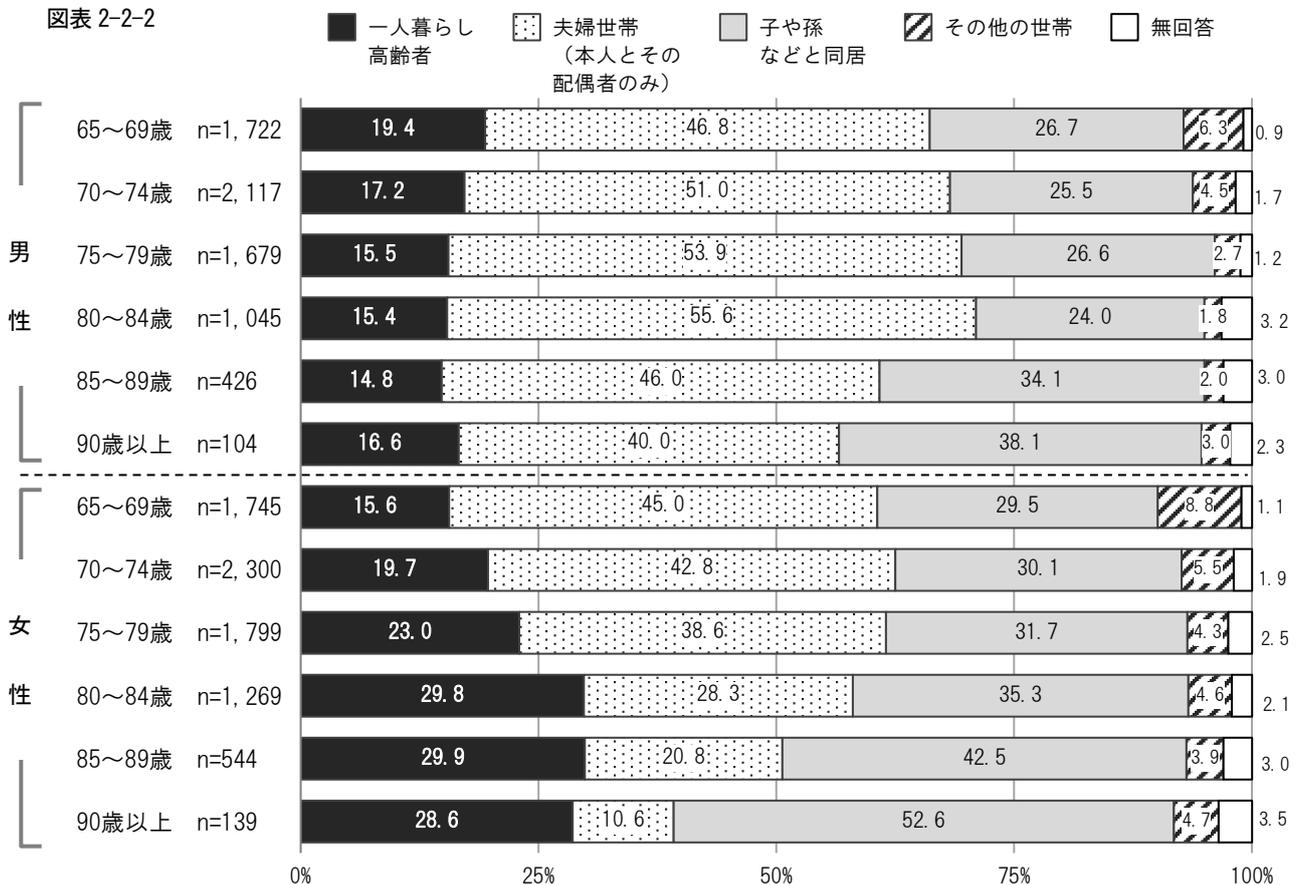
▶ 「一人暮らし高齢者」の割合が前回調査より微増し、約2割となっている

図表 2-2-1



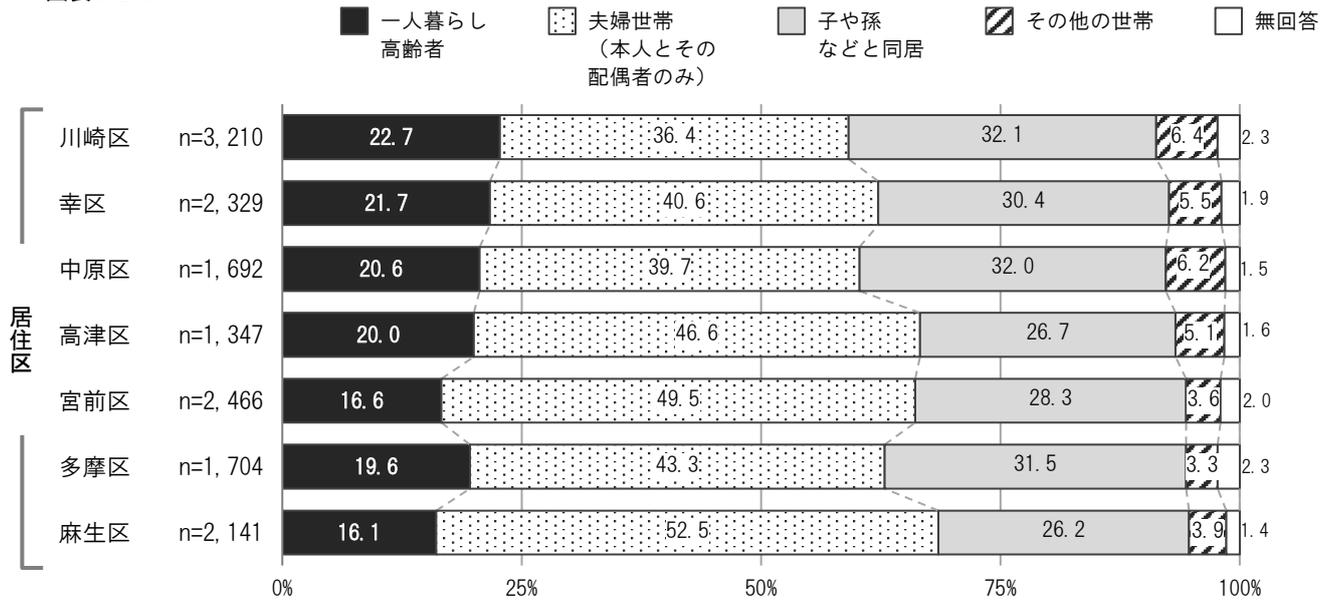
▶ 80歳以上の女性について、「一人暮らし高齢者」の割合が約3割となっている

図表 2-2-2



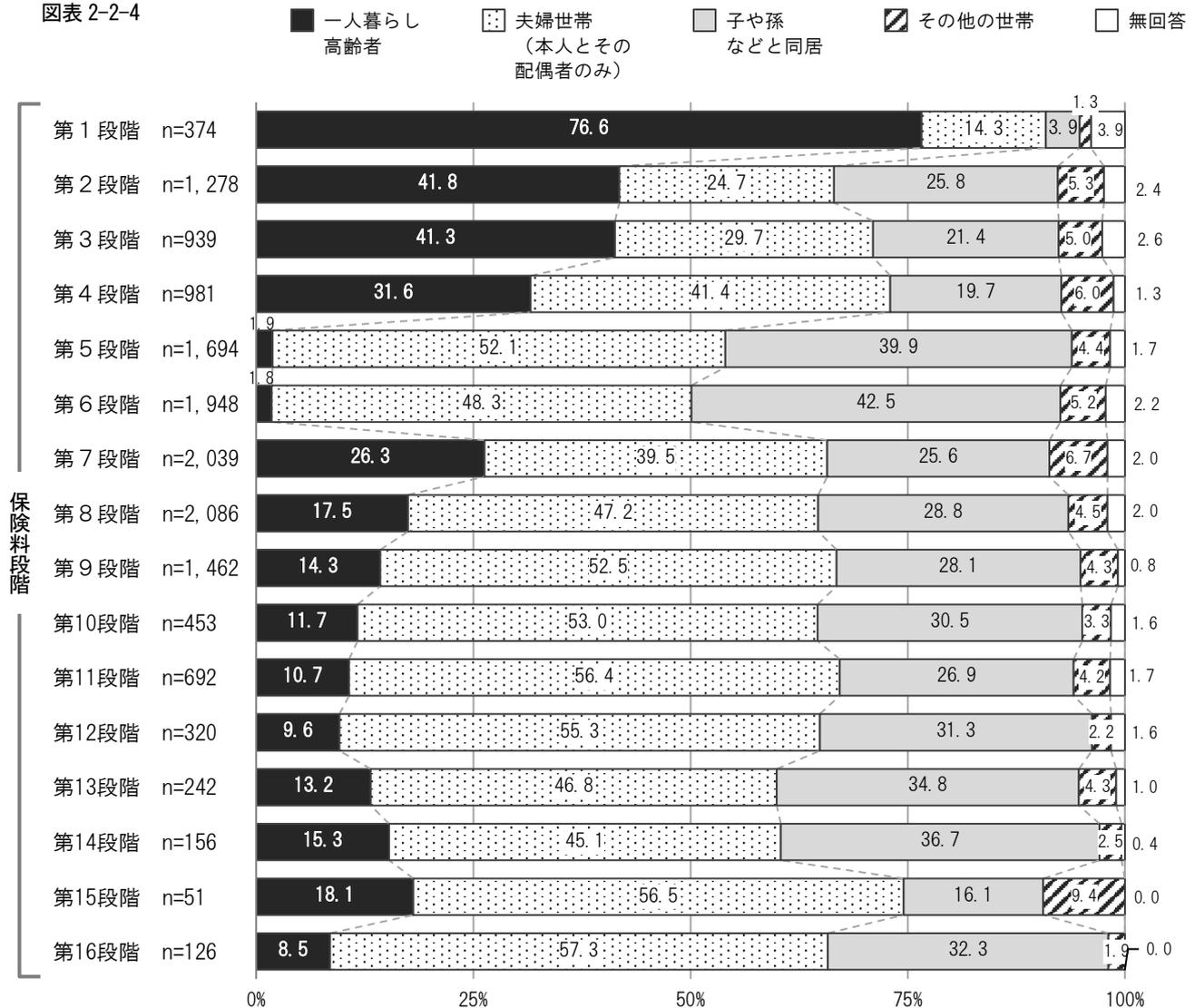
▶ 「川崎区」では「一人暮らし高齢者」の割合が2割を超えている

図表 2-2-3



▶ 保険料段階の「第1段階」の人について、「一人暮らし高齢者」の割合が8割弱となっている

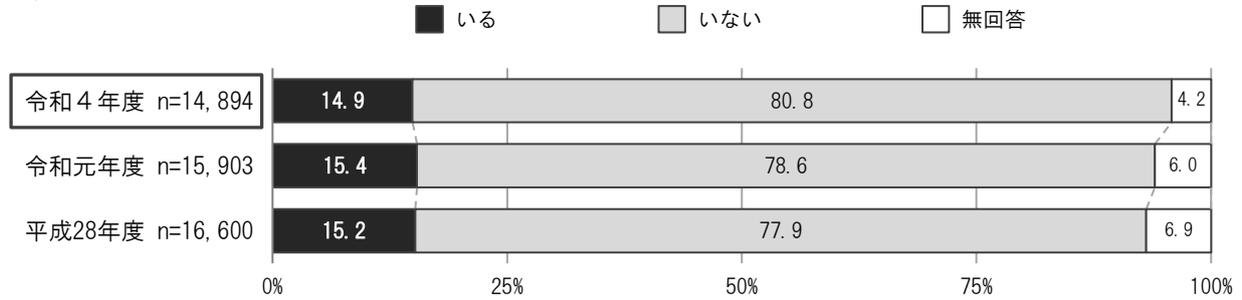
図表 2-2-4



問2 あなたの同居の家族の中には、身のまわりの手助けや見守りを必要とする人がいますか。
(主なもの1つの番号に○)

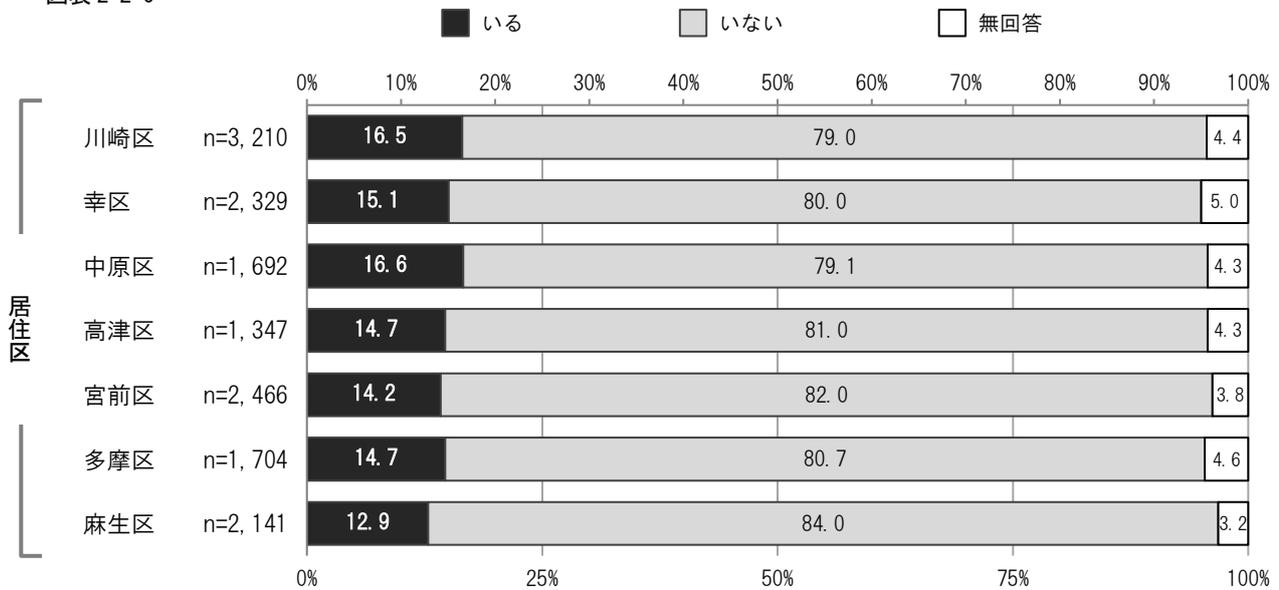
▶ 同居家族に身のまわりの手助けや見守りを必要とする人が「いる」割合は前回調査から変化はなく、1割を超えている

図表 2-2-5



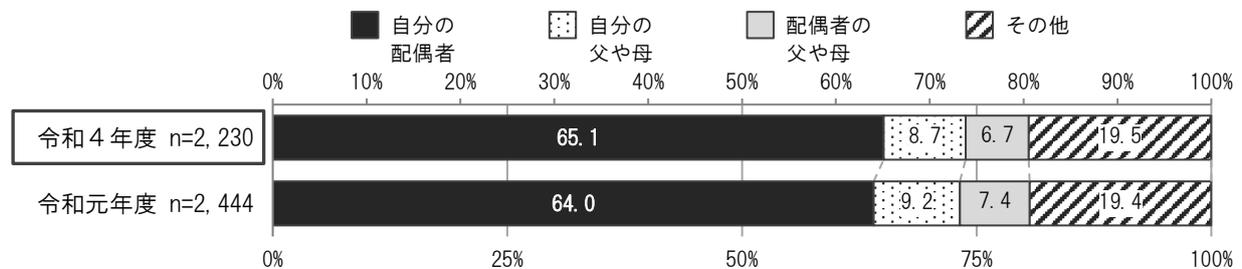
▶ 「川崎区」「中原区」では同居家族に身のまわりの手助けや見守りを必要とする人が「いる」割合が2割弱となっている

図表 2-2-6



▶ 手助け等を必要とする人について、「自分の配偶者」の割合が6割を超えている

図表 2-2-7 「いる」人の内訳

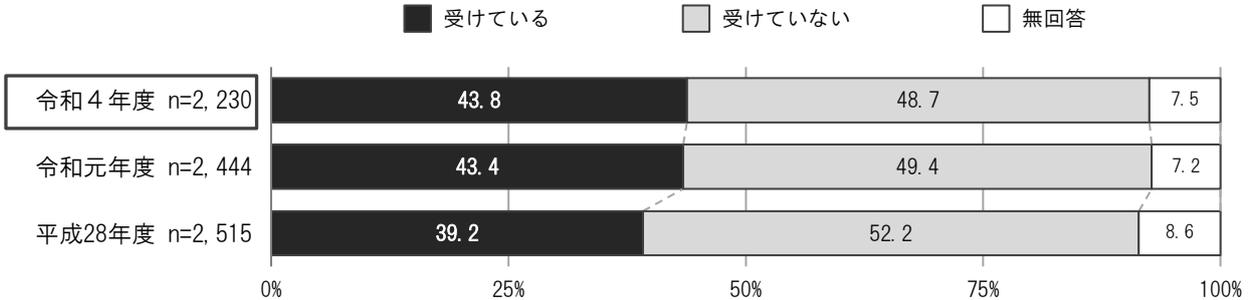


問2-1 手助けや見守りを必要とする方は、介護保険の認定を受けていますか。

(1つの番号に○)

▶ 手助け等を必要とする人の介護保険の認定を「受けている」割合は前回調査から変化はなく、4割を超えている

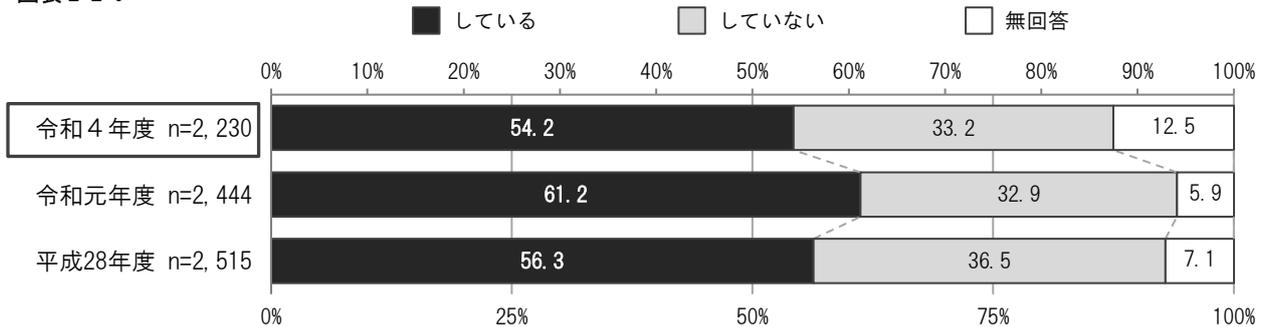
図表 2-2-8



問2-2 あなたが主に手助けや見守りをしていますか。(1つの番号に○)

▶ 回答者本人が手助け等を行っている割合が5割を超えている

図表 2-2-9



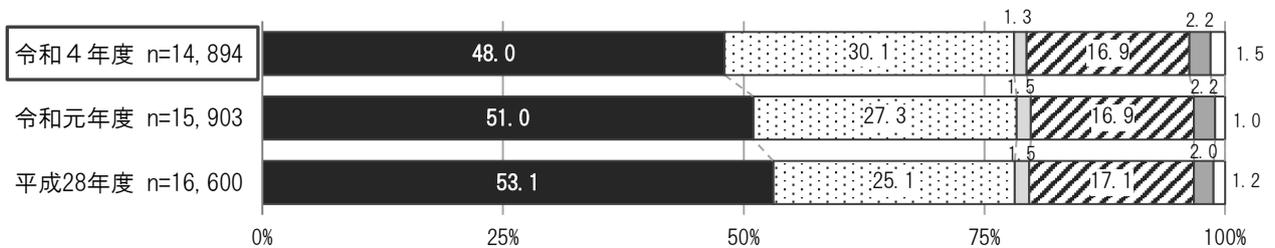
3 住まいについて

問3 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(1つの番号に○)

▶ 「持ち家・一戸建て」が約5割で最も高いが、割合は減少傾向となっている

図表 2-3-1

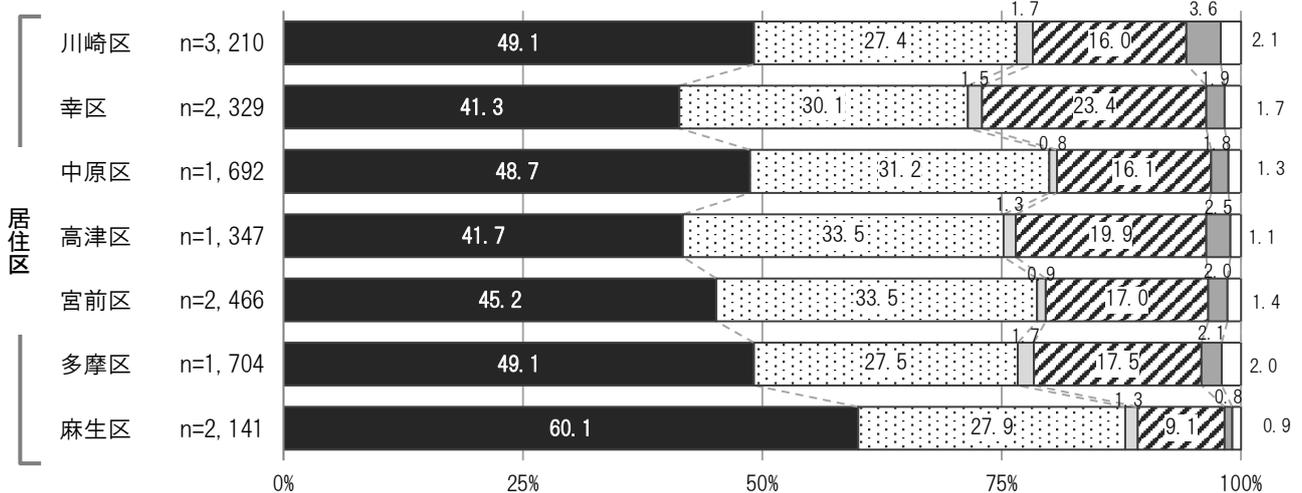
持ち家・一戸建て
 持ち家・集合住宅
 借家・一戸建て
 借家・集合住宅
 その他
 無回答



▶ 「幸区」では「借家・集合住宅」の割合が高く、2割を超えている

図表 2-3-2

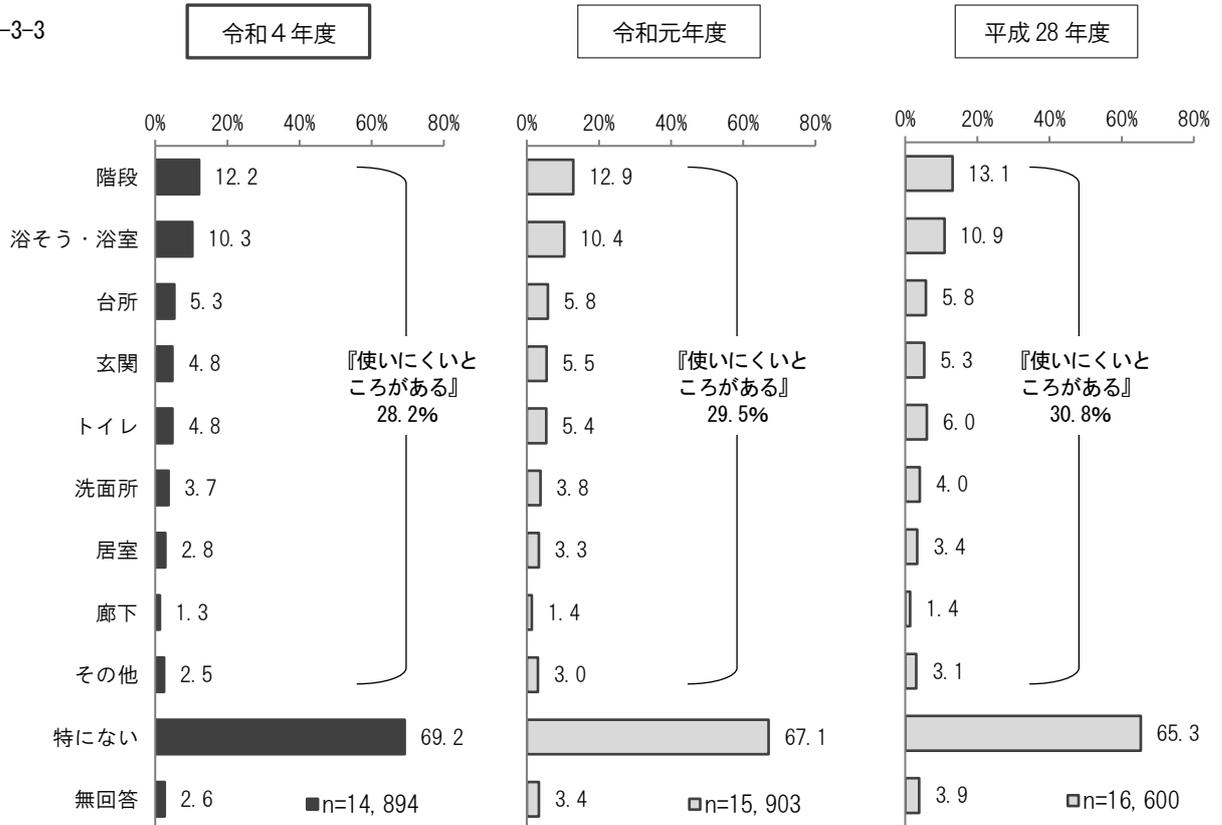
持ち家・一戸建て
 持ち家・集合住宅
 借家・一戸建て
 借家・集合住宅
 その他
 無回答



問4 あなたの現在のお住まいで、使いにくいところがありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 現在のお住まいで、「使いにくいところがある」と感じる人の割合は減少傾向にあるものの、約3割が使いにくいところがあると感じている

図表 2-3-3



※『使いにくいところがある』=100%-「特にない」-「無回答」

▶ 「一人暮らし高齢者」では「浴そう・浴室」を使いにくいと感じる割合が高くなっている

図表 2-3-4

単位：%

項目	回答者数(人)	階段	浴そう・浴室	台所	玄関	トイレ	洗面所	居室	廊下	『使いにくいところがある』	
全体	14,894	12.2	10.3	5.3	4.8	4.8	3.7	2.8	1.3	28.2	
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	11.0	12.9	5.8	3.8	5.7	4.6	2.5	1.0	29.7
	夫婦世帯	6,513	12.7	9.9	5.1	4.9	4.8	3.8	2.3	1.3	28.1
	子や孫など同居	4,375	12.8	8.8	5.5	5.2	3.9	3.2	3.6	1.4	27.7
	その他の世帯	749	10.8	13.5	5.2	5.7	6.9	4.1	4.0	0.9	31.0

※「その他」「特にない」「無回答」は掲載を省略

※『使いにくいところがある』=100%-「特にない」-「無回答」

4 日常生活について

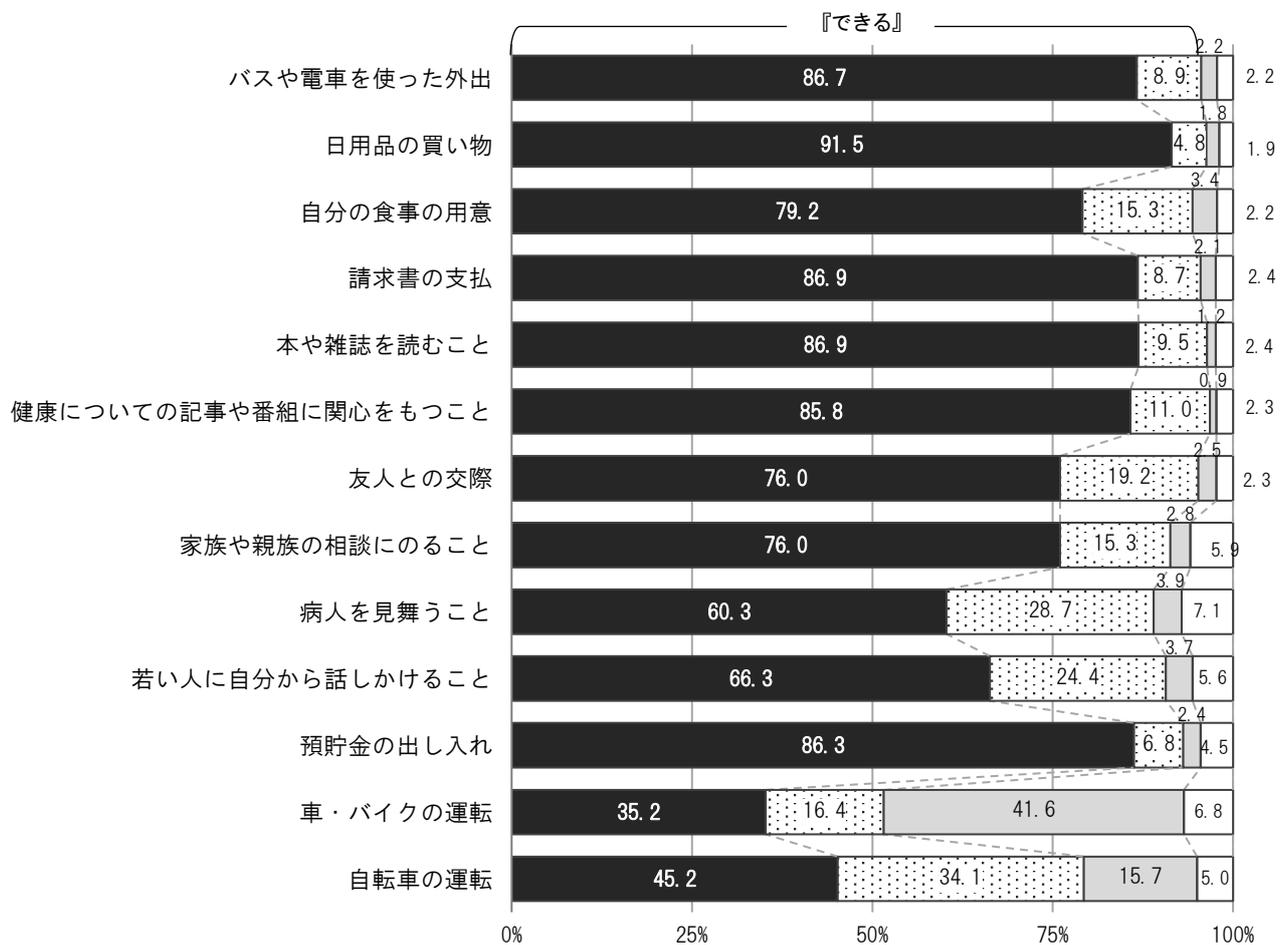
問5 あなたは次の①～⑬のそれぞれの生活行為について、自分一人ですみますか。またして
いますか。(①～⑬のそれぞれの生活行為ごとに1つの番号に○)

▶ 「できるし、している」「できるけど、していない」を合わせた『できる』の割合について、「車・バイクの運転」は約5割「自転車の運転」は約8割となっており、その他はおおむね9割が「できる」となっている

図表 2-4-1

令和4年度

■ できるし、している ▨ できるけど、していない □ できない □ 無回答
n=14,894



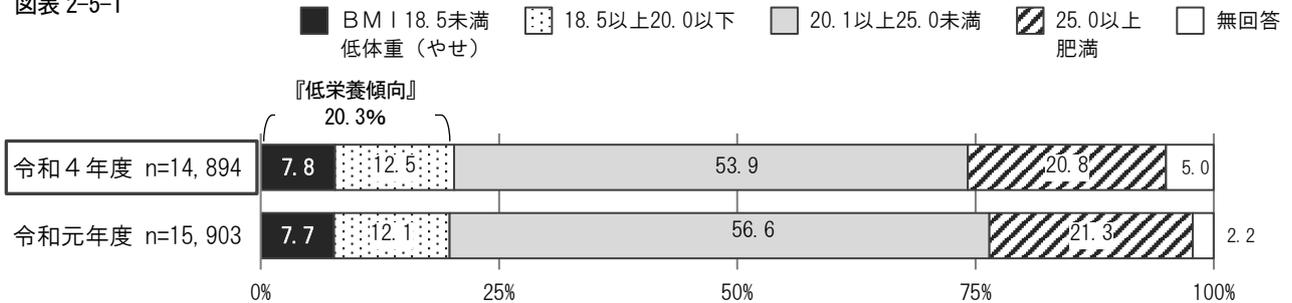
※『できる』＝「できるし、している」＋「できるけど、していない」

5 健康状態について

問6 あなたの身長と体重をご回答ください。(数字で記入) ⇒BMI^{※1}の算出

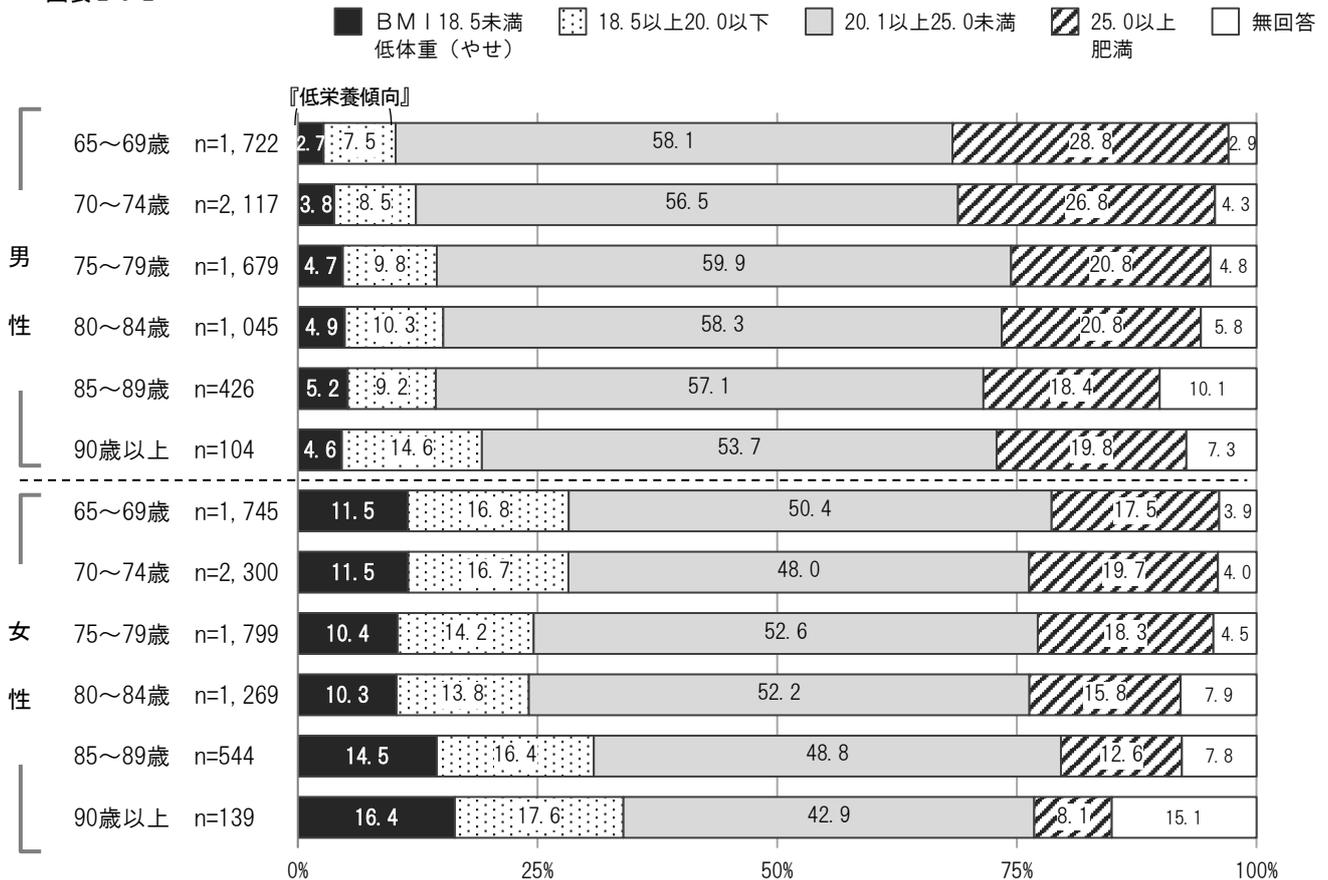
▶ BMIに基づく体格の傾向について、前回調査から大きな変化はなく、18.5未満の「低体重(やせ)」が約1割、BMI 20.0以下の「低栄養傾向^{※2}」が約2割となっている

図表 2-5-1



▶ 85～89歳の女性について、「低栄養傾向」の割合が約3割となっており、90歳以上の女性は3割を超えている

図表 2-5-2



※1 BMI : Body Mass Index (ボディマスインデックス) の頭文字をとったもの。体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される体格指数で、肥満や低体重(やせ)の判定に用いられる。

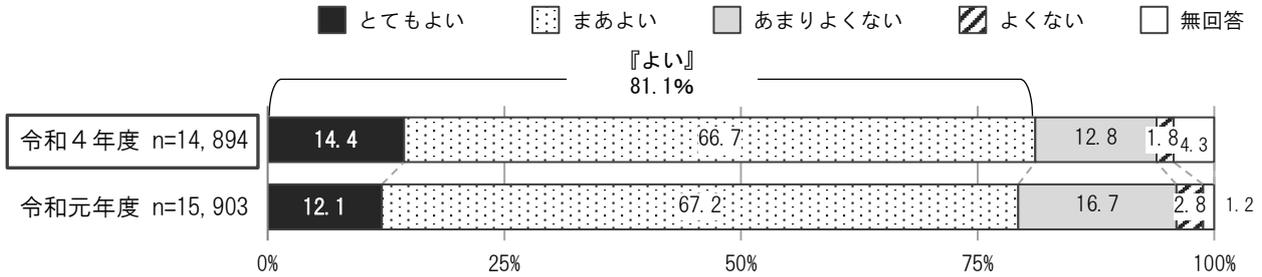
日本肥満学会の定めた基準では、BMI 18.5未満を「低体重(やせ)」、18.5以上25未満を「普通体重」、25以上を「肥満」としている。

※2 健康日本2 1 第二次(高齢者の健康)ではBMI 20以下を「低栄養傾向」としている。

問7 あなたの健康状態はいかがですか。(もっとも近い1つの番号に○)

▶ 「とてもよい」「まあよい」を合わせた健康状態が『よい』と感じている割合が前回調査より微増し、約8割となっている

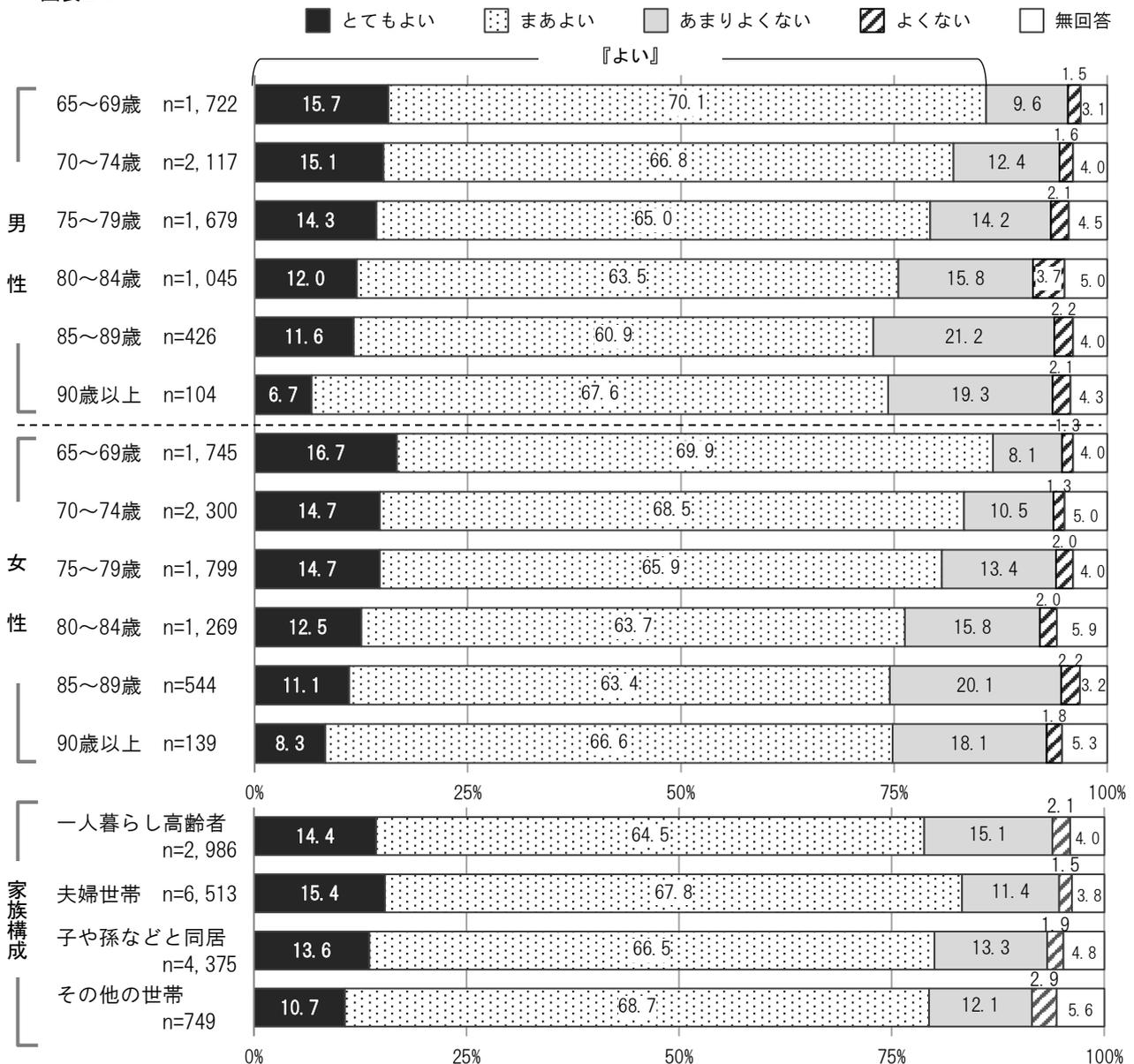
図表 2-5-3



※『よい』 = 「とてもよい」 + 「まあよい」

▶ 65～69歳の女性について、健康状態が『よい』と感じている割合が9割弱となっている

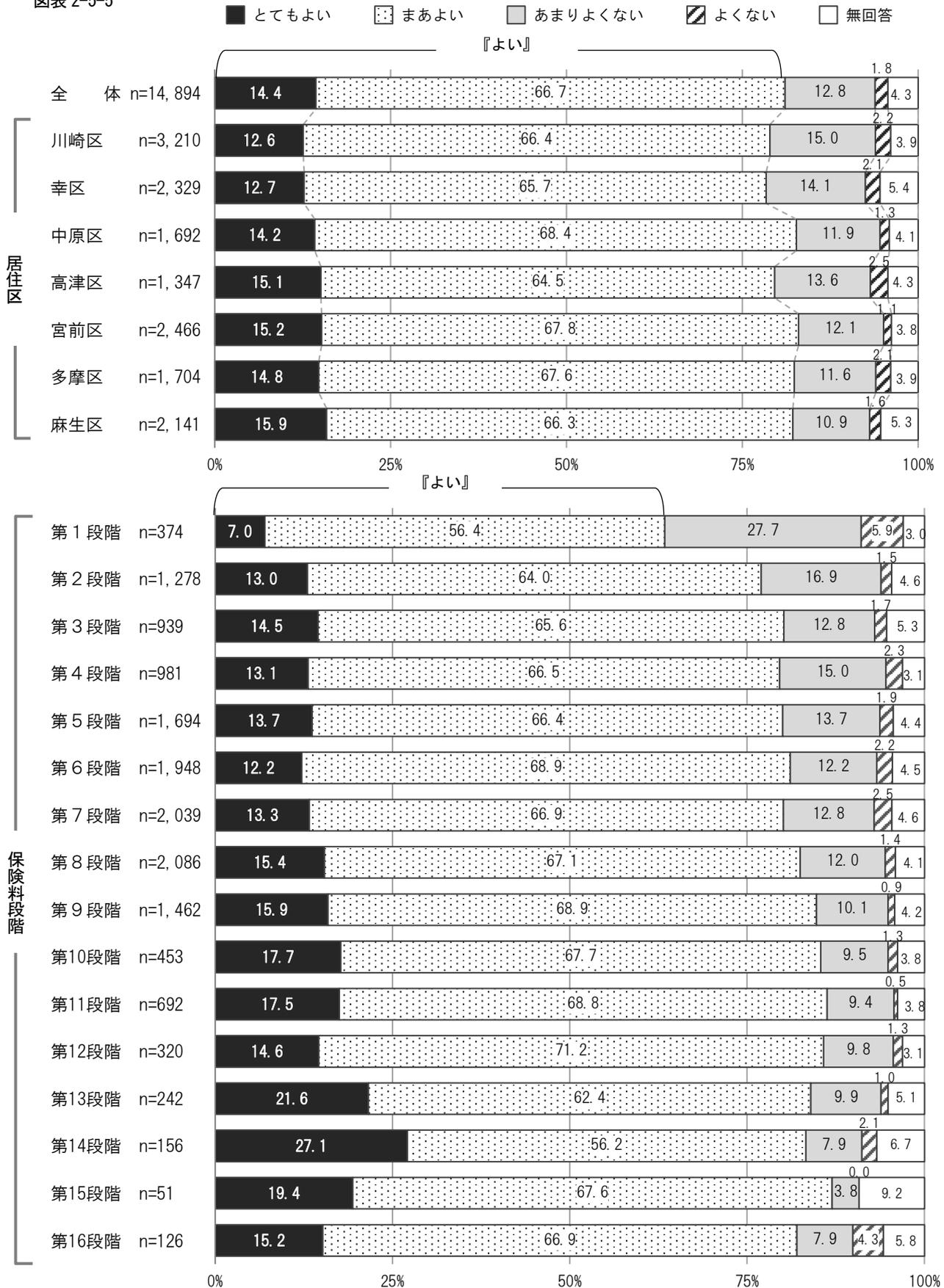
図表 2-5-4



▶ 「宮前区」では健康状態が『よい』と感じている割合が8割を超えている

▶ 保険料段階の「第1段階」の人について、健康状態が『よい』と感じている割合が6割を超えるにとどまっている

図表 2-5-5

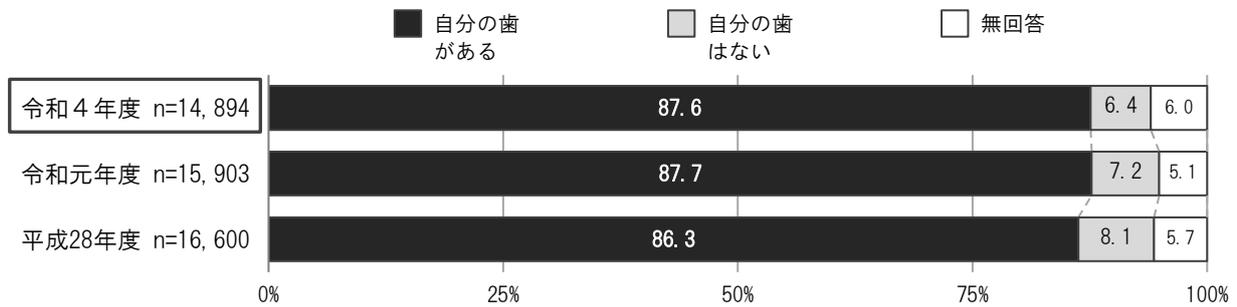


問8 あなたの身体の状態について、ご回答ください。

① 現在、自分の歯は何本ありますか。(1つの番号に○)

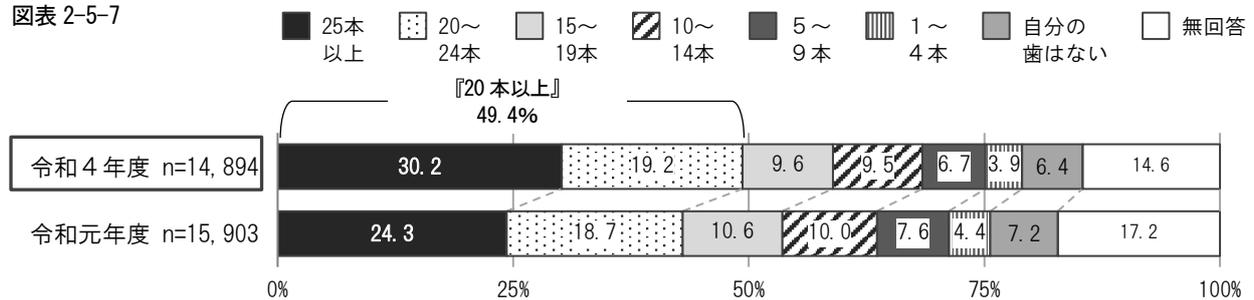
▶ 「自分の歯がある」人の割合は前回調査から変化はなく、約9割となっている

図表 2-5-6



▶ 歯が『20本以上』ある人の割合が前回調査より増加し、約5割となっている

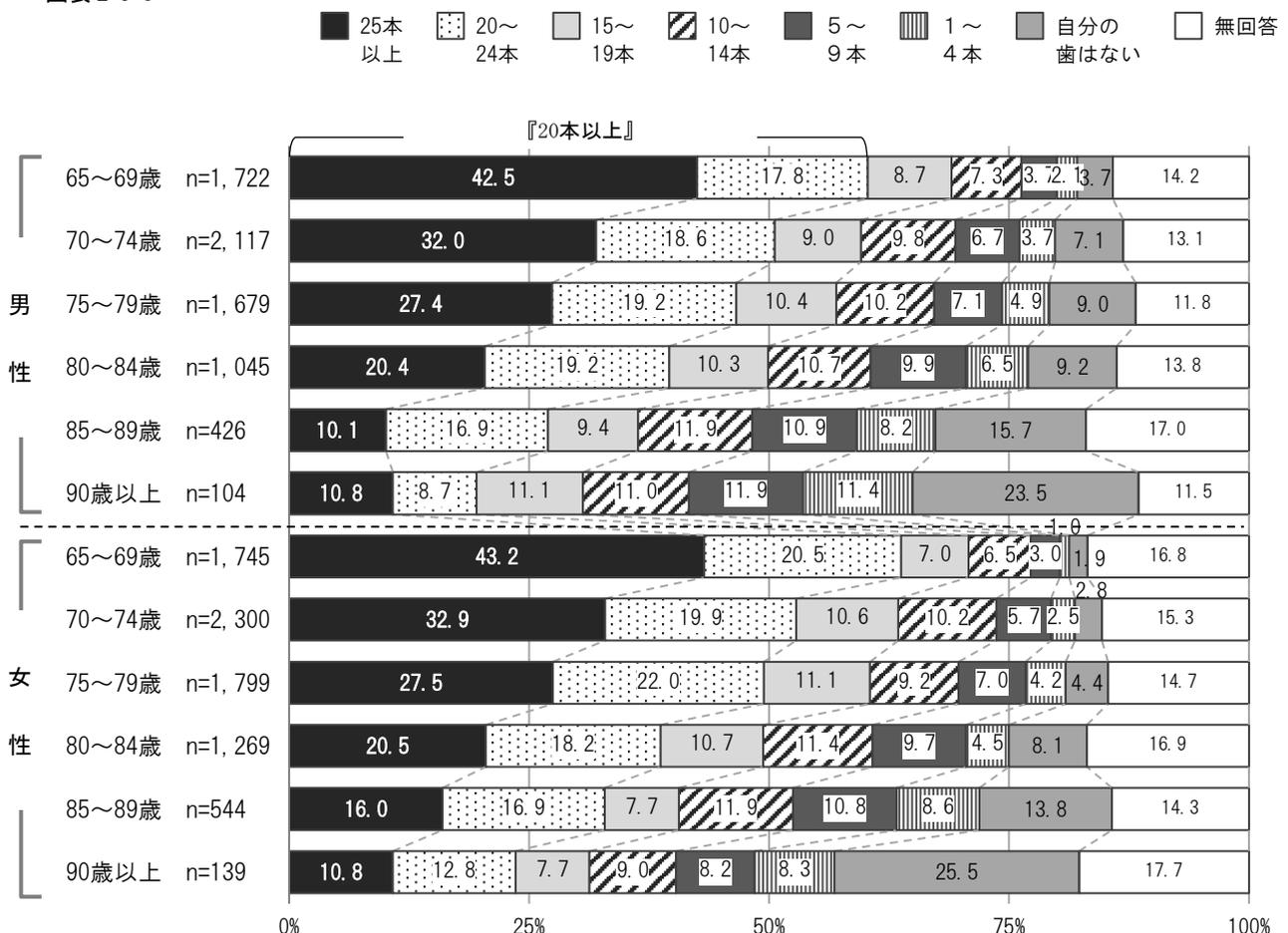
図表 2-5-7



※ 『20本以上』 = 「25本以上」 + 「20~24本」

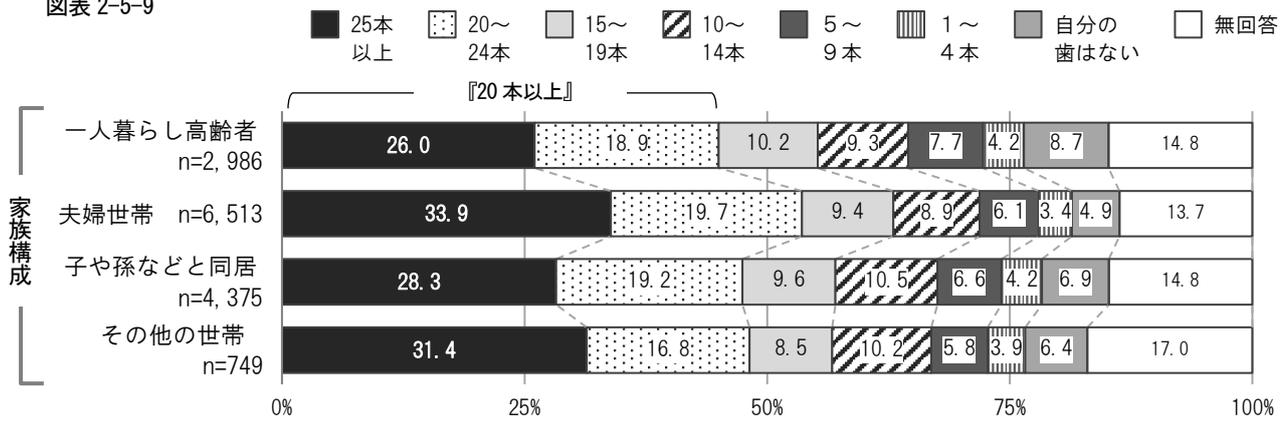
▶ 男女ともに74歳まで、歯が『20本以上』ある人の割合が5割を上回っている

図表 2-5-8



▶ 「一人暮らし高齢者」について、歯が『20本以上』ある人の割合は4割を超えるにとどまっている

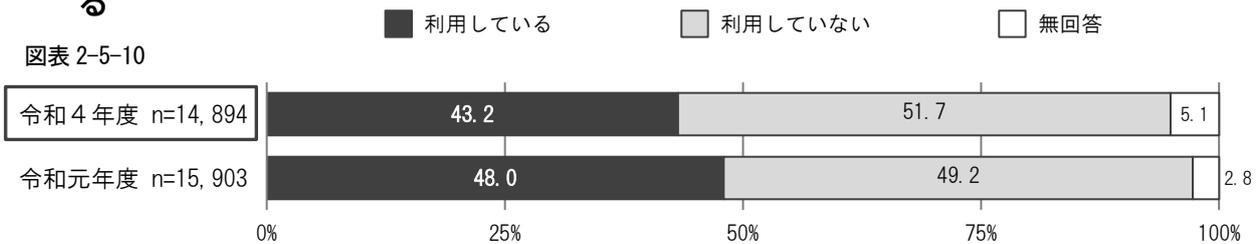
図表 2-5-9



問8-② 入れ歯を利用していますか。(1つの番号に○)

▶ 入れ歯を「利用している」人の割合が前回調査より減少し、4割を超えるにとどまっている

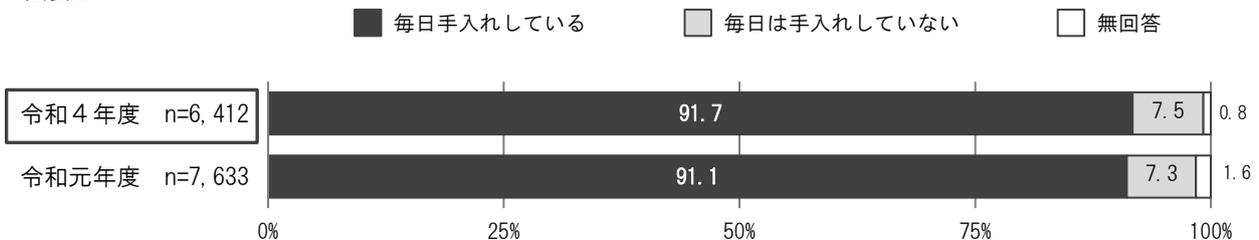
図表 2-5-10



問8-③ 入れ歯を利用している方におうかがいします。
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つの番号に○)

▶ 入れ歯を「毎日手入れしている」人の割合は前回調査から大きな変化はなく約9割となっている

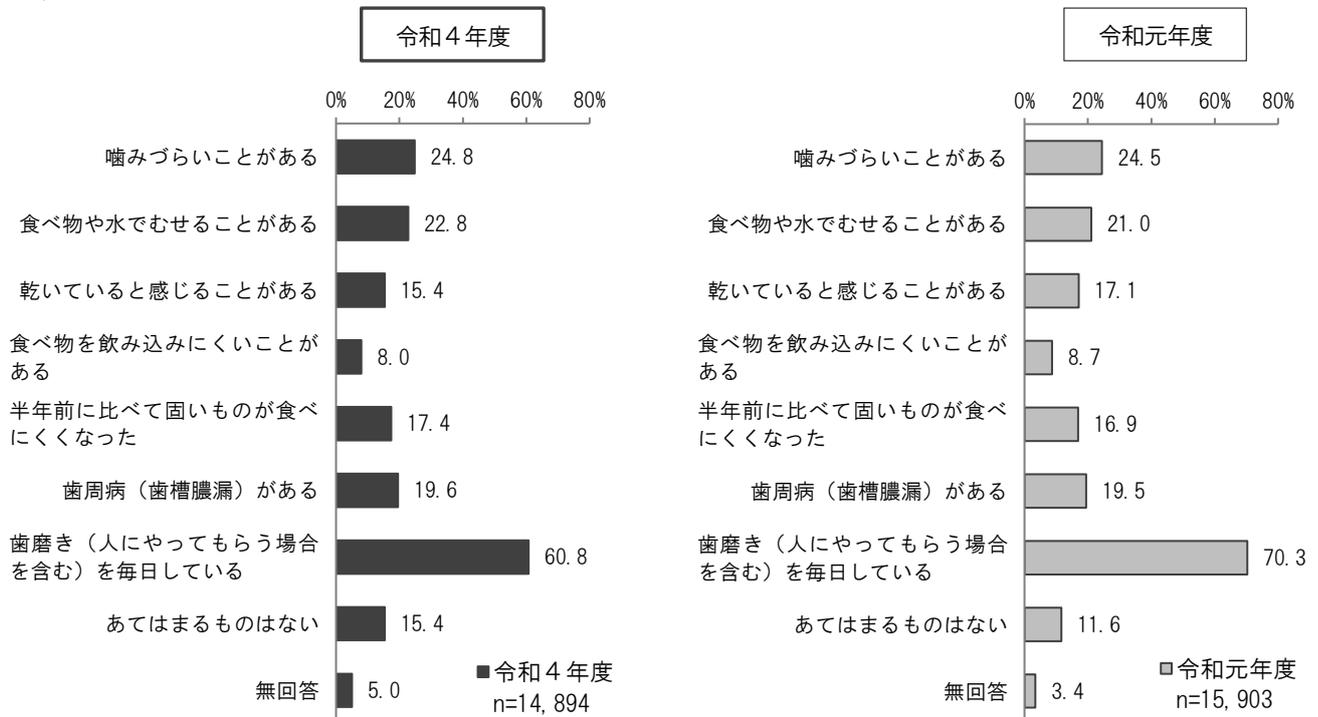
図表 2-5-11



問8-④ お口の状態について教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ 「歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日している」人の割合が前回調査より減少し、約6割となっている

図表 2-5-12



▶ 70～74歳の男性で「歯周病がある」割合が2割を超えている

図表 2-5-13

単位：%

項目	回答者数（人）	噛みづらいことがある	食べ物や水でむせることがある	乾いていると感じることがある	食べ物を飲み込みにくいことがある	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	歯周病（歯槽膿漏）がある	歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日している	
全体	14,894	24.8	22.8	15.4	8.0	17.4	19.6	60.8	
男性	65～69歳	1,722	22.0	20.0	12.0	6.8	13.2	22.0	60.6
	70～74歳	2,117	27.0	20.7	13.7	7.9	16.8	22.5	62.4
	75～79歳	1,679	27.7	24.2	13.8	8.3	19.0	18.0	62.8
	80～84歳	1,045	33.5	24.6	14.6	11.2	25.9	17.6	61.4
	85～89歳	426	34.2	23.9	12.4	13.3	26.3	15.6	60.7
	90歳以上	104	38.1	23.9	26.7	12.1	24.6	11.9	64.7
女性	65～69歳	1,745	17.8	22.1	13.4	5.7	10.0	20.9	57.9
	70～74歳	2,300	20.1	24.5	16.9	6.9	14.6	21.5	61.2
	75～79歳	1,799	23.0	22.9	18.1	7.6	16.1	19.5	62.1
	80～84歳	1,269	28.5	23.4	18.7	8.2	23.0	14.8	59.0
	85～89歳	544	28.7	24.3	23.1	11.3	26.2	15.6	57.4
	90歳以上	139	28.7	27.3	16.5	10.3	27.3	12.2	49.9

※「あてはまるものはない」「無回答」は掲載を省略

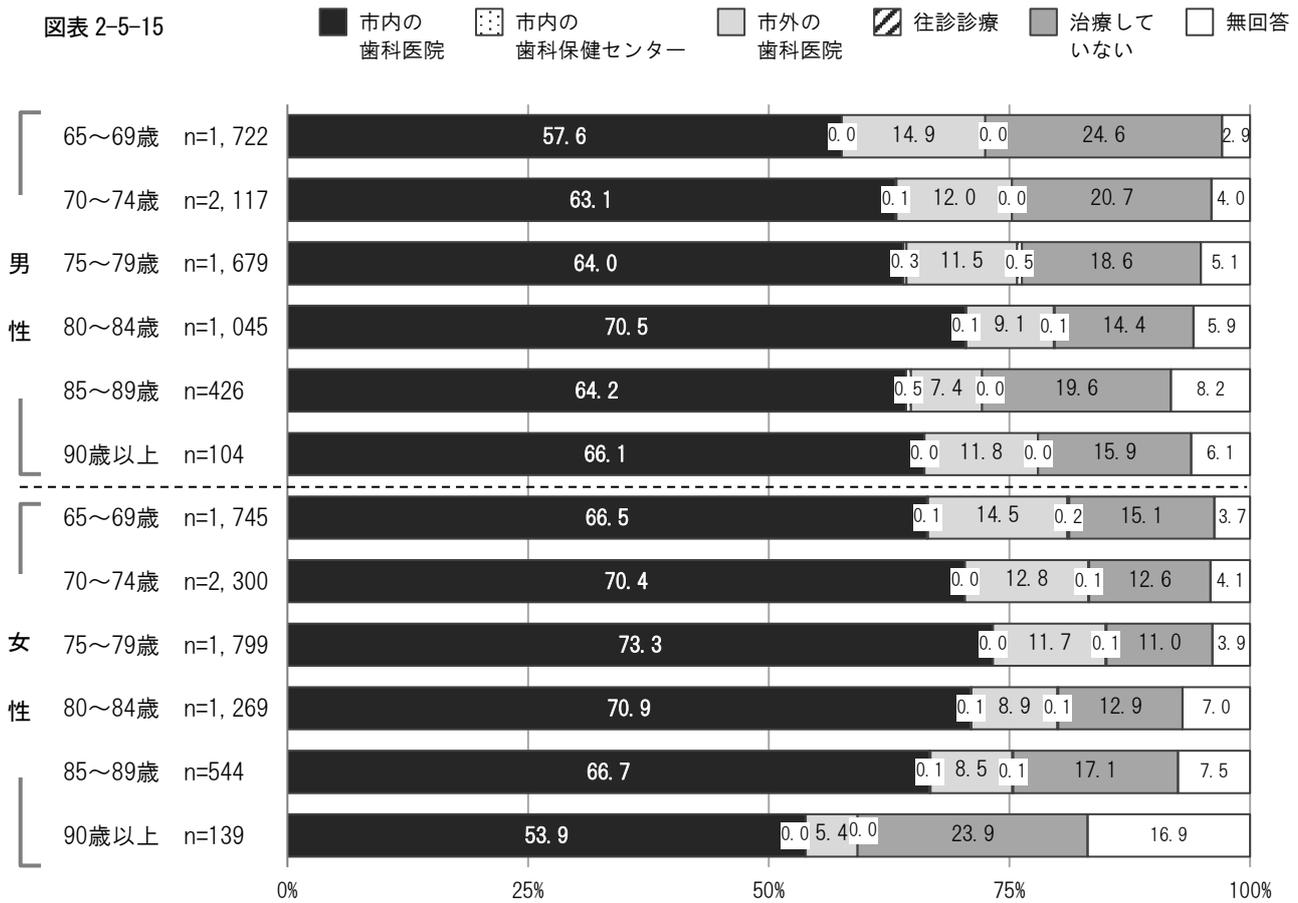
問8-⑤ 歯科診療先について教えてください。（1つの番号に○）【令和4年度 新規設問】

▶ 歯科診療先について「市内の歯科医院」が7割弱となる一方、「治療していない」人の割合が2割弱となっている

図表 2-5-14



図表 2-5-15

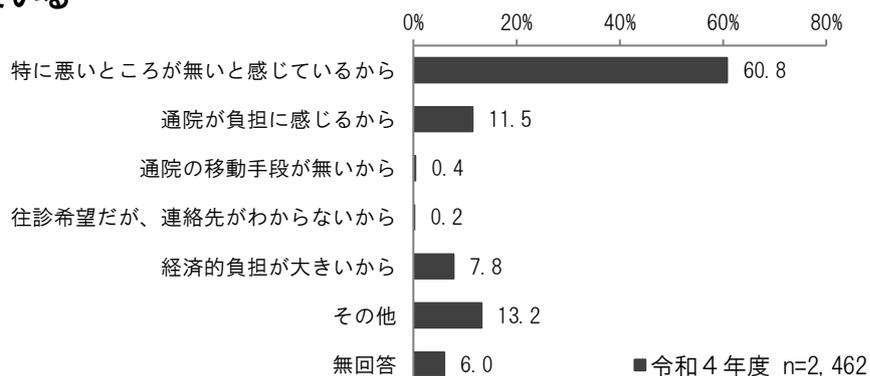


問8-⑥ 「治療していない」と答えた方におうかがいします。

治療をしていない理由について、もっとも近いものをご回答ください。（1つの番号に○）【令和4年度 新規設問】

▶ 治療をしていない理由について、「特に悪いところが無いと感じているから」の割合が約6割となっている

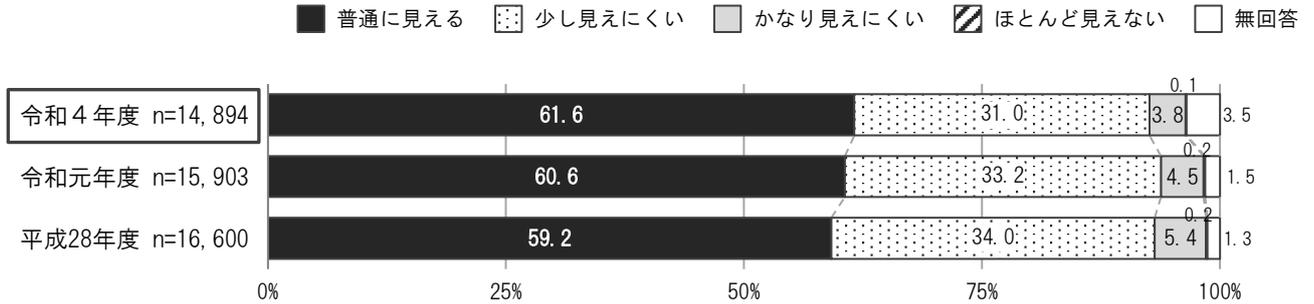
図表 2-5-16



問8-⑦ 目はどの程度見えますか。※眼鏡を使用してもかまいません。（1つの番号に○）

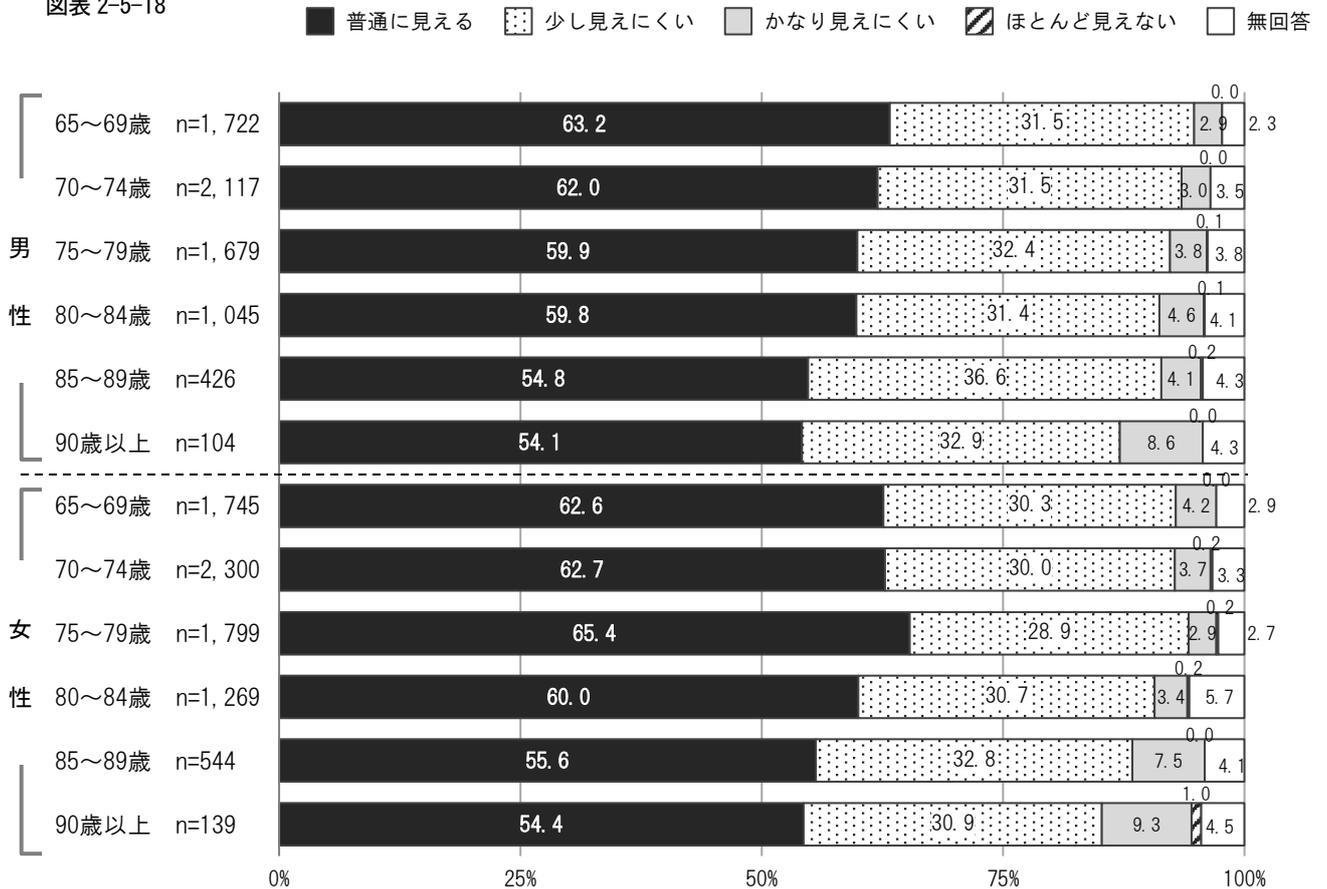
▶ 「普通に見える」人の割合は増加傾向となっており、約6割となっている

図表 2-5-17



▶ 男女ともに85歳以上の人について、「普通に見える」人の割合が5割を超えるにとどまっている

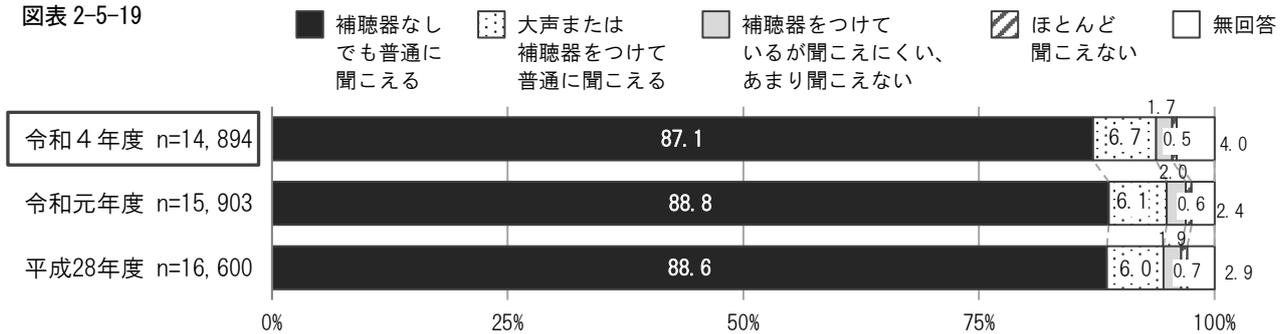
図表 2-5-18



問8-⑧ 耳はどの程度聞こえますか。(1つの番号に○)

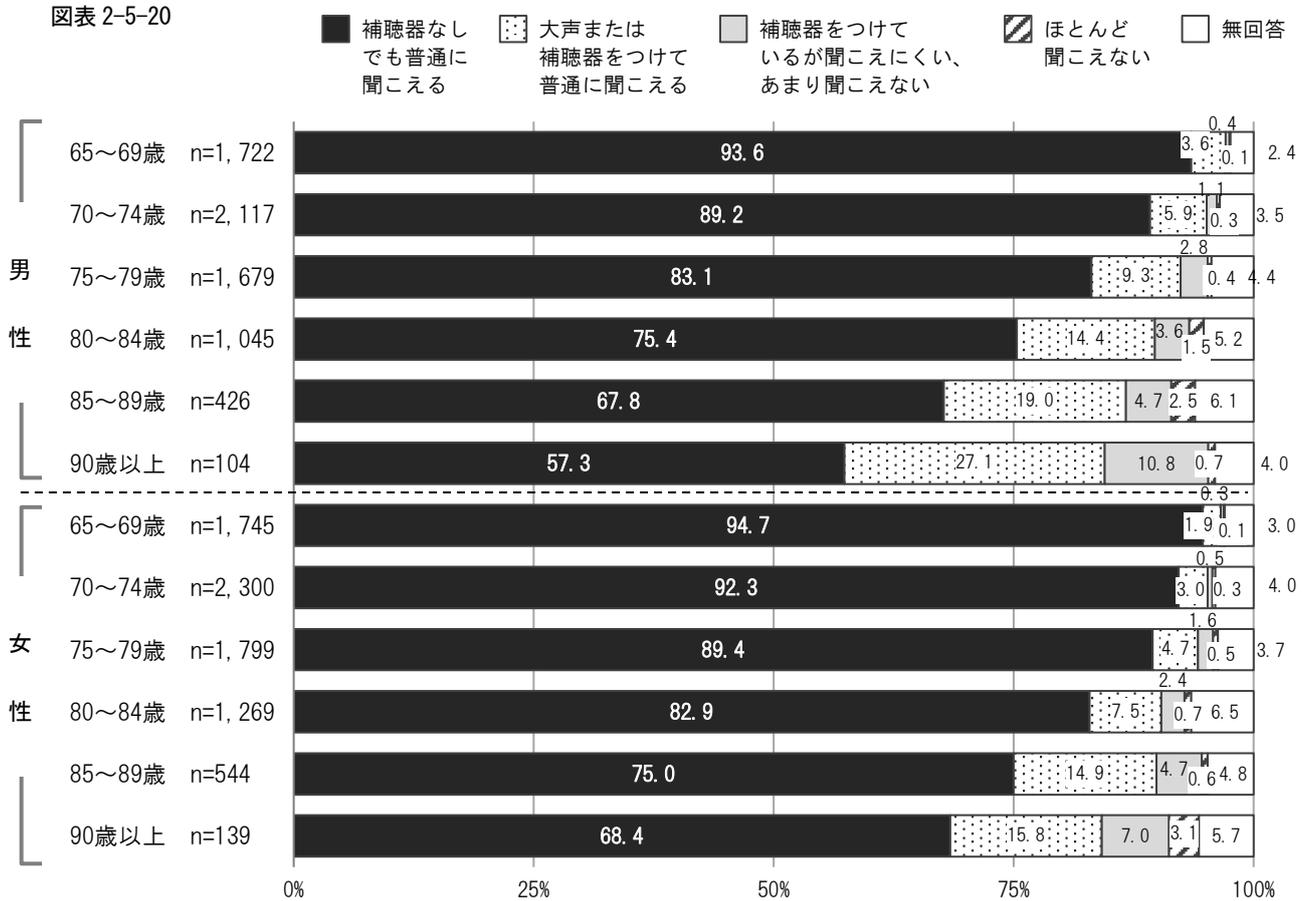
▶ 「補聴器なしでも普通に聞こえる」人の割合が前回調査より微減し、9割弱となっている

図表 2-5-19



▶ 80歳以上の男性、並びに85歳以上の女性について、「補聴器なしでも普通に聞こえる」人の割合が8割を下回っている

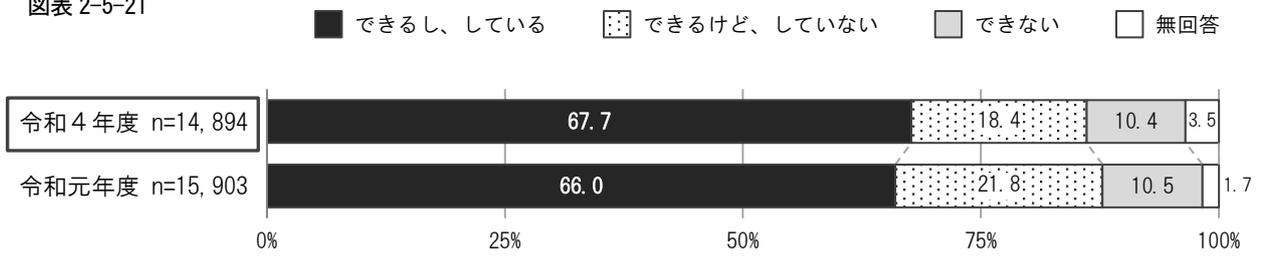
図表 2-5-20



問8-⑨ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つの番号に○)

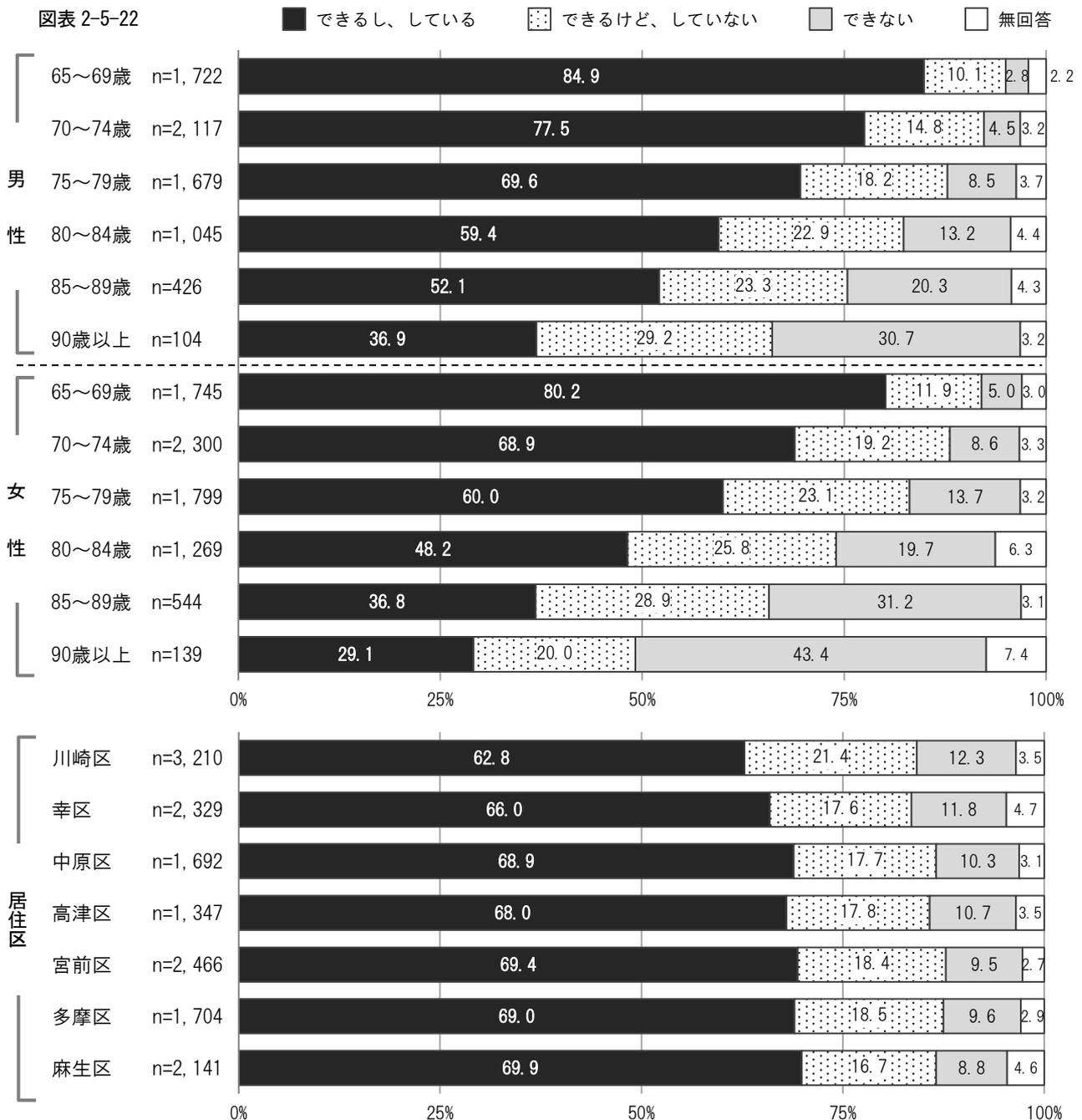
▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることを「できるし、している」人の割合が前回調査より微増し、約7割となっている

図表 2-5-21



▶ 男女ともに80歳以上の人について、「できるし、している」割合が6割を下回っており、他区と比較して「川崎区」は「できるし、している」割合が低くなっている

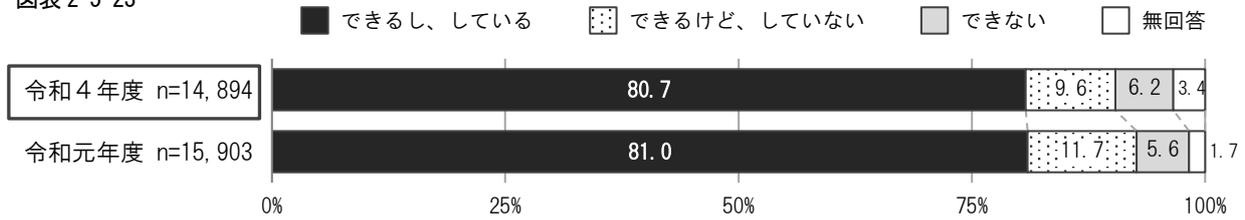
図表 2-5-22



問8-⑩ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つの番号に○)

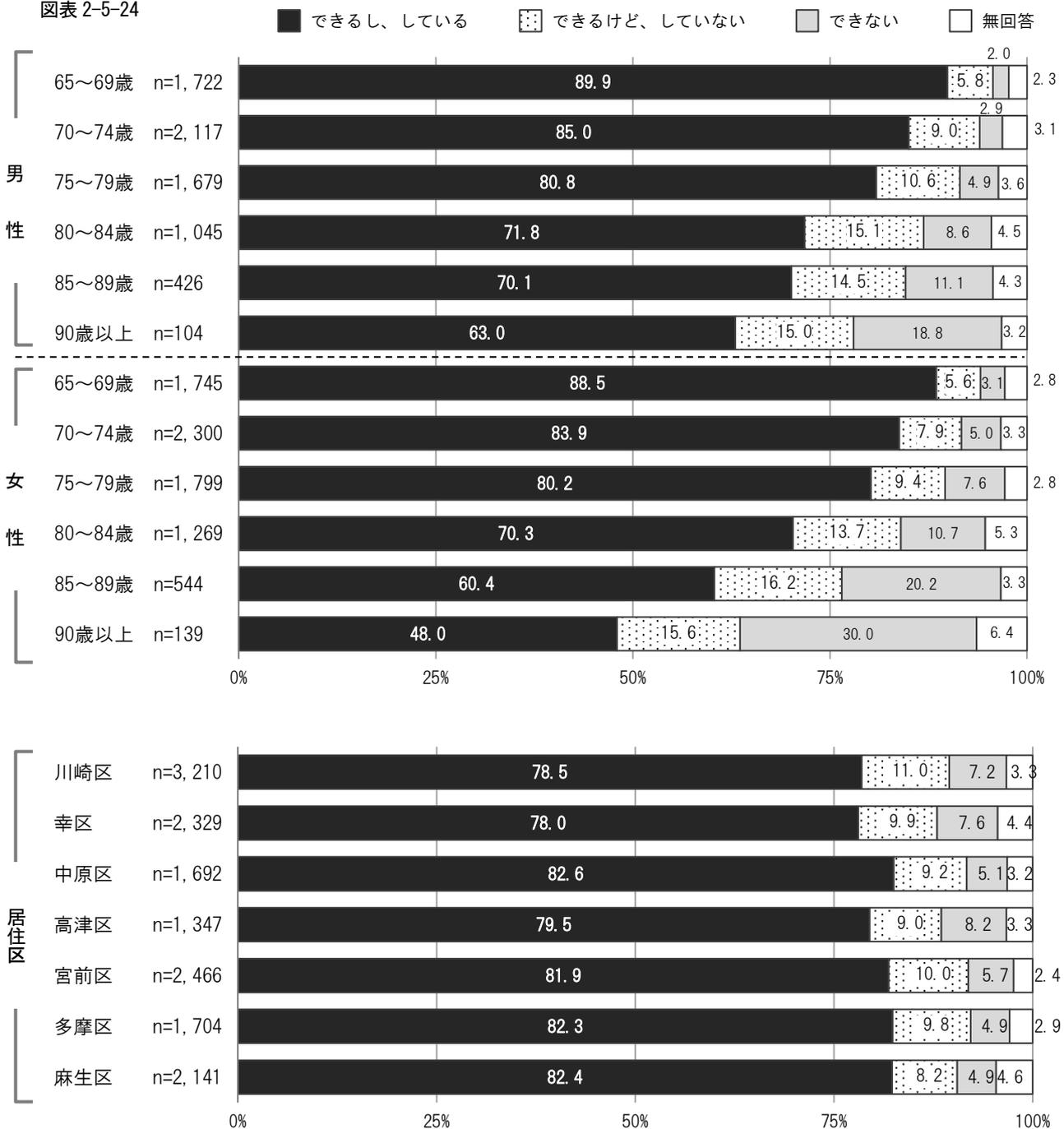
▶ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることを「できるし、している」人の割合は前回調査から変化はなく、約8割となっている

図表 2-5-23



▶ 男女ともに80歳以上の人について、「できるし、している」割合が8割を下回っており、他区と比較して「幸区」は「できるし、している」割合が最も低くなっている

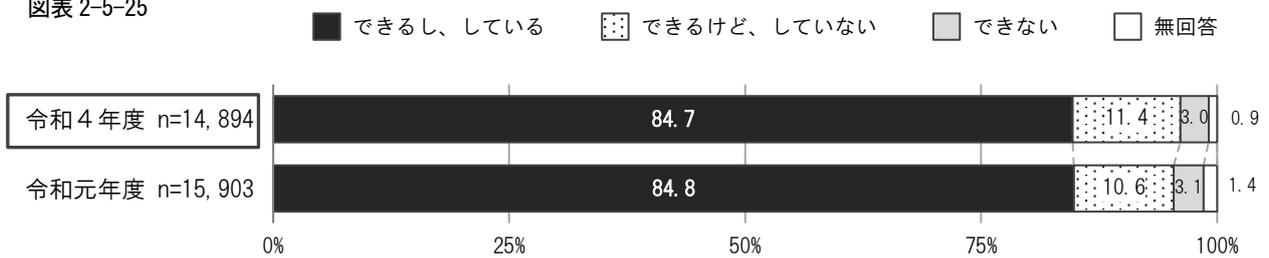
図表 2-5-24



問8-⑪ 15分くらい続けて歩いていますか。(1つの番号に○)

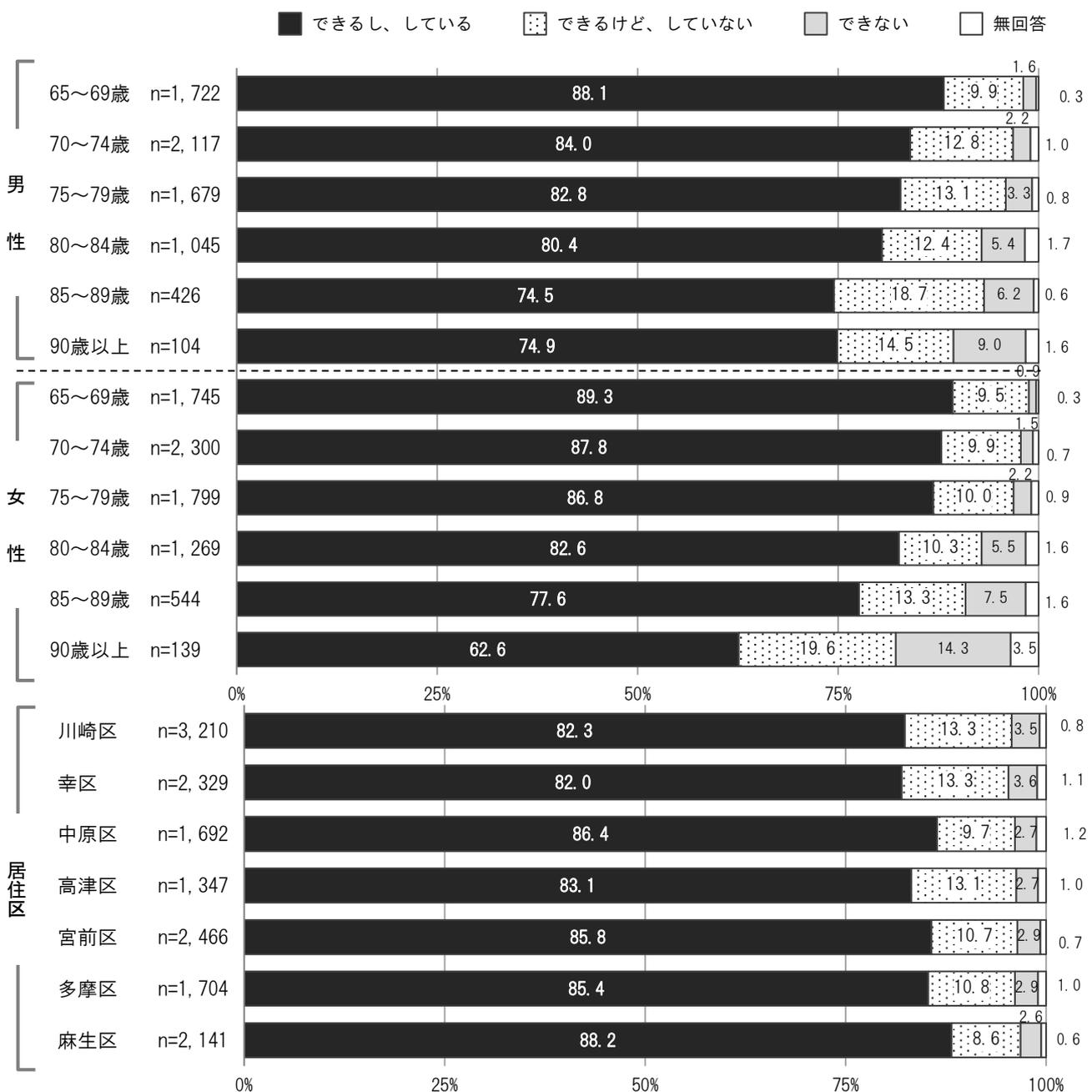
▶ 15分くらい続けて歩くことを「できるし、している」人の割合は前回調査から変化はなく、8割を超えている

図表 2-5-25



▶ 男女ともに65～84歳の人について、「できるし、している」割合が8割を上回っており、他区と比較して「麻生区」は「できるし、している」割合が高くなっている

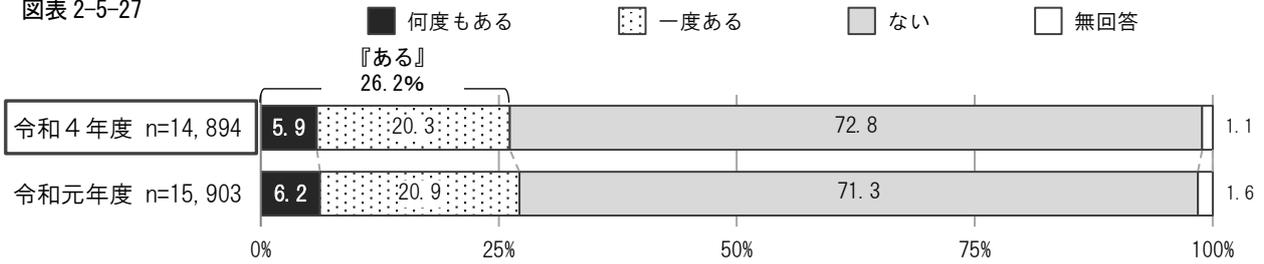
図表 2-5-26



問8-⑫ 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つの番号に○)

▶ 過去1年間に転倒の経験が『ある』人の割合は前回調査から変化はなく、2割を超えている

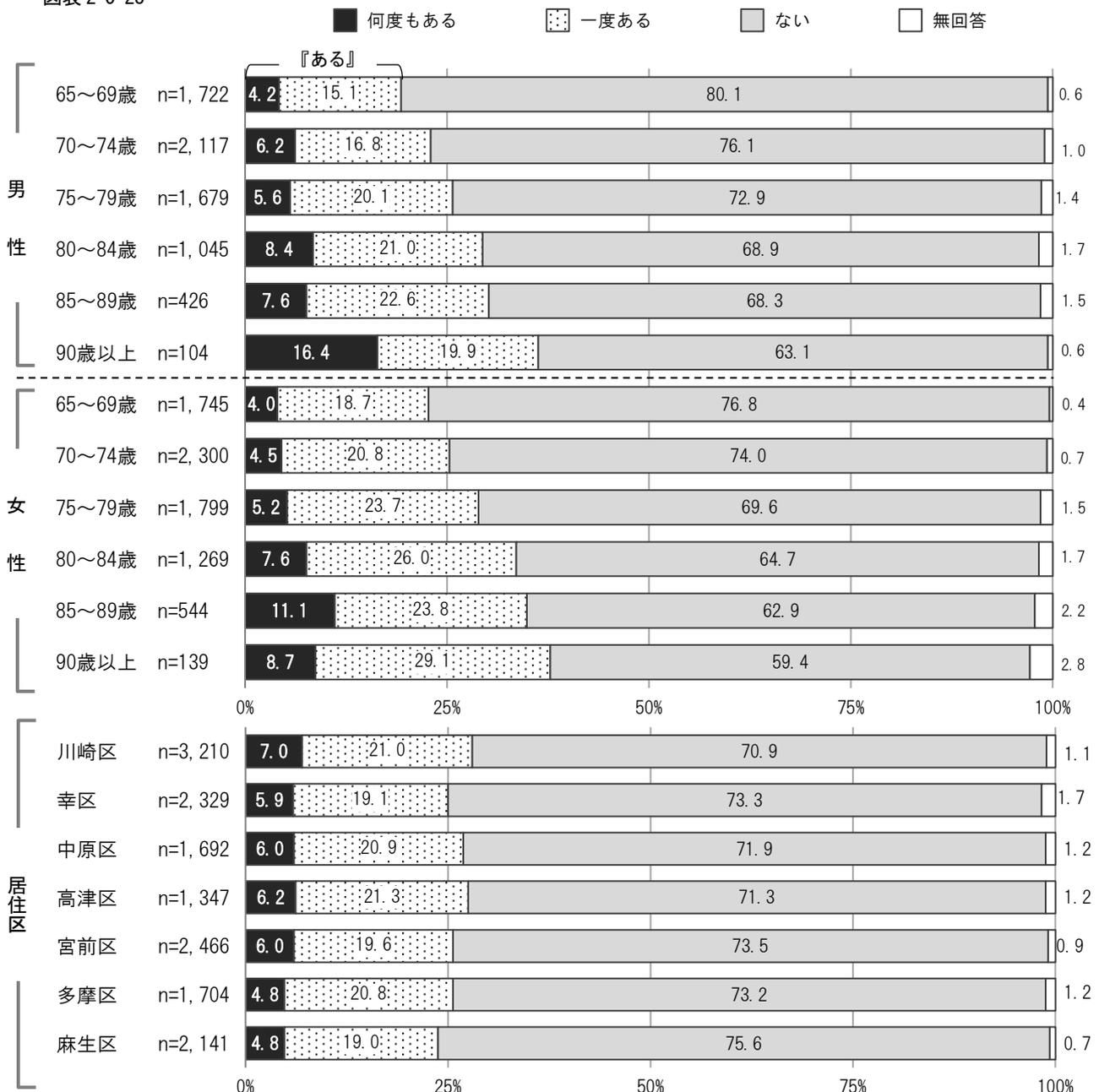
図表 2-5-27



※『ある』 = 「何どもある」 + 「一度ある」

▶ 男性が85歳以上、女性が80歳以上の人について、転倒の経験が『ある』人の割合が3割を上回っており、他区と比較して「川崎区」「高津区」は割合が高くなっている

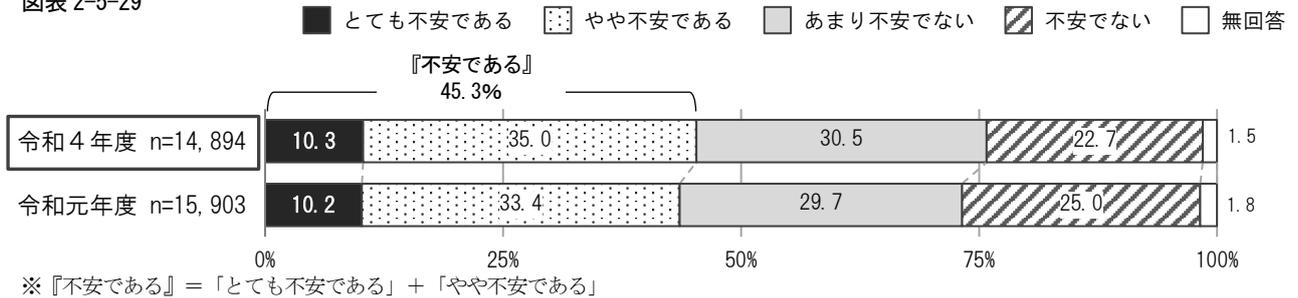
図表 2-5-28



問8-⑬ 転倒に対する不安は大きいですか。(1つの番号に○)

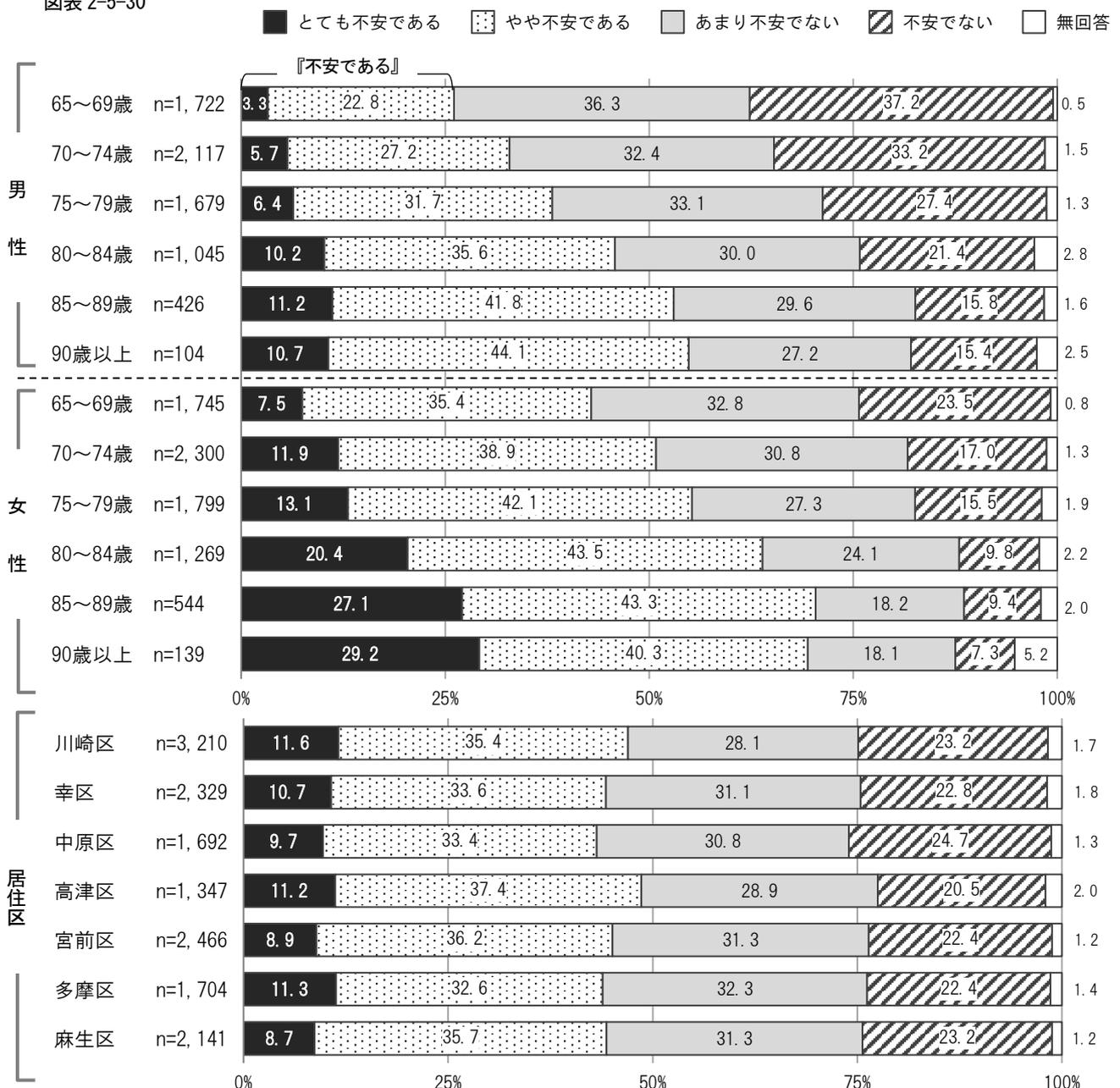
▶ 転倒に対して『不安である』人の割合が前回調査より微増し、4割を超えている

図表 2-5-29



▶ 男性が85歳以上、女性が70歳以上の人について、転倒に対して『不安である』人の割合が5割を上回っており、他区と比較して「高津区」は『不安である』人の割合が高くなっている

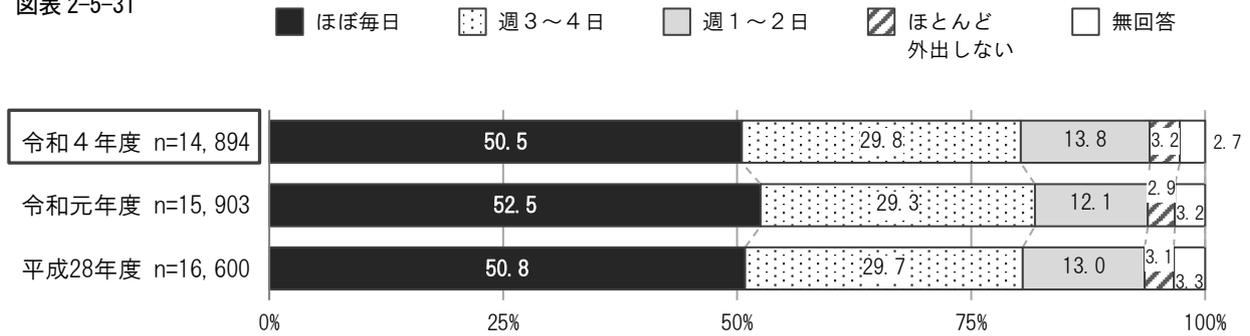
図表 2-5-30



問9 あなたは1週間のうちどのくらい外出していますか。(1つの番号に○)

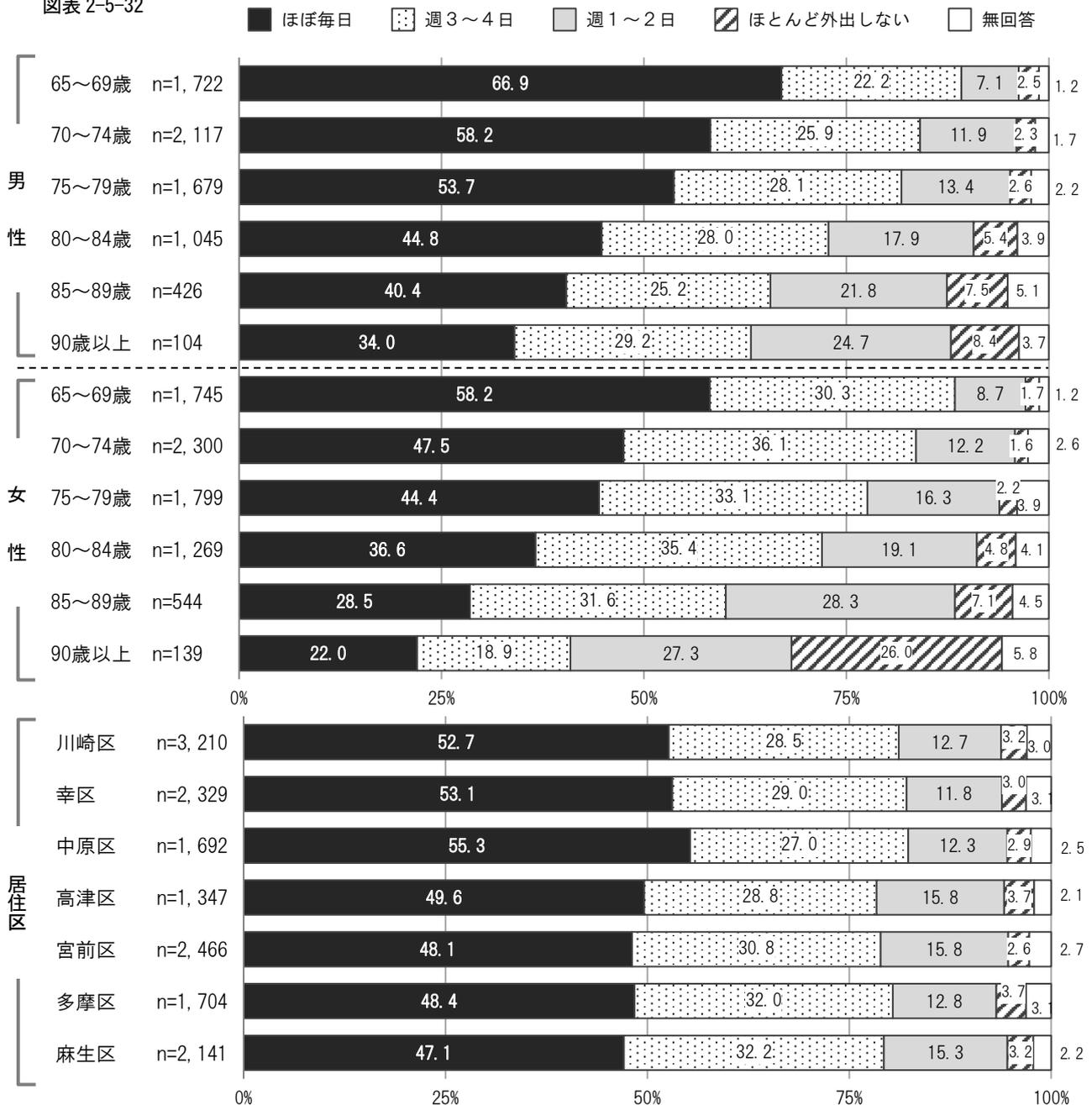
▶ 外出の頻度について、「ほぼ毎日」の割合が前回調査より微減し、約5割となっている

図表 2-5-31



▶ 男性が89歳まで、女性が79歳までの人について、「ほぼ毎日外出している」人の割合が4割を上回っており、他区と比較して「中原区」は「ほぼ毎日外出している」人の割合が高くなっている

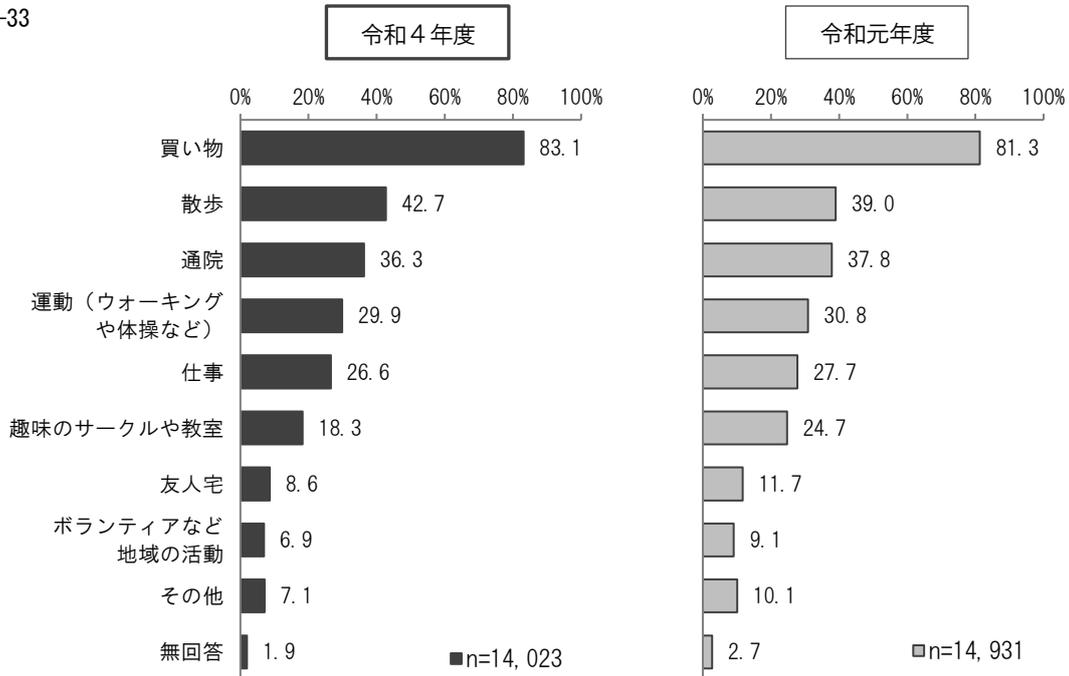
図表 2-5-32



問9-1 前問で「週1~2日」「週3~4日」「ほぼ毎日」と答えた方におうかがいします。
 主な外出先（外出理由）はどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ 外出先として「趣味のサークルや教室」の割合が、前回調査から減少し、約2割となっている

図表 2-5-33



▶ 65~84歳の女性について、外出先として「買い物」の割合が9割を上回っており、65~89歳の女性では「趣味のサークルや教室」が2割を上回っている

▶ 75~89歳の男性について、外出先として「散歩」の割合が5割を上回っている

図表 2-5-34

単位：%

項目	回答者数(人)	買い物	散歩	通院	運動（ウォーキングや体操など）	仕事	趣味のサークルや教室	友人宅	ボランティアなど地域の活動	その他	
全体	14,023	83.1	42.7	36.3	29.9	26.6	18.3	8.6	6.9	7.1	
男性	65~69歳	1,657	76.8	39.3	25.6	30.6	53.6	10.0	4.0	5.2	6.1
	70~74歳	2,027	76.3	46.1	30.2	31.6	37.0	10.8	4.0	7.4	8.0
	75~79歳	1,596	73.5	51.8	36.4	34.1	26.2	13.8	5.0	8.1	6.8
	80~84歳	955	76.6	56.8	41.1	31.1	11.8	17.3	5.2	9.4	7.8
	85~89歳	376	71.5	50.3	43.2	22.4	7.2	15.7	3.8	4.8	7.3
	90歳以上	88	76.0	49.8	57.7	22.6	10.6	17.0	5.8	8.3	8.5
女性	65~69歳	1,693	90.4	33.6	29.2	26.5	38.1	21.9	9.3	6.2	9.8
	70~74歳	2,208	90.1	37.6	35.3	30.4	25.4	24.2	12.3	7.4	6.6
	75~79歳	1,683	92.4	41.3	43.8	32.8	12.5	26.0	13.7	8.1	6.4
	80~84歳	1,160	90.6	42.2	49.1	27.0	6.8	23.2	16.2	6.5	5.5
	85~89歳	480	82.9	36.0	50.2	22.1	2.5	22.0	11.1	2.5	5.5
	90歳以上	96	75.5	37.9	54.9	14.9	4.3	11.0	9.2	2.5	7.0

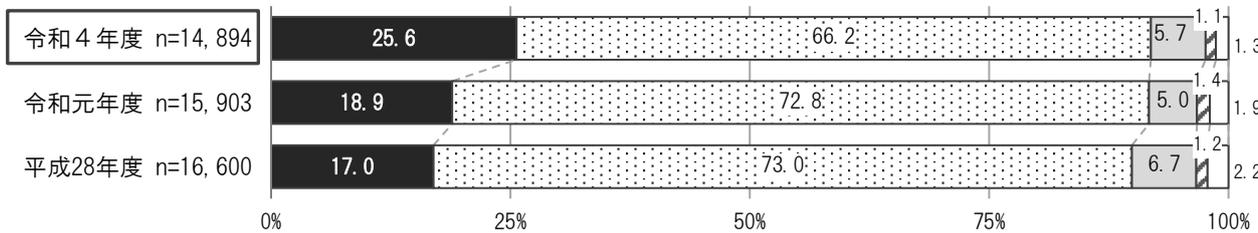
※「無回答」は掲載を省略

問10 あなたは昨年に比べて外出頻度はどうなりましたか。(1つの番号に○)

▶ 外出の頻度について「減った」と感じる人の割合が前回調査より増加し、2割を超えている

図表 2-5-35

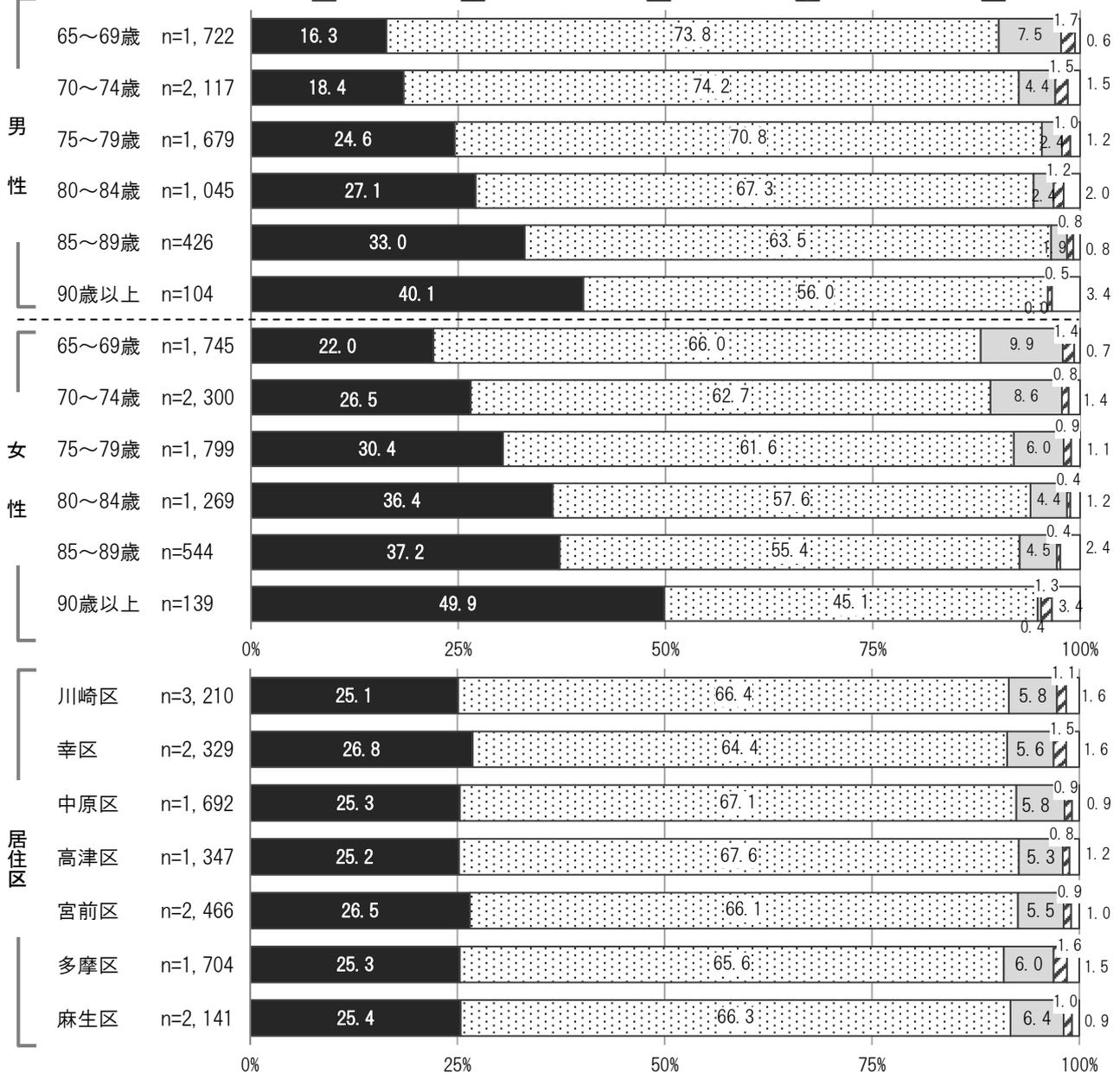
■ 減った □ 変わらない □ 増えた ▨ わからない □ 無回答



▶ 男性が85歳以上、女性が75歳以上の人について、外出頻度が「減った」と感じている人の割合が3割を上回っており、他区と比較して「幸区」は外出頻度が減ったと感じている人の割合が最も高くなっている

図表 2-5-36

■ 減った □ 変わらない □ 増えた ▨ わからない □ 無回答



問11 あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（1つの番号に○）【令和4年度 新規設問】

▶ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったと感じた人の割合は、3割を超えている

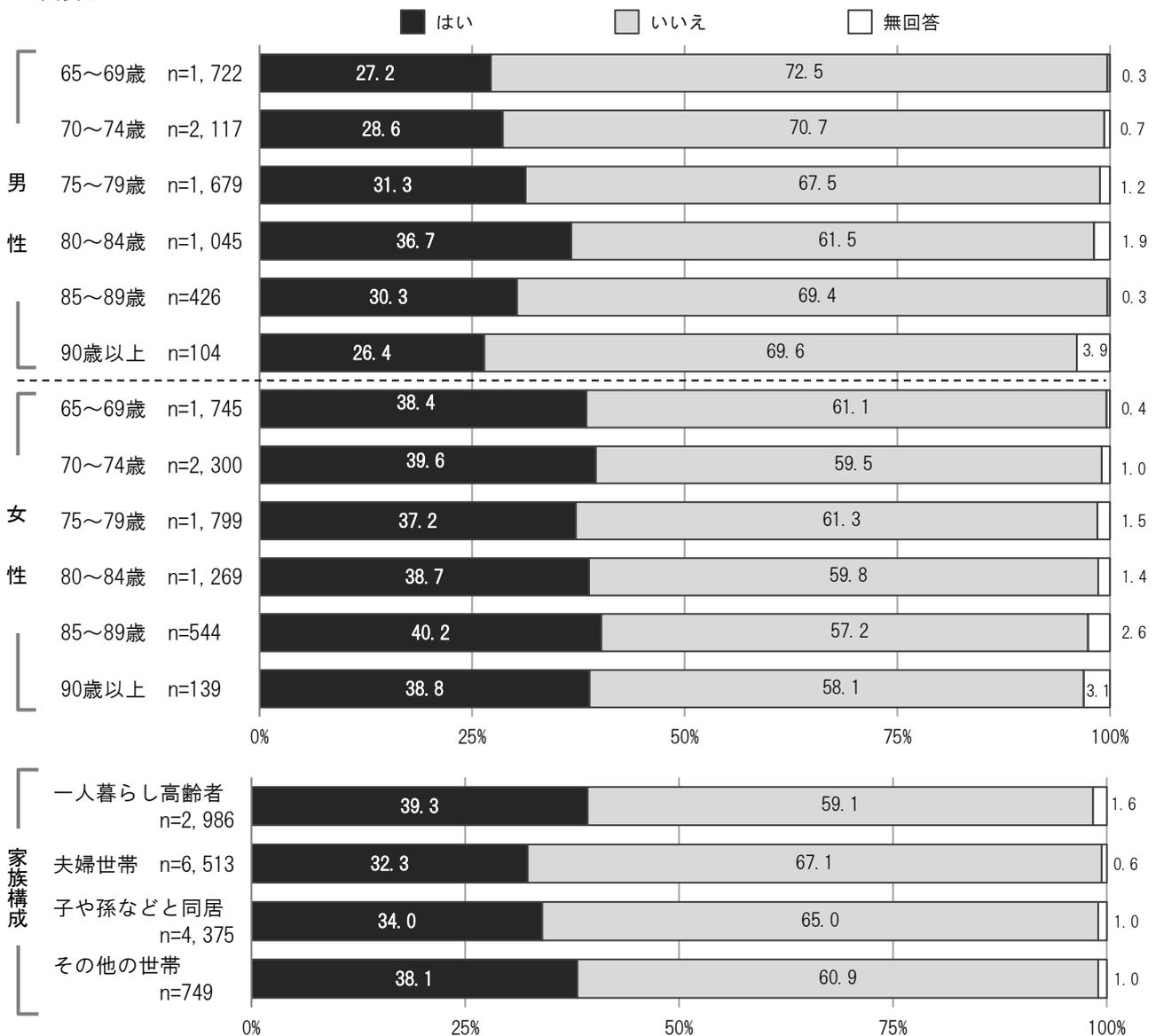
図表 2-5-37



▶ 男性が80～84歳、女性では全般的に、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったと感じた人の割合が高くなっている

▶ 「一人暮らし高齢者」について、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったと感じた人の割合が約4割となっている

図表 2-5-38



問12 あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つの番号に○) 【令和4年度 新規設問】

▶ この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったと感じた人の割合は、約2割となっている

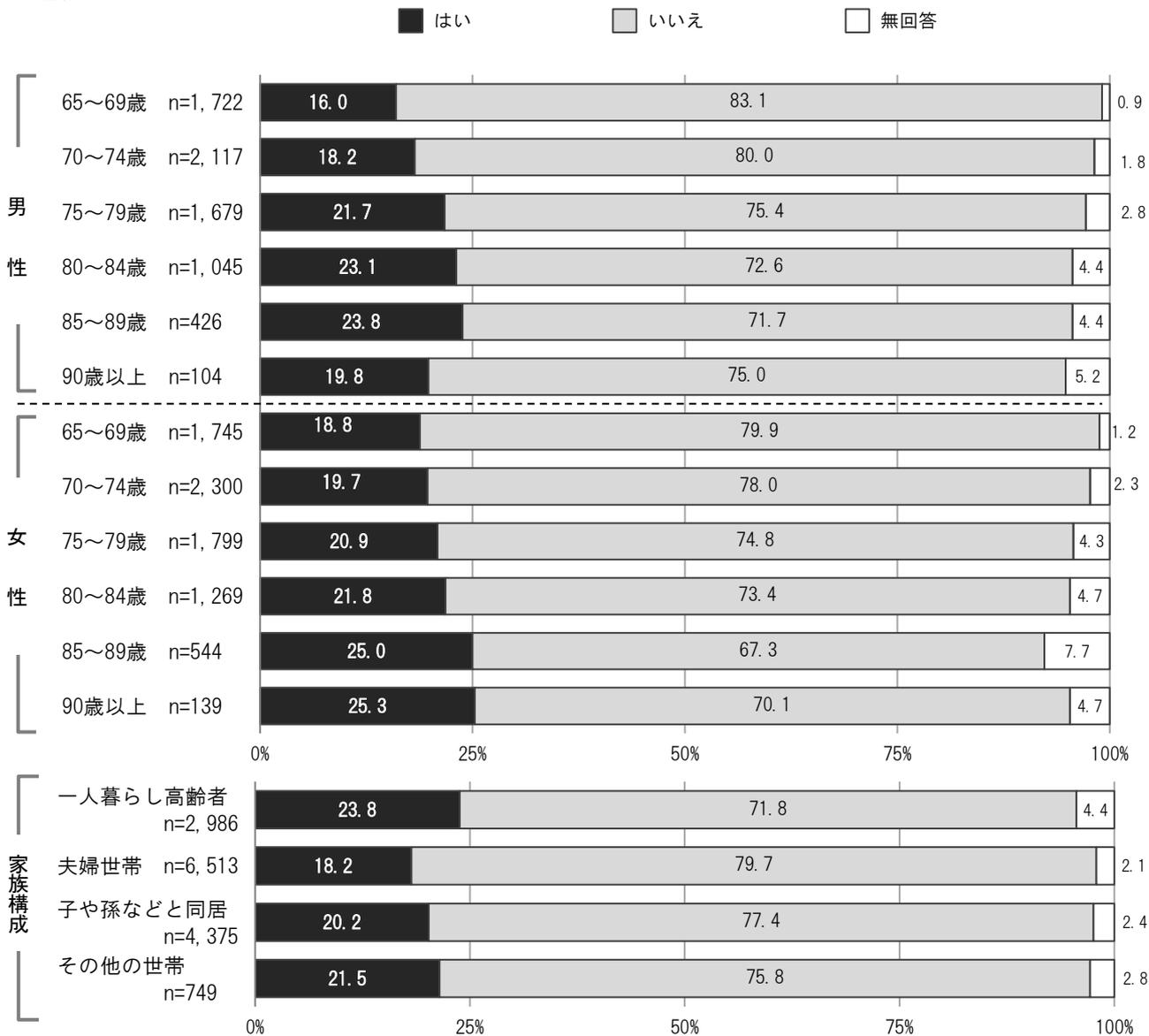
図表 2-5-39



▶ 男性が80～89歳、女性が85歳以上の人について、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったと感じた人の割合が高くなっている

▶ 「一人暮らし高齢者」について、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったと感じた人の割合が2割を超えている

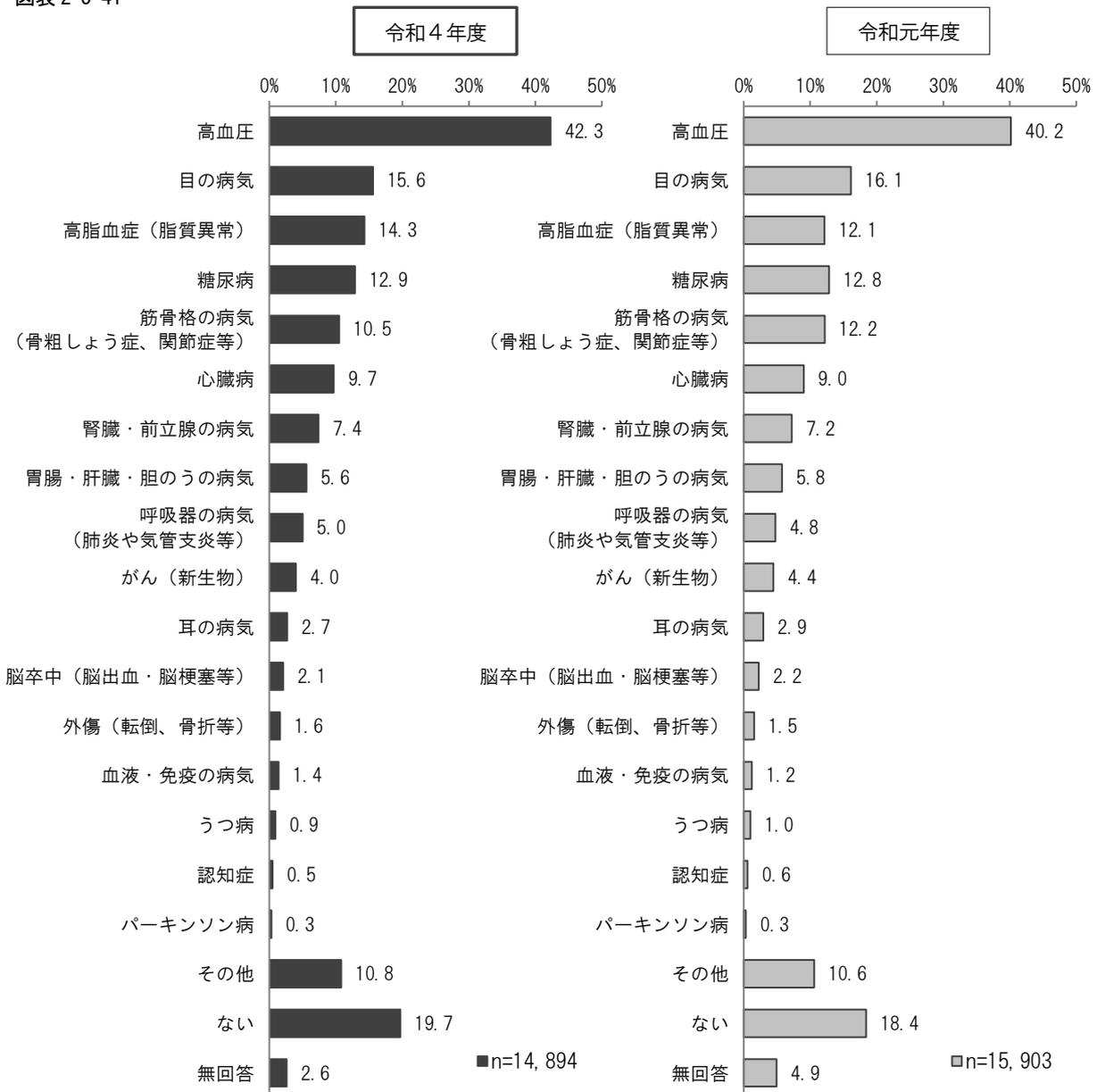
図表 2-5-40



問13 あなたは現在、治療中の病気が次の中にありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ 治療中の病気について、「高血圧」の割合が微増し、約4割と最も高くなっており、治療中の病気は「ない」人については約2割となっている

図表 2-5-41



- ▶ 65～74歳の男性と女性で比較すると「高血圧」や「心臓病」については男性の割合が高くなる一方、65歳以上の男性と女性で比較すると「筋骨格の病気」については女性の割合が高くなっている
- ▶ 他区と比較して「川崎区」は「高血圧」の割合が高くなっている

図表 2-5-42 (治療中の病気上位10項目)

単位：%

項目		回答者数(人)	高血圧	目の病気	高脂血症(脂質異常)	糖尿病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	がん(新生物)	ない
全体		14,894	42.3	15.6	14.3	12.9	10.5	9.7	7.4	5.6	5.0	4.0	19.7
男性	65～69歳	1,722	42.8	10.9	16.4	14.6	2.8	7.8	6.8	4.8	4.4	3.1	26.5
	70～74歳	2,117	43.5	12.6	12.4	17.7	3.1	12.5	11.4	5.5	4.2	4.5	22.4
	75～79歳	1,679	47.2	14.8	10.6	18.9	4.0	14.6	16.0	6.6	5.6	6.1	15.5
	80～84歳	1,045	49.3	18.3	8.9	16.3	5.1	15.3	21.1	6.6	9.9	7.1	11.1
	85～89歳	426	47.9	20.6	8.2	18.3	3.7	19.1	22.1	4.8	7.0	5.9	14.4
	90歳以上	104	47.1	20.0	4.4	16.6	8.0	16.8	29.1	10.1	5.0	5.2	11.4
女性	65～69歳	1,745	27.3	12.4	17.8	6.6	11.3	2.0	1.1	3.9	4.1	3.2	29.3
	70～74歳	2,300	36.1	16.0	18.3	9.2	14.9	4.8	1.4	6.1	4.5	3.1	21.9
	75～79歳	1,799	46.0	17.7	16.0	11.4	18.5	9.1	1.6	5.7	4.6	3.1	16.3
	80～84歳	1,269	47.7	22.2	13.1	9.9	22.3	12.0	2.5	6.0	5.4	3.0	12.3
	85～89歳	544	49.7	21.3	13.2	9.2	23.5	9.1	1.6	4.6	4.3	3.7	12.0
	90歳以上	139	51.6	14.3	14.9	5.1	19.8	20.8	2.6	3.9	4.0	1.1	14.4
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	43.2	16.7	12.5	11.4	11.8	9.7	5.1	6.1	5.1	3.0	21.3
	夫婦世帯	6,513	40.9	14.9	14.8	12.5	9.1	9.5	8.7	5.6	5.0	4.3	20.6
	子や孫など同居	4,375	44.5	16.2	14.8	14.2	11.6	10.4	7.3	5.0	4.9	4.4	17.1
	その他の世帯	749	38.8	14.1	16.0	14.2	12.0	6.8	5.5	6.1	5.7	2.2	21.7
居住区	川崎区	3,210	46.9	14.9	13.6	14.3	10.2	10.3	6.6	5.8	5.6	4.3	17.5
	幸区	2,329	42.7	17.5	12.7	14.9	12.1	9.8	6.6	6.0	5.0	3.4	18.6
	中原区	1,692	41.8	14.1	15.3	11.4	9.8	8.9	7.7	5.6	4.6	4.3	21.3
	高津区	1,347	40.6	14.4	13.7	13.2	9.3	9.0	7.3	5.2	5.4	3.3	21.4
	宮前区	2,466	42.7	14.4	13.7	12.9	11.6	9.3	8.1	5.9	4.5	4.2	20.1
	多摩区	1,704	41.1	16.8	15.1	12.6	9.9	9.8	7.4	4.4	5.3	4.6	19.6
	麻生区	2,141	39.5	17.6	16.1	11.1	10.9	10.7	8.1	5.9	4.9	3.8	19.7

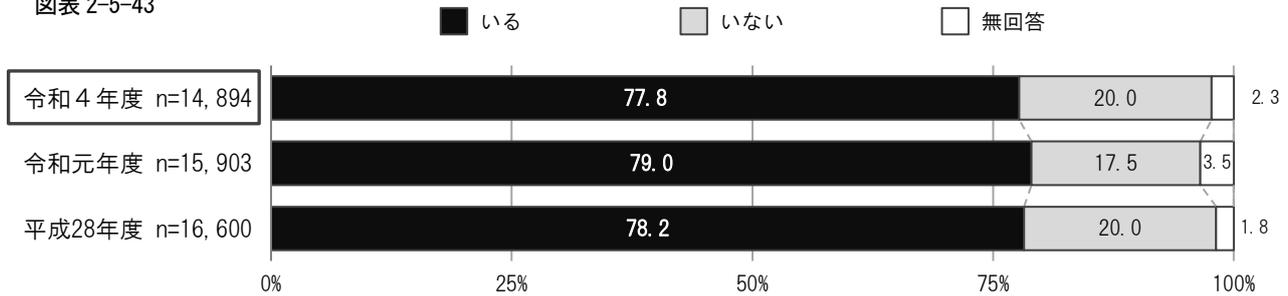
※上位10項目と「ない」を掲載

※「その他」「無回答」は掲載を省略

問14 あなたはご近所にかかりつけ医がいますか。（1つの番号に○）

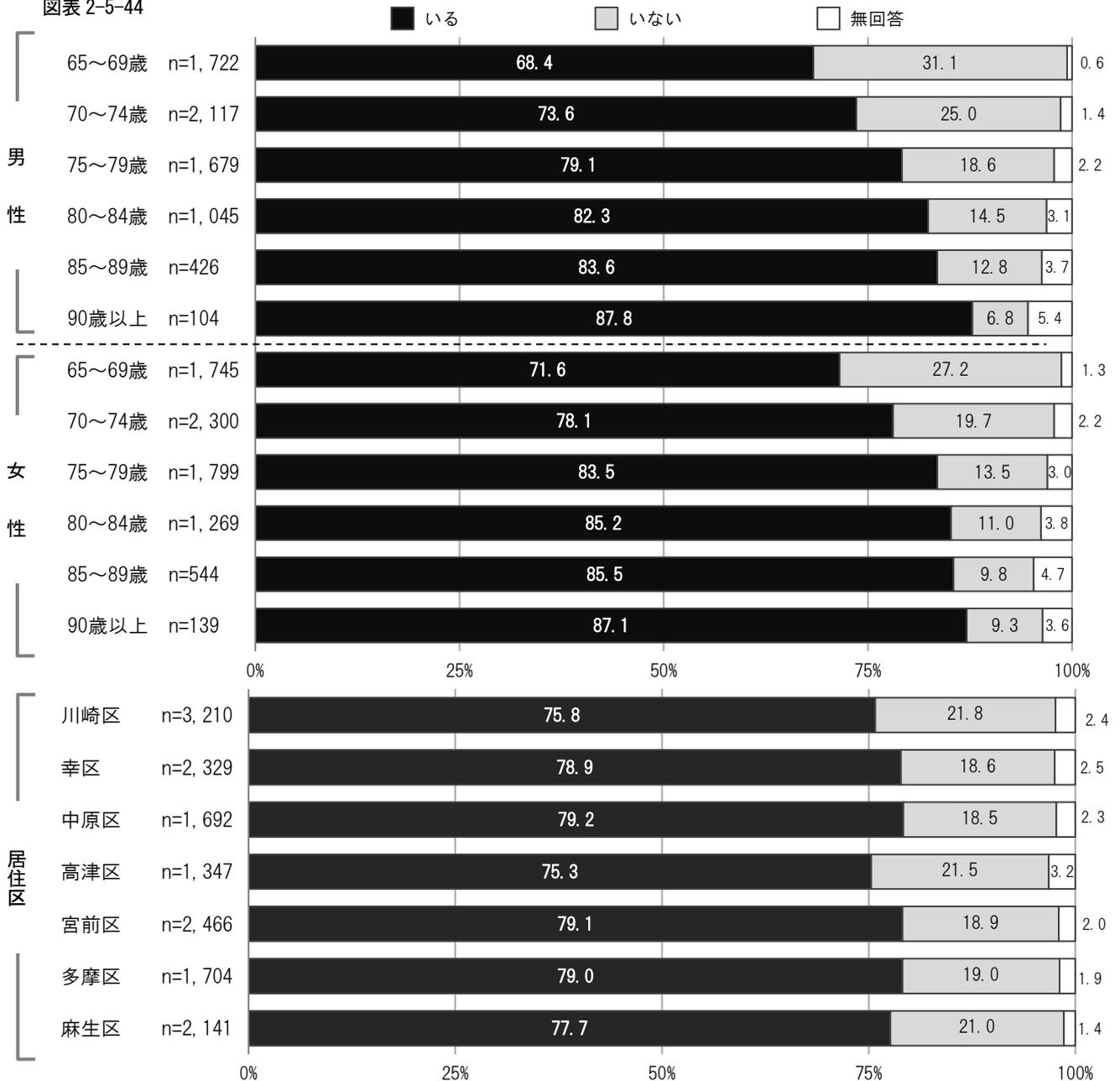
▶ かかりつけ医が「いる」人の割合が前回調査より微減し、約8割となっている

図表 2-5-43



▶ 男性が80歳以上、女性が75歳以上の人について、かかりつけ医が「いる」人の割合が8割を上回っている一方、他区と比較して「高津区」「川崎区」はかかりつけ医が「いる」人の割合が低くなっている

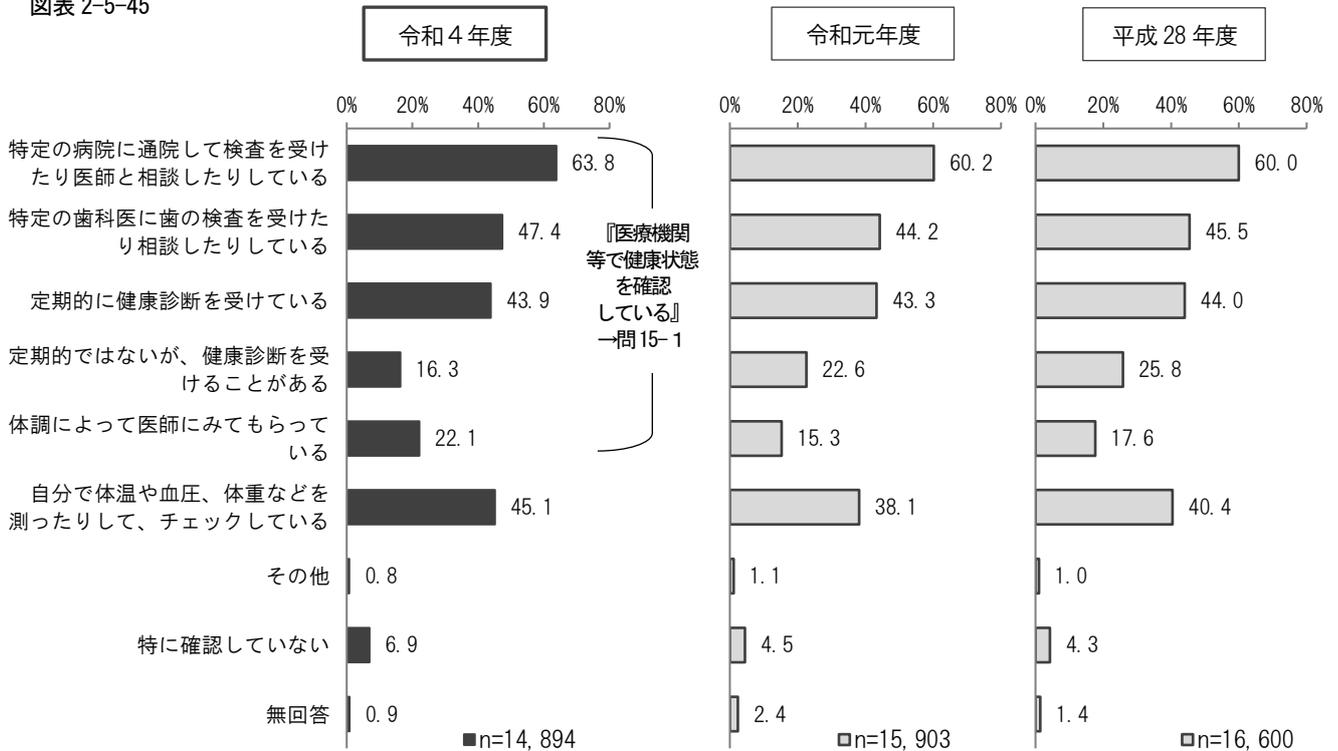
図表 2-5-44



問15 あなたは日ごろご自分の健康状態を確認していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 「自分で体温や血圧、体重などを測ったりして、チェックしている」人の割合が前回調査より増加し、4割を超えている

図表 2-5-45



▶ 男性が90歳以上、女性が75～89歳の人について、「自分で体温や血圧、体重などを測ったりして、チェックしている」人の割合が高く、5割を上回っている

図表 2-5-46

単位：%

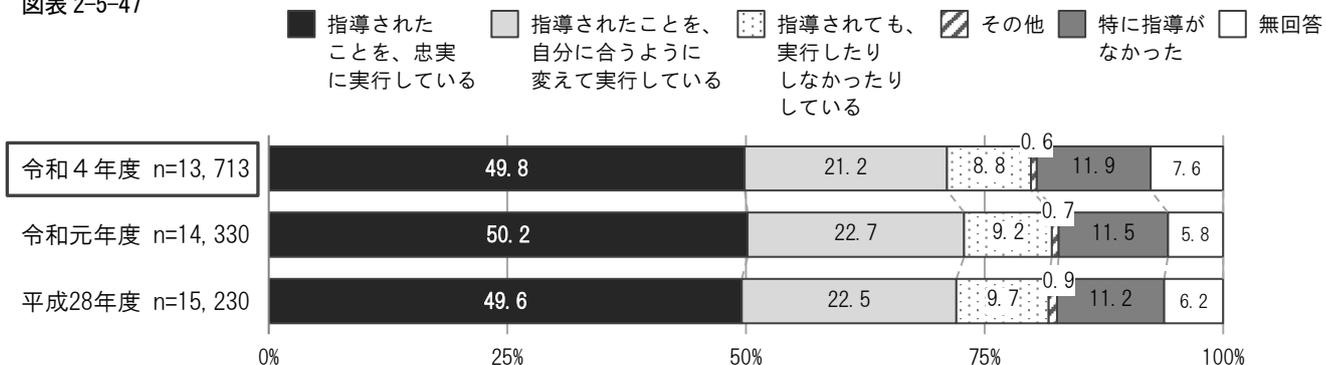
項目	回答者数(人)	特定の病院に通院して検査を受けたり医師と相談したりしている	特定の歯科医に歯の検査を受けたり相談したりしている	定期的に健康診断を受けている	定期的ではないが、健康診断を受けることがある	体調によって医師にみてもらっている	自分で体温や血圧、体重などを測ったりして、チェックしている	その他	特に確認していない	
全体	14,894	63.8	47.4	43.9	16.3	22.1	45.1	0.8	6.9	
男性	65～69歳	1,722	59.5	37.9	52.8	11.0	16.1	37.1	0.7	6.1
	70～74歳	2,117	61.7	39.9	46.3	14.5	17.0	41.5	0.6	8.2
	75～79歳	1,679	69.2	43.8	41.3	15.4	17.4	47.1	0.8	5.8
	80～84歳	1,045	71.3	47.6	43.6	15.9	21.0	48.2	1.1	8.1
	85～89歳	426	68.4	41.4	46.7	16.4	20.0	45.4	1.0	7.1
	90歳以上	104	65.3	40.2	51.7	16.7	17.1	53.6	0.7	7.3
女性	65～69歳	1,745	52.9	49.4	43.6	17.9	25.1	38.9	0.6	6.3
	70～74歳	2,300	61.2	53.4	38.8	18.0	26.2	45.2	0.5	7.1
	75～79歳	1,799	67.1	58.8	42.9	19.0	24.3	50.2	1.1	6.2
	80～84歳	1,269	70.3	53.0	42.2	20.2	27.8	54.4	1.4	6.6
	85～89歳	544	68.6	46.2	43.3	15.7	31.6	52.8	0.6	9.5
	90歳以上	139	70.2	30.1	37.0	12.9	23.7	40.0	1.6	10.2

※「無回答」は掲載を省略

問15-1 (『医療機関等で自分の健康状態を確認している』人)
 どのように対応しましたか。(1つの番号に○)

▶ 医療機関等で自分の健康状態を確認している人のうち、医療機関等からの指導に対して「指導されたことを、忠実に実行している」人の割合は前回調査から変化はなく、約5割となっている

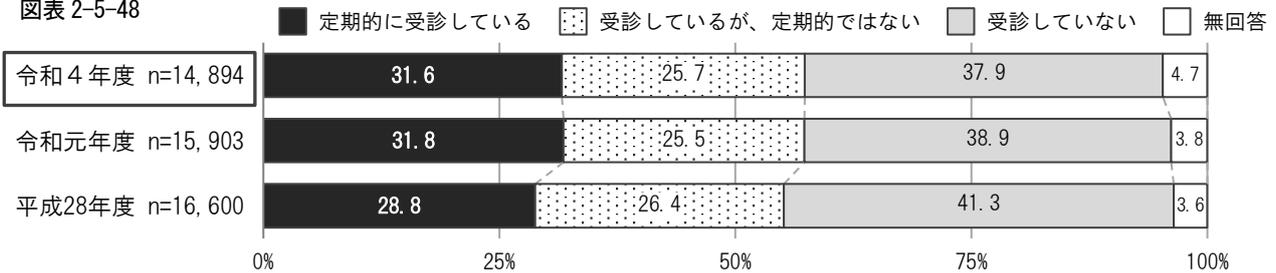
図表 2-5-47



問16 がん検診を定期的に受診していますか。(1つの番号に○)

▶ がん検診を「定期的に受診している」人の割合は前回調査から変化はなく、約3割となっている

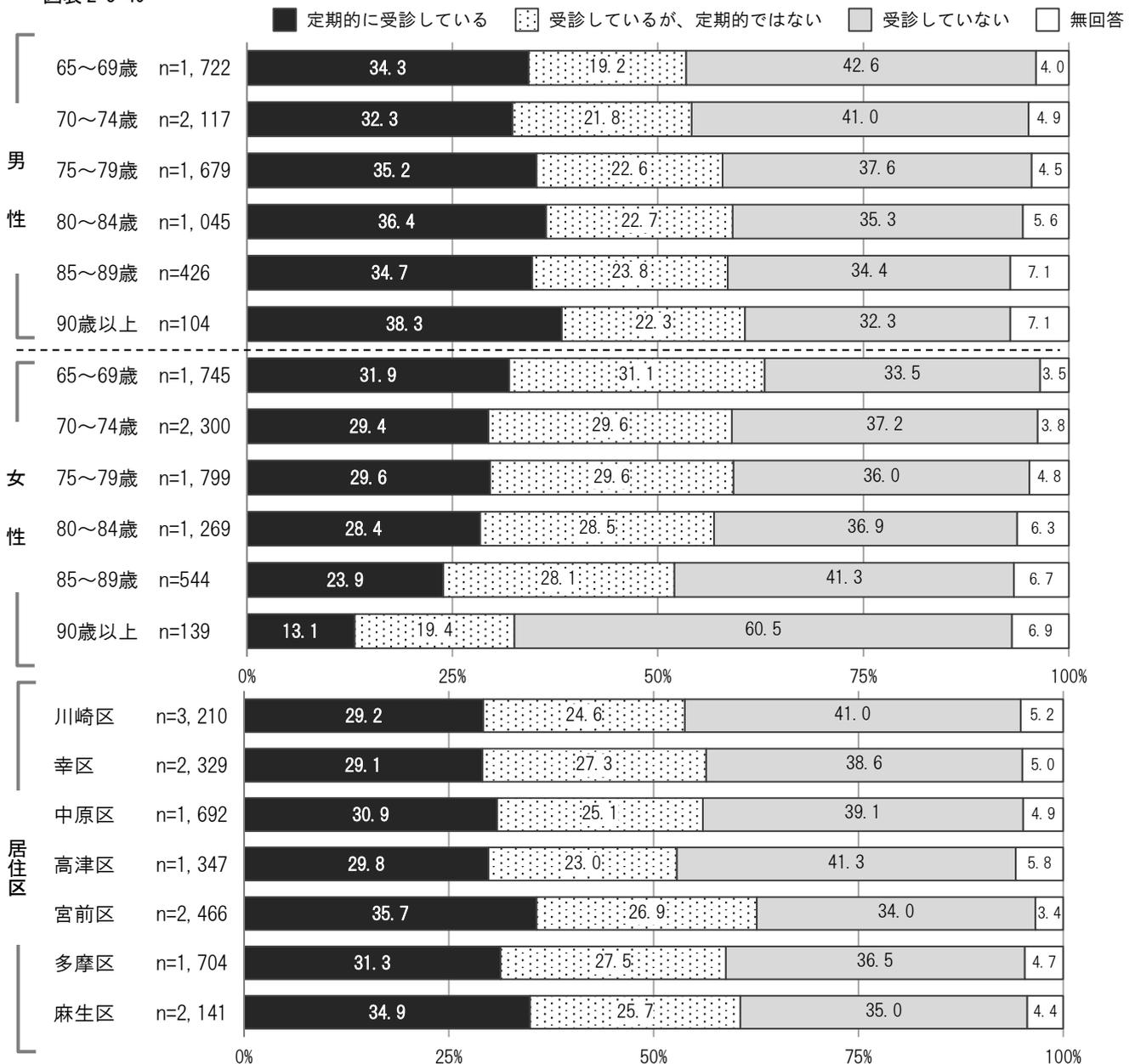
図表 2-5-48



▶ がん検診を受診している人の割合について、男性は年齢が上がるにつれ割合がおおむね高くなる一方、女性は年齢が上がるにつれ割合がおおむね低くなっている

▶ 他区と比較して「宮前区」「麻生区」は受診している人の割合が高くなっている

図表 2-5-49

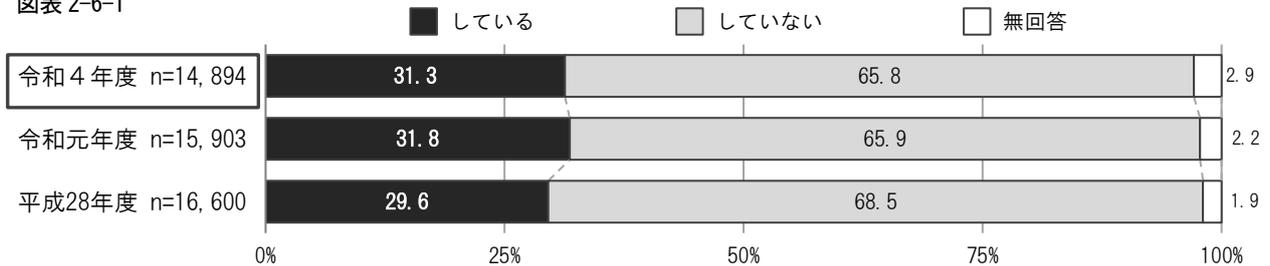


6 就労状況について

問17 あなたは現在、収入がともなう仕事をしていますか。（1つの番号に○）

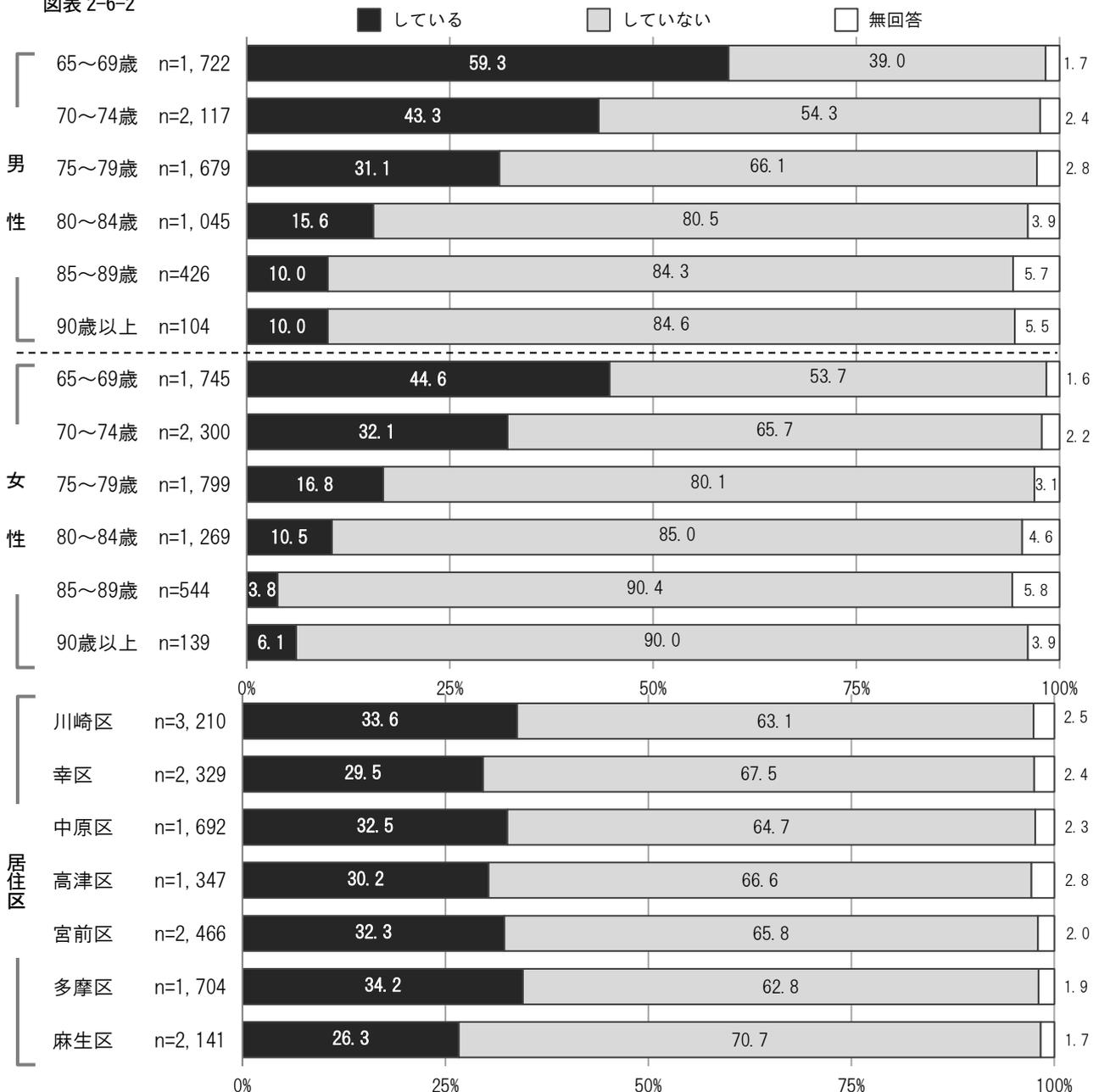
▶ 収入がともなう仕事をしている人の割合は前回調査から変化はなく、約3割となっている

図表 2-6-1



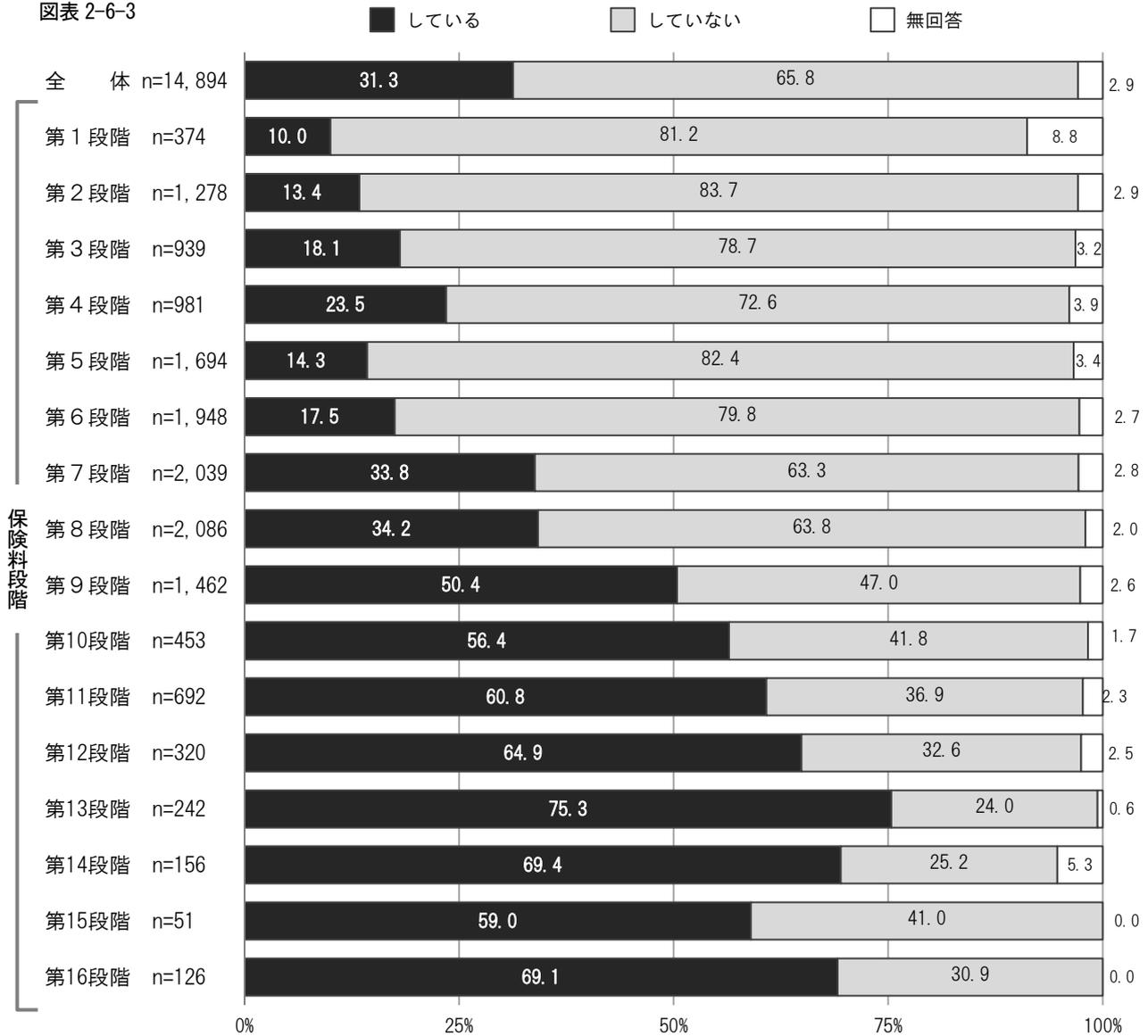
▶ 男性は79歳まで、女性は74歳までの人について、収入がともなう仕事をしている人の割合が3割を上回っており、他区と比較して「多摩区」は仕事をしている人の割合が高くなっている

図表 2-6-2



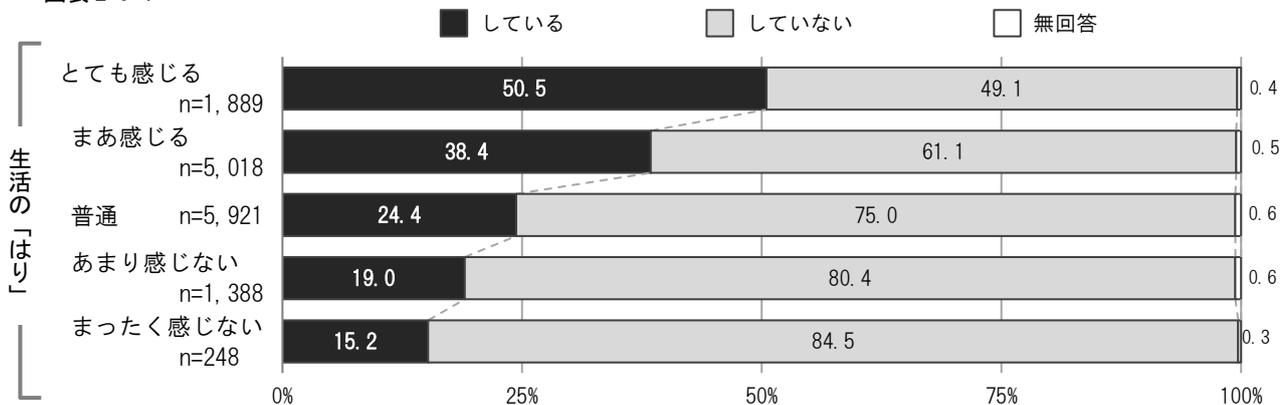
▶ 保険料段階の第9段階以上の人について、収入がともなう仕事をしている人の割合が5割を上回っている

図表 2-6-3



▶ 生活の「はり」を「とても感じる」人について、収入がともなう仕事をしている割合が高くなっている

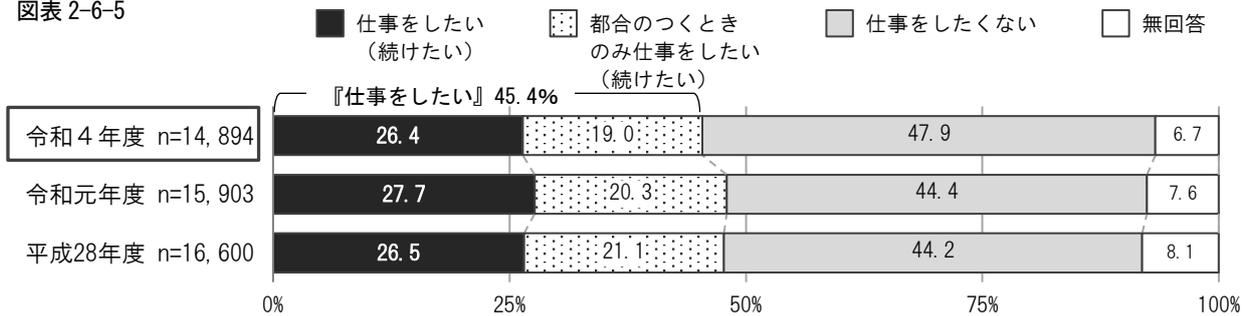
図表 2-6-4



問18 あなたは今後収入がともなう仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（1つの番号に○）

▶ 『仕事をしたい』と思う人の割合が前回調査より微減し、4割を超えるにとどまっている

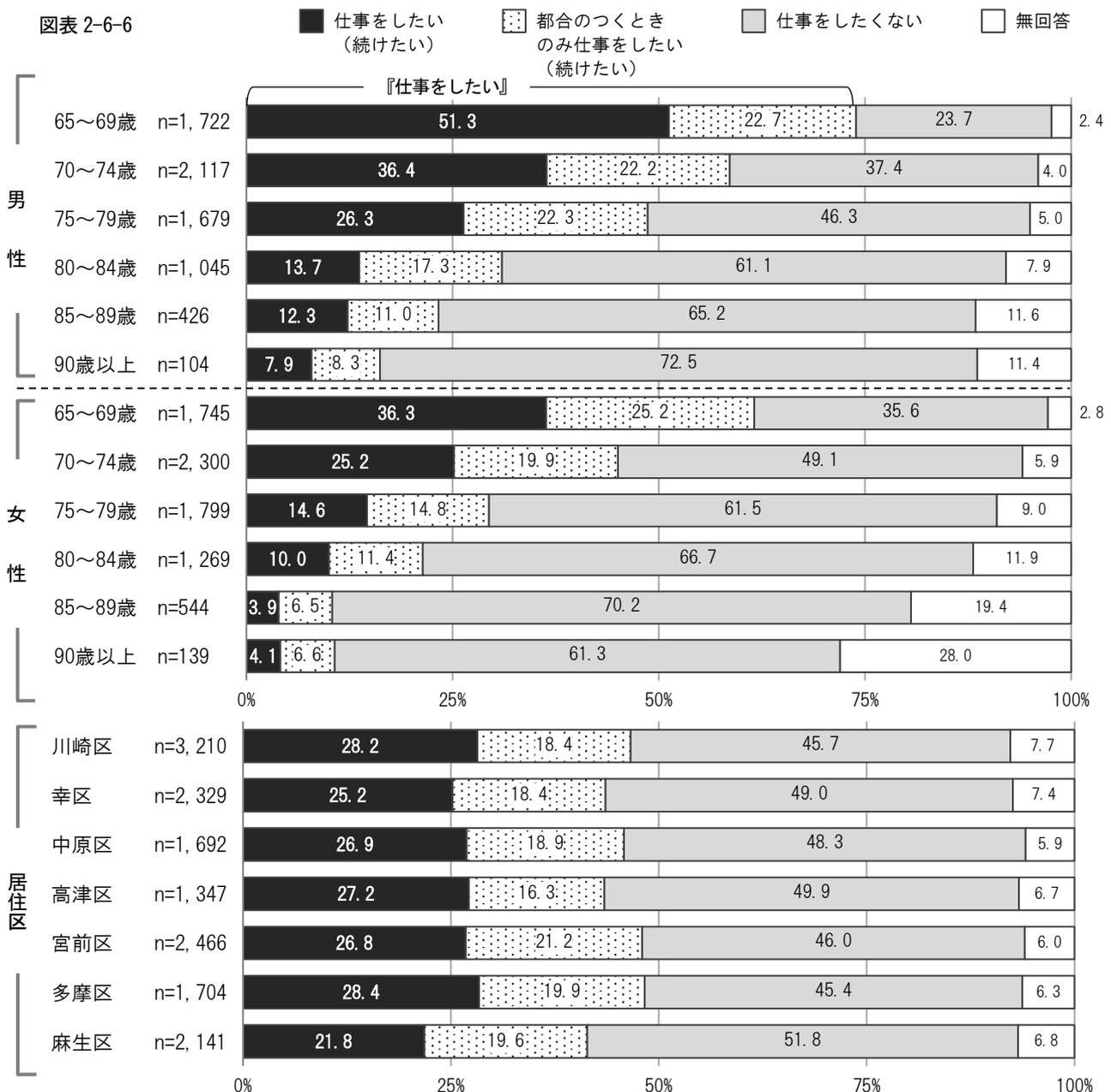
図表 2-6-5



※『仕事をしたい』 = 「仕事をしたい（続けたい）」 + 「都合のつくときのみ仕事をしたい（続けたい）」

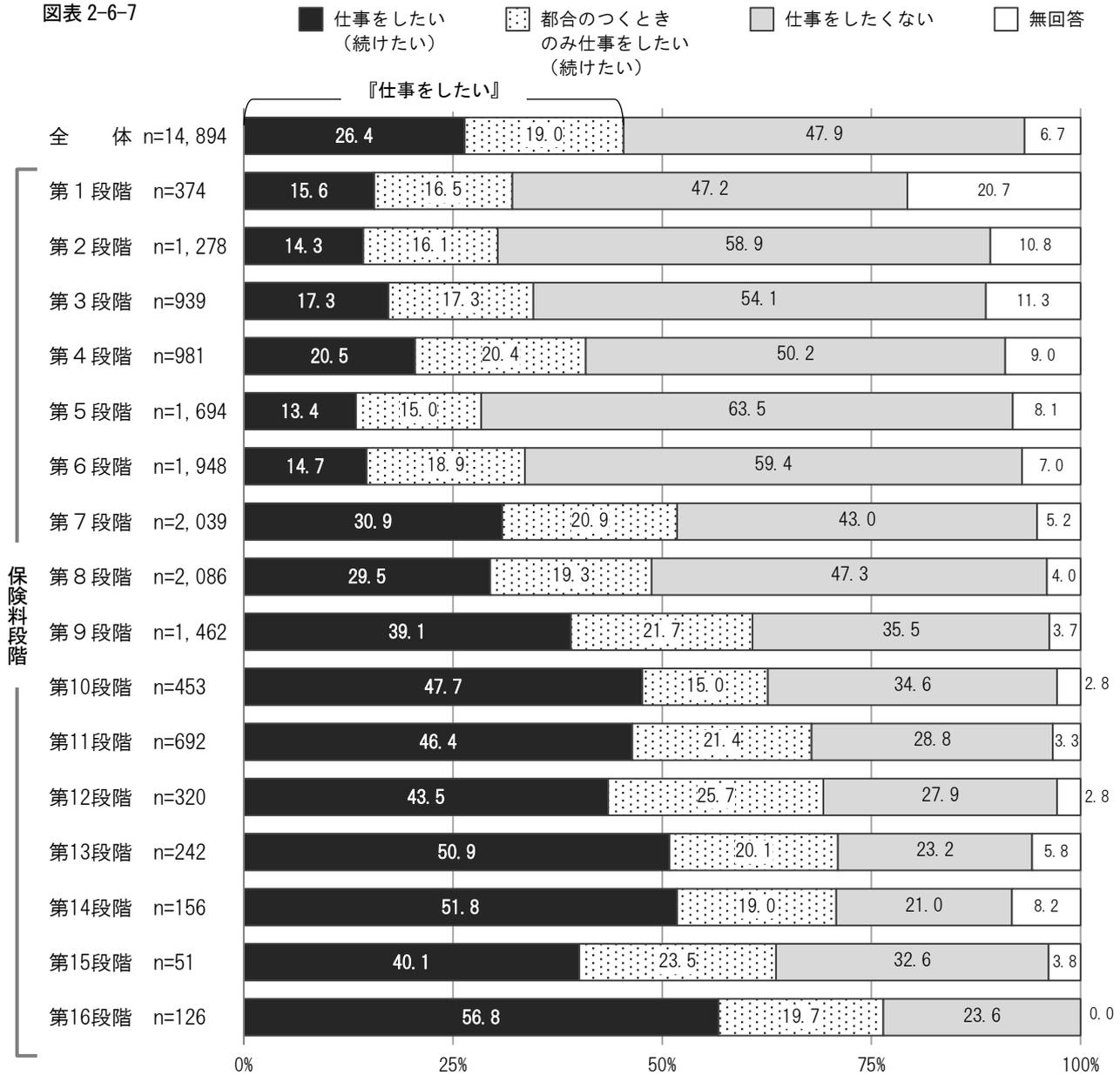
▶ 男性は84歳まで、女性は74歳まで『仕事をしたい』と思う人の割合が3割を上回っており、他区と比較して「宮前区」「多摩区」は『仕事をしたい』と思う人の割合が高くなっている

図表 2-6-6



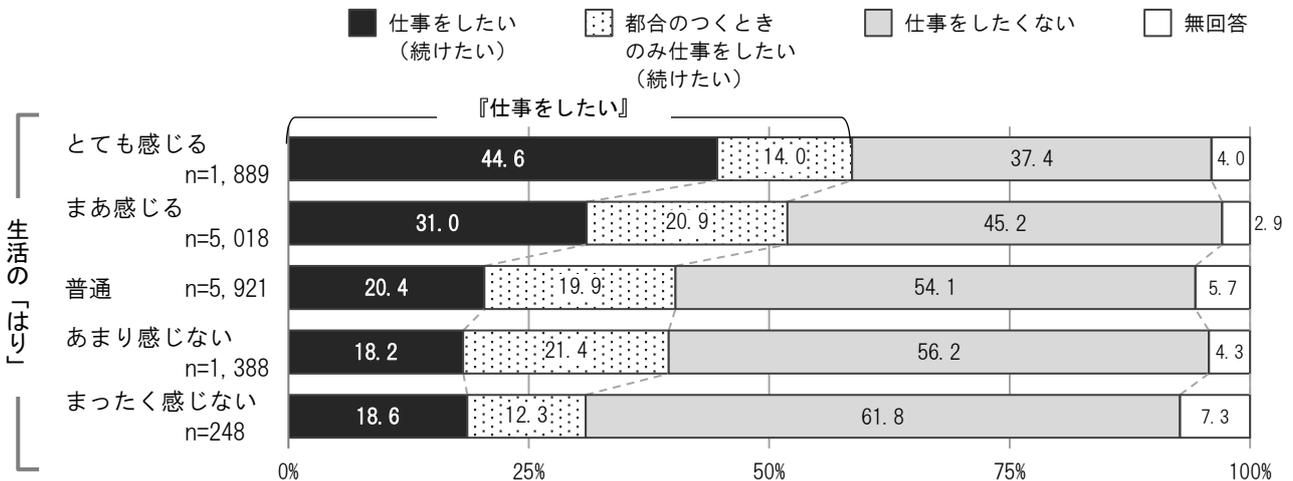
▶ 保険料段階の第9段階以上の人について、『仕事をしたい』と思う人の割合が6割を上回っている

図表 2-6-7



▶ 生活の「はり」を「とても感じる」人は『仕事をしたい』と思う割合が高くなっている

図表 2-6-8

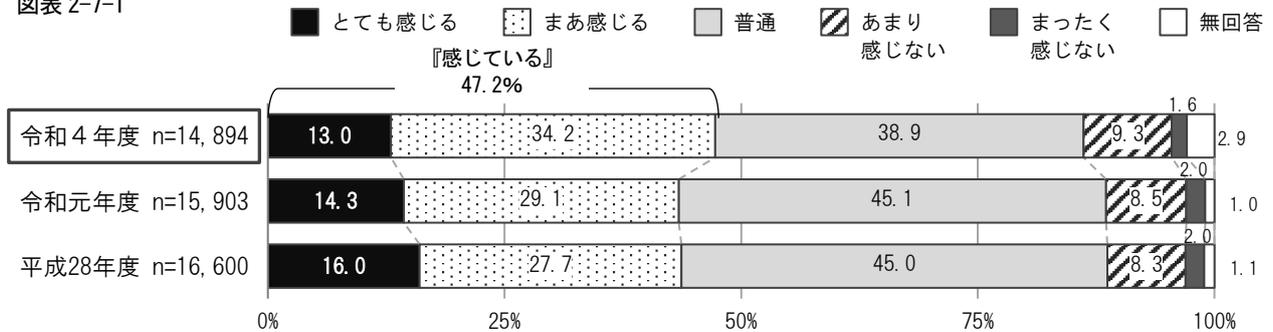


7 生きがいや交流などについて

問19 あなたは現在の生活に「はり」や「楽しみ」を感じていますか。（1つの番号に○）

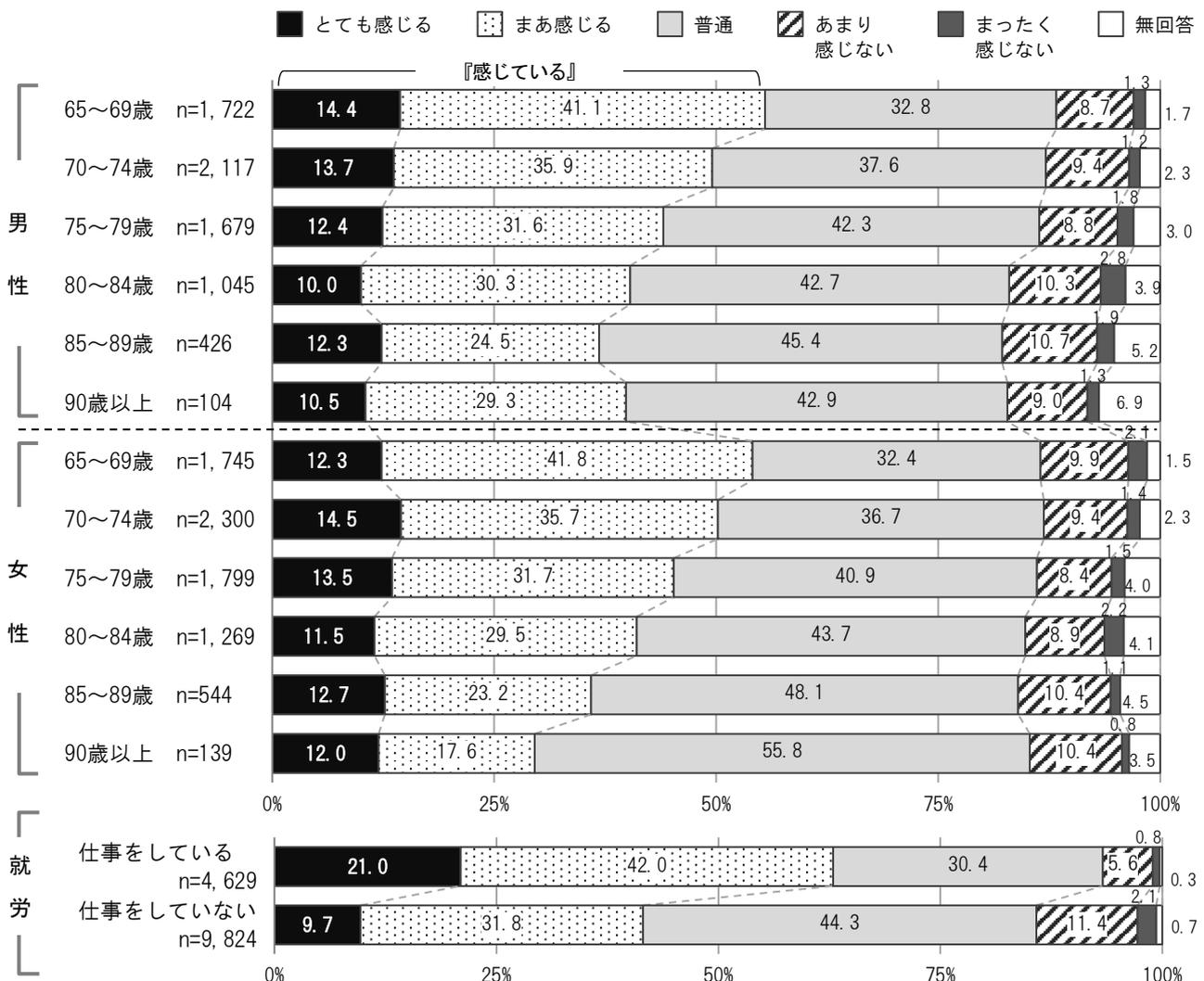
▶ 生活に「はり」や「楽しみ」を感じている人の割合が前回調査より増加し、5割弱となっている

図表 2-7-1



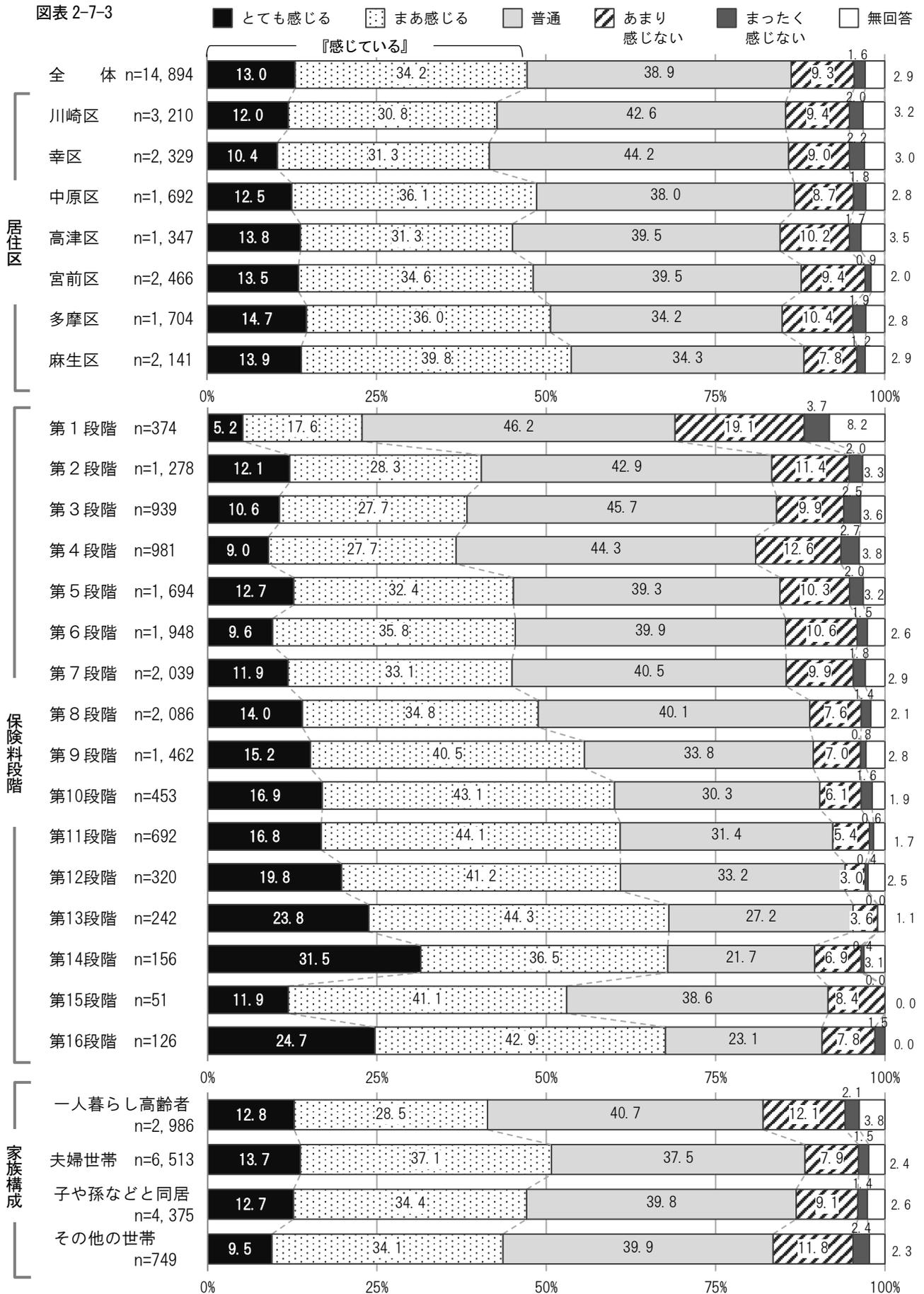
▶ 男性・女性ともに84歳までの人について、生活に「はり」や「楽しみ」を感じている人の割合が4割を上回っている

図表 2-7-2



▶ 他区と比較して「麻生区」は生活に「はり」や「楽しみ」を感じている人の割合が高く、5割を超えており、保険料段階の第9段階以上の人についても割合が高く、5割を上回っている

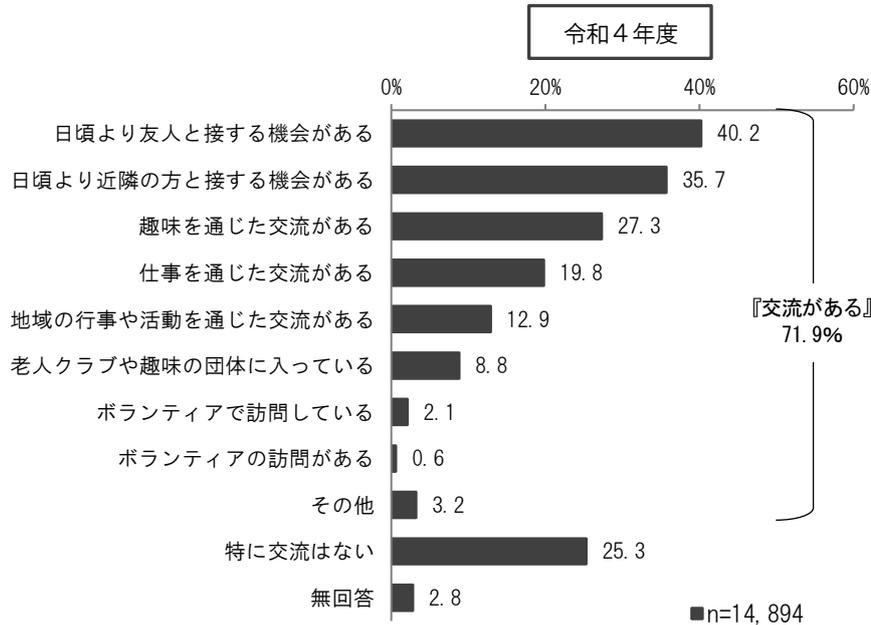
図表 2-7-3



問20 あなたは近隣の方やボランティアなど、家族以外の方との交流がありますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 家族以外の方との『交流がある』人の割合は約7割となっている

図表 2-7-4



※『交流がある』=100%-「特に交流はない」-「無回答」

▶ 「日頃より友人と接する機会がある」人の割合は、65～84歳の女性が高く、約5割となっており、65～74歳の女性は約8割の人が家族以外の方との交流がある

図表 2-7-5

単位：%

項目		回答者数(人)	日頃より友人と接する機会がある	日頃より近隣の方と接する機会がある	趣味を通じた交流がある	仕事を通じた交流がある	地域の行事や活動を通じた交流がある	老人クラブや趣味の団体に入っている	ボランティアで訪問している	ボランティアの訪問がある	『交流がある』	特に交流はない
全体		14,894	40.2	35.7	27.3	19.8	12.9	8.8	2.1	0.6	71.90	25.3
男性	65～69歳	1,722	29.3	19.7	24.2	35.9	9.9	2.9	0.9	0.1	65.60	32.9
	70～74歳	2,117	30.9	26.3	24.6	25.9	14.0	4.7	1.9	0.5	66.90	30.5
	75～79歳	1,679	33.4	32.5	26.4	21.0	14.4	8.8	2.0	0.8	67.70	29.5
	80～84歳	1,045	33.2	33.9	25.1	10.4	14.7	14.4	1.6	1.0	63.70	32.4
	85～89歳	426	28.1	29.4	21.6	5.7	13.7	13.9	0.9	0.3	57.40	37.3
	90歳以上	104	23.4	27.4	23.2	3.1	10.2	17.7	1.0	-	54.10	40.1
女性	65～69歳	1,745	48.5	34.6	27.6	29.8	9.7	4.2	2.2	0.5	80.00	18.4
	70～74歳	2,300	50.3	40.9	30.4	20.6	12.7	8.2	3.4	0.5	80.50	17.3
	75～79歳	1,799	49.9	50.3	32.1	10.2	14.5	11.5	2.9	0.8	78.20	18.6
	80～84歳	1,269	49.0	49.1	30.7	6.9	15.4	16.5	2.0	0.7	76.00	19.9
	85～89歳	544	43.0	47.2	25.9	2.3	11.1	16.6	1.4	1.5	69.10	26.8
	90歳以上	139	21.0	35.3	12.7	4.6	5.5	9.5	1.7	1.5	53.60	41.7

※「その他」「無回答」は掲載を省略

※『交流がある』=100%-「特に交流はない」-「無回答」

- ▶ 生活の「はり」や「楽しみ」を「とても感じる」「まあ感じる」人ほど家族以外の方と『交流がある』人の割合が高く、8割を上回っている
- ▶ 他区と比較して「宮前区」「麻生区」は『交流がある』人の割合が高くなっている

図表 2-7-6

単位：%

項目	回答者数(人)	日頃より友人と接する機会がある	日頃より近隣の方と接する機会がある	趣味を通じた交流がある	仕事を通じた交流がある	地域の行事や活動を通じた交流がある	老人クラブや趣味の団体に入っている	ボランティアで訪問している	ボランティアの訪問がある	『交流がある』	特に交流はない	
全体	14,894	40.2	35.7	27.3	19.8	12.9	8.8	2.1	0.6	71.90	25.3	
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	42.2	35.6	26.3	17.4	9.8	9.1	2.1	0.7	68.60	28.0
	夫婦世帯	6,513	40.5	35.2	30.1	19.9	13.4	9.0	2.2	0.6	73.60	24.0
	子や孫など同居	4,375	39.0	36.9	24.6	20.9	14.2	8.7	2.1	0.7	72.40	25.2
	その他の世帯	749	39.0	32.9	23.8	22.8	12.0	5.3	1.1	0.5	70.70	26.5
生活の「はり」	とても感じる	1,889	59.8	48.7	45.9	35.9	22.2	12.8	5.0	1.1	91.00	8.7
	まあ感じる	5,018	50.3	40.1	35.9	25.2	16.7	10.7	3.0	0.6	84.60	15.1
	普通	5,921	33.1	33.9	20.0	14.2	9.6	7.2	1.0	0.5	66.80	32.6
	あまり感じない	1,388	20.8	20.9	10.2	8.2	4.6	5.5	0.6	0.4	46.30	53.0
	まったく感じない	248	11.0	14.8	7.1	5.8	2.8	3.0	-	0.5	28.50	69.4
居住区	川崎区	3,210	37.7	35.7	22.2	20.1	13.7	10.0	2.7	0.9	69.30	27.4
	幸区	2,329	38.0	36.0	25.5	18.0	13.7	8.8	2.0	0.8	70.80	26.4
	中原区	1,692	40.3	33.6	28.9	20.2	12.6	7.7	2.7	0.6	71.60	25.4
	高津区	1,347	39.1	33.9	23.8	17.8	12.2	7.9	1.6	0.7	68.90	28.0
	宮前区	2,466	41.3	37.3	28.8	21.1	11.9	9.1	1.8	0.4	74.10	24.0
	多摩区	1,704	41.5	37.7	29.3	22.0	12.2	7.8	1.7	0.4	73.60	24.0
	麻生区	2,141	43.7	35.4	33.0	18.8	13.9	9.6	2.3	0.5	75.60	

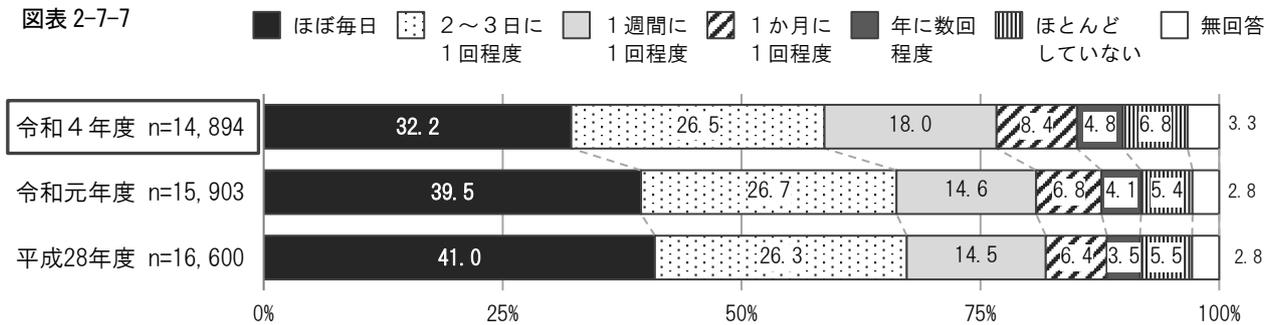
※「その他」「無回答」は掲載を省略

※『交流がある』=100%－「特に交流はない」－「無回答」

問21 あなたは同居の親族以外の人とどの程度お話をする機会がありますか。(1つの番号に○)

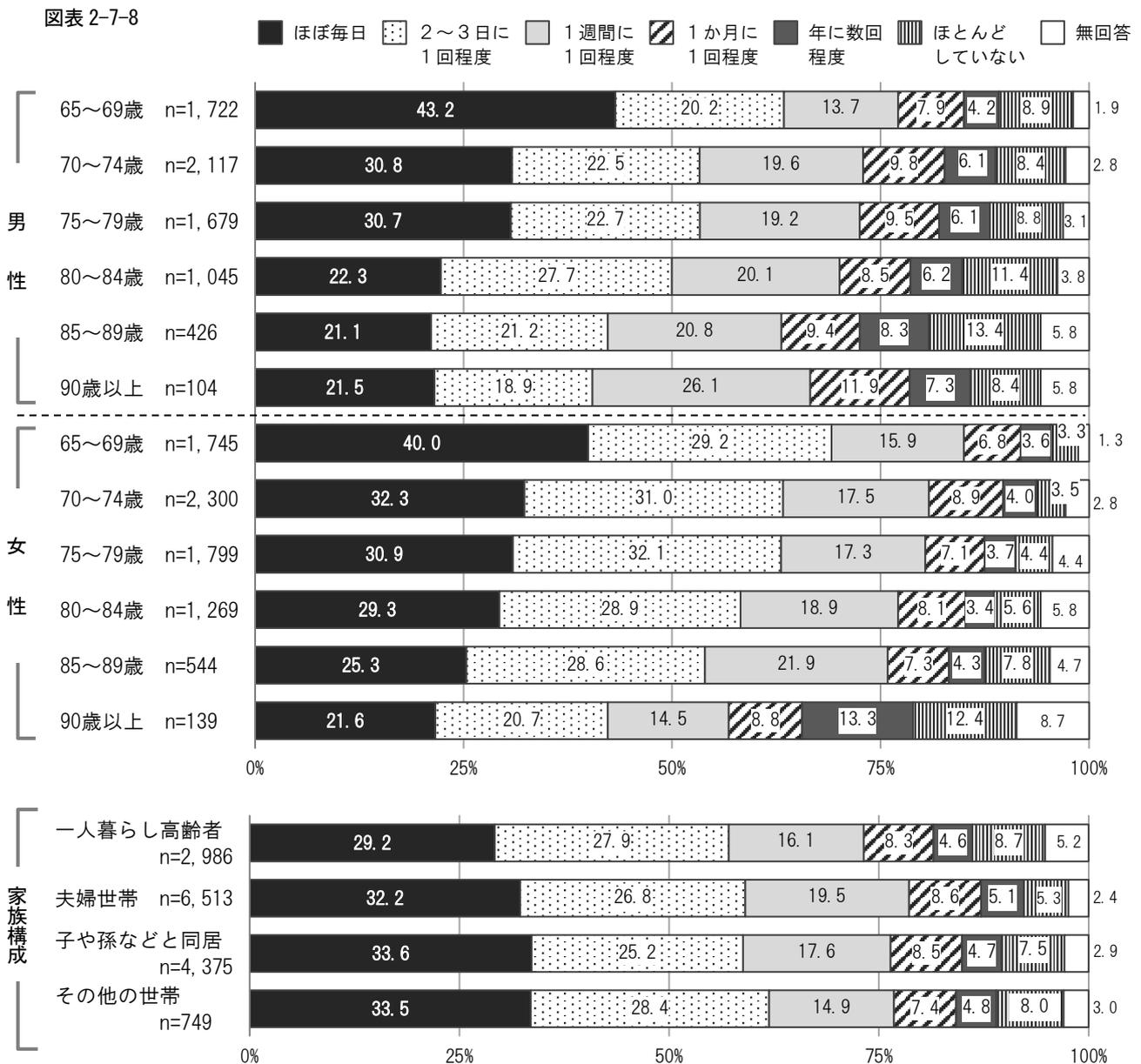
▶ 同居の親族以外の人と「ほぼ毎日」話をする機会がある人の割合が前回調査から減少し、約3割にとどまっている

図表 2-7-7



▶ 男性・女性ともに80歳以上の人について、同居の親族以外の人と「ほぼ毎日」話をする機会がある人の割合が3割を下回っている

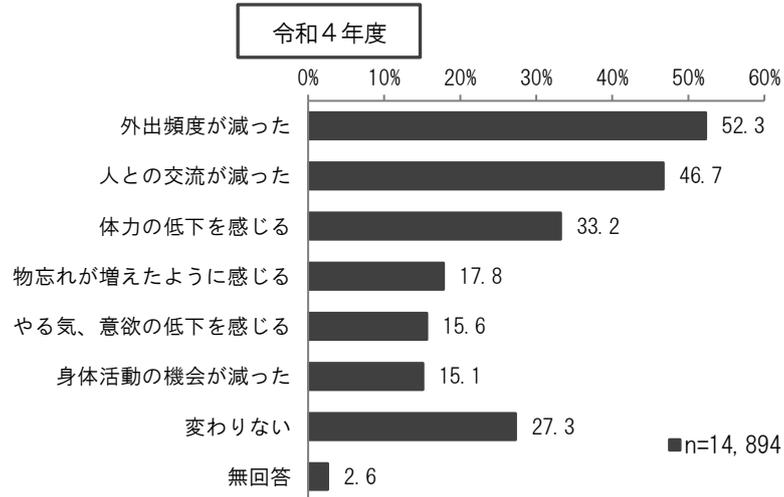
図表 2-7-8



問22 あなたは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の前と現在について、心身の変化や活動の変化で感じることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)【令和4年度新規設問】

▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による心身の変化や活動の変化として、「外出頻度が減った」と感じている人の割合が約5割となり、次いで「人との交流が減った」と感じている人の割合が5割弱となっている

図表 2-7-9



図表 2-7-10

単位：%

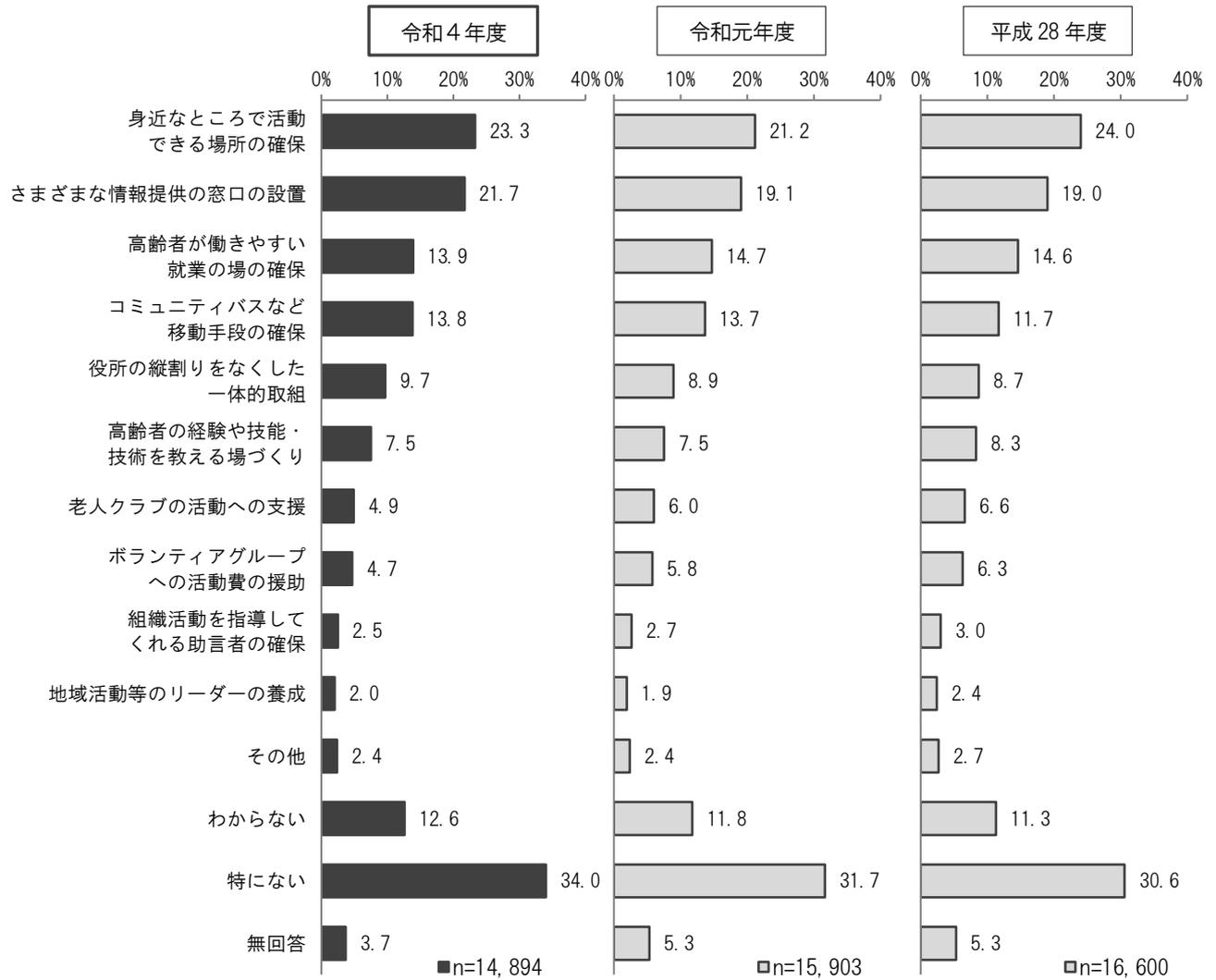
項目		回答者数(人)	外出頻度が減った	人との交流が減った	体力の低下を感じる	物忘れが増えたように感じる	やる気、意欲の低下を感じる	身体活動の機会が減った	変わらない
全体		14,894	52.3	46.7	33.2	17.8	15.6	15.1	27.3
男性	65～69歳	1,722	43.9	45.5	24.3	10.0	10.1	15.5	34.1
	70～74歳	2,117	46.8	44.3	28.1	13.6	11.4	14.8	31.2
	75～79歳	1,679	47.7	44.2	31.8	18.9	14.4	15.5	30.2
	80～84歳	1,045	48.0	42.4	36.4	22.1	14.8	15.0	29.5
	85～89歳	426	47.7	37.3	36.2	25.2	16.1	14.3	30.1
	90歳以上	104	44.5	37.9	38.6	26.7	15.5	9.7	29.2
女性	65～69歳	1,745	56.6	51.5	28.6	11.8	14.7	13.5	24.8
	70～74歳	2,300	57.4	50.7	35.4	17.1	16.5	15.5	23.3
	75～79歳	1,799	57.7	49.2	36.9	21.0	19.3	15.6	23.8
	80～84歳	1,269	61.3	48.8	43.6	25.7	24.2	16.3	19.8
	85～89歳	544	55.3	42.3	41.7	30.8	20.7	17.2	27.2
	90歳以上	139	55.1	39.2	49.3	28.8	18.3	11.8	29.5
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	47.5	41.0	33.7	18.5	17.5	13.8	30.2
	夫婦世帯	6,513	54.5	49.8	32.3	17.6	14.9	16.3	25.8
	子や孫などと同居	4,375	53.3	47.1	34.3	17.4	15.5	14.4	27.3
	その他の世帯	749	52.9	44.5	31.7	18.3	14.3	17.0	28.5

※「無回答」は掲載を省略

問23 あなたはさまざまな活動をするのに、市からどのような援助を希望しますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

▶ さまざまな活動をするのに、希望する市からの援助について、「身近なところで活動できる場所の確保」が2割を超え、「さまざまな情報提供の窓口の設置」が約2割となっている

図表 2-7-11



▶ 他区と比較して「宮前区」「麻生区」では「身近なところで活動できる場所の確保」や「コミュニティバスなど移動手段の確保」を希望する割合が高くなっている

図表 2-7-12

単位：%

項目	回答者数(人)	身近なところで活動できる場所の確保	さまざまな情報提供の窓口の設置	高齢者が働きやすい就業の場の確保	高齢者が働きやすい就業の場の確保	コミュニティバスなど移動手段の確保	役所の縦割りをなくした一体的取組	高齢者の経験や技能・技術を教える場づくり	老人クラブの活動への支援	ボランティアグループへの活動費の援助	組織活動を指導してくれる助言者の確保	地域活動等のリーダーの養成
全体	14,894	23.3	21.7	13.9	13.8	9.7	7.5	4.9	4.7	2.5	2.0	
男性	65～69歳	1,722	23.0	24.9	23.7	13.0	15.3	9.1	1.4	6.0	2.4	1.9
	70～74歳	2,117	21.0	22.2	19.0	11.1	10.9	10.8	3.4	5.7	3.0	1.9
	75～79歳	1,679	19.5	18.3	12.9	10.0	9.6	6.3	5.3	4.3	2.3	2.9
	80～84歳	1,045	19.5	17.6	6.3	10.7	8.9	5.4	8.5	5.5	3.1	2.9
	85～89歳	426	15.0	14.0	6.3	8.8	5.2	4.3	14.0	3.9	3.6	3.1
	90歳以上	104	11.5	9.5	2.2	9.0	4.3	3.3	14.3	4.0	1.5	4.6
女性	65～69歳	1,745	29.0	28.9	22.2	19.8	11.1	8.9	1.9	3.4	2.3	1.5
	70～74歳	2,300	28.1	25.8	14.5	17.2	9.6	8.0	3.7	4.3	2.3	1.6
	75～79歳	1,799	26.2	20.5	8.7	13.6	7.7	6.2	5.2	4.2	2.8	1.9
	80～84歳	1,269	23.0	16.7	5.1	15.5	6.3	5.3	9.4	4.3	1.8	2.0
	85～89歳	544	18.4	14.0	1.7	13.8	6.6	3.9	8.0	3.9	2.5	1.5
	90歳以上	139	11.2	10.7	-	8.6	3.4	6.9	8.2	6.2	2.0	0.6
居住区	川崎区	3,210	20.2	20.3	14.0	8.7	8.8	6.7	5.2	4.7	2.6	2.1
	幸区	2,329	22.4	20.9	13.9	11.7	8.6	8.1	4.9	4.6	2.8	2.4
	中原区	1,692	23.0	21.8	13.6	11.3	10.1	7.2	4.6	4.6	2.5	1.9
	高津区	1,347	22.4	21.0	13.7	12.5	9.3	6.2	4.4	4.0	3.2	2.0
	宮前区	2,466	25.4	23.6	14.8	17.0	11.3	8.7	5.5	4.9	2.5	1.5
	多摩区	1,704	24.5	20.5	15.3	16.4	9.4	7.9	3.8	4.3	2.4	2.0
	麻生区	2,141	25.7	23.6	12.2	19.1	10.4	8.0	6.1	5.5	1.7	2.4

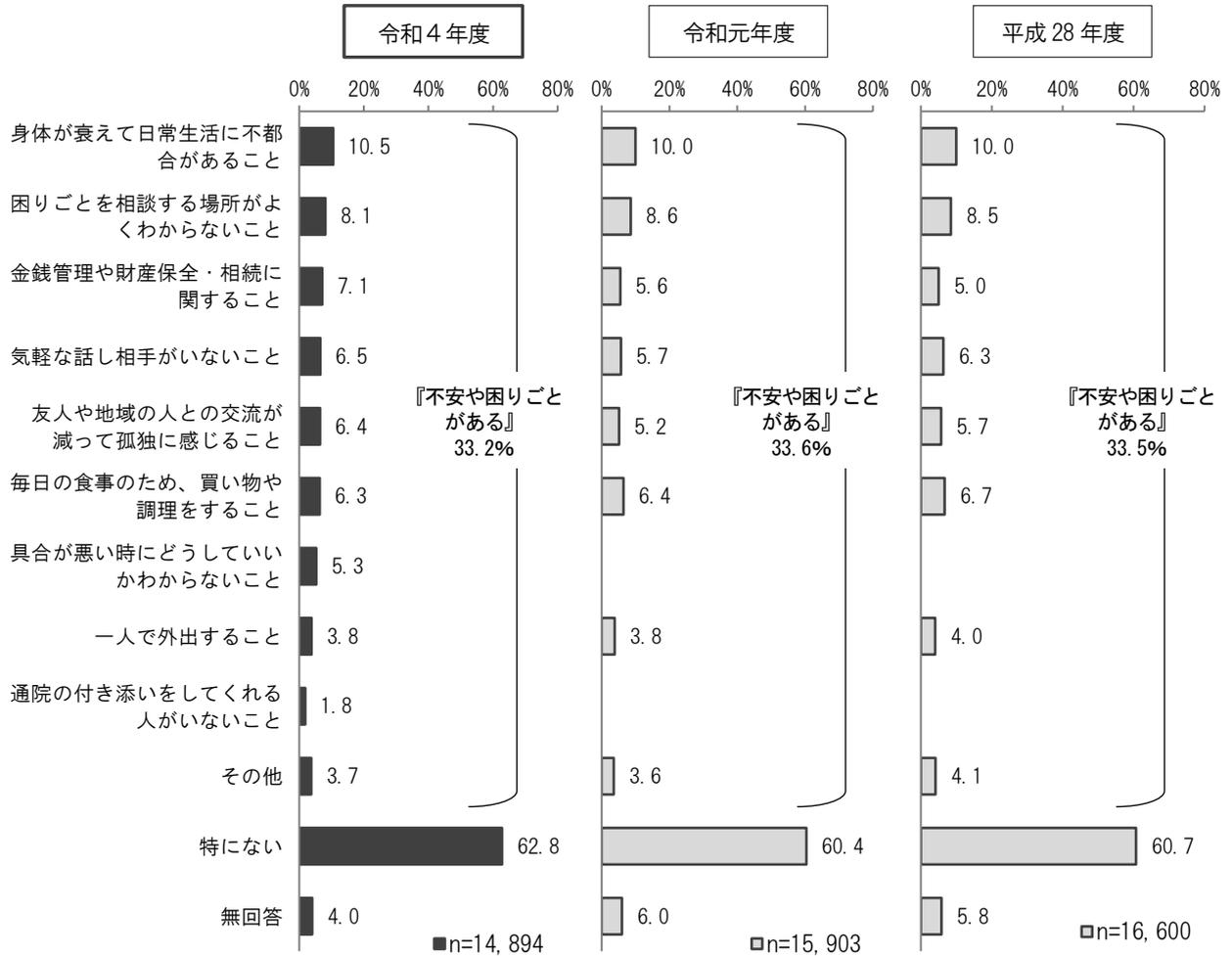
※「その他」「わからない」「特にない」「無回答」は掲載を省略

問24 あなたは現在、どのような不安や困りごともがありますか。

(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 『不安や困りごとがある』人の割合は前回調査から変化はなく、3割を超えている

図表 2-7-13



※ 『不安や困りごとがある』 = 100% - 「特になし」 - 「無回答」

※ 「具合が悪い時にどうしていいかわからないこと」「通院の付き添いをしてもらえる人がいないこと」は令和4年度調査より追加

▶ 「一人暮らし高齢者」は『不安や困りごとがある』人の割合が約4割となっており、特に「具合が悪い時にどうしていいかわからないこと」「気軽な話し相手がいらないこと」の割合が高くなっている

図表 2-7-14

単位：%

項目	回答者数(人)	身体が衰えて日常生活に不都合があること	困りごとを相談する場所がよくわからないこと	金銭管理や財産保全・相続に関すること	気軽な話し相手がいらないこと	友人や地域の人との交流が減って孤独に感じる	毎日の食事のため、買い物や調理をすること	具合が悪い時にどうしていいかわからないこと	一人で外出すること	通院の付き添いをしてくれる人がいないこと	『不安や困りごとがある』	
全体	14,894	10.5	8.1	7.1	6.5	6.4	6.3	5.3	3.8	1.8	33.2	
男性	65～69歳	1,722	6.5	6.7	8.8	7.0	6.5	3.5	3.9	1.0	1.4	30.8
	70～74歳	2,117	8.5	7.3	8.4	6.7	5.0	4.7	4.8	1.8	1.4	30.0
	75～79歳	1,679	11.3	9.2	8.2	7.7	7.5	5.9	3.4	3.5	1.8	33.4
	80～84歳	1,045	17.2	11.7	9.3	8.5	7.6	10.1	7.1	5.7	2.3	41.0
	85～89歳	426	19.2	10.1	8.0	9.1	9.7	9.5	8.6	7.2	1.7	39.8
	90歳以上	104	26.1	3.6	5.6	8.0	10.9	5.4	2.6	12.9	3.9	40.2
女性	65～69歳	1,745	5.3	6.8	6.6	5.4	4.8	3.8	5.4	1.0	0.9	28.1
	70～74歳	2,300	7.2	8.2	5.7	5.7	5.4	5.6	4.8	2.6	1.8	30.3
	75～79歳	1,799	9.8	7.6	4.6	6.0	5.9	6.5	5.7	4.1	1.6	32.6
	80～84歳	1,269	16.2	8.0	6.5	4.9	7.1	11.3	8.1	7.8	2.9	39.5
	85～89歳	544	21.3	12.1	6.6	7.3	9.9	11.9	6.5	12.2	4.7	45.7
	90歳以上	139	22.2	5.0	5.5	7.5	11.3	9.2	2.9	19.2	3.0	39.8
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	11.3	11.7	5.8	11.3	8.8	8.8	12.2	3.6	4.6	42.2
	夫婦世帯	6,513	9.5	7.6	7.1	5.1	5.6	5.4	3.9	3.2	1.1	29.9
	子や孫などと同居	4,375	11.5	6.5	7.9	5.4	6.0	6.0	3.2	4.8	1.2	32.0
	その他の世帯	749	9.2	7.7	7.1	7.0	5.2	6.9	4.3	2.9	1.7	33.4
居住区	川崎区	3,210	11.1	8.9	6.8	6.3	6.2	6.3	5.8	3.7	1.7	33.4
	幸区	2,329	11.2	8.0	5.6	6.8	6.3	6.4	5.5	4.3	1.8	32.1
	中原区	1,692	9.6	8.2	7.7	6.8	6.8	6.2	6.6	3.6	2.0	34.1
	高津区	1,347	10.5	7.8	7.5	7.0	6.6	6.5	4.8	4.9	2.1	34.1
	宮前区	2,466	10.6	9.0	6.6	6.8	6.6	6.7	5.9	3.2	1.6	34.0
	多摩区	1,704	10.3	7.9	7.6	6.1	6.1	6.0	4.9	3.8	2.2	33.2
	麻生区	2,141	9.7	6.9	8.0	5.9	6.1	6.1	3.7	3.1	1.5	31.3

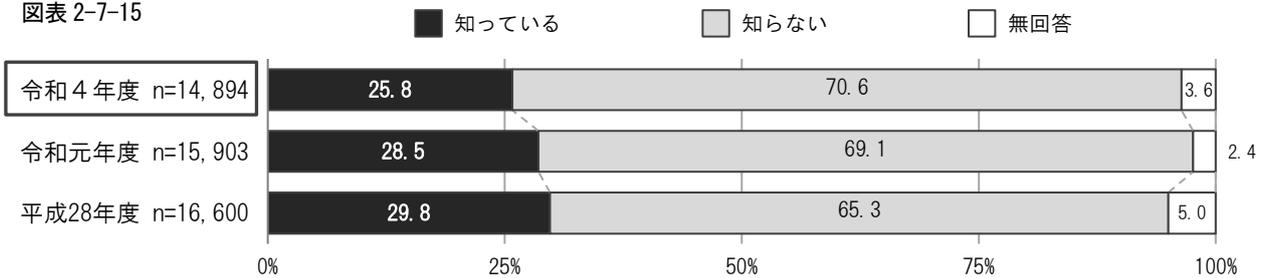
※「その他」「特にない」「無回答」は掲載を省略

※『不安や困りごとがある』=100%－「特にない」－「無回答」

問25 あなたは高齢者虐待を見つけた場合の通報・相談窓口が、区役所や地域包括支援センターにあることを知っていますか。(1つの番号に○)

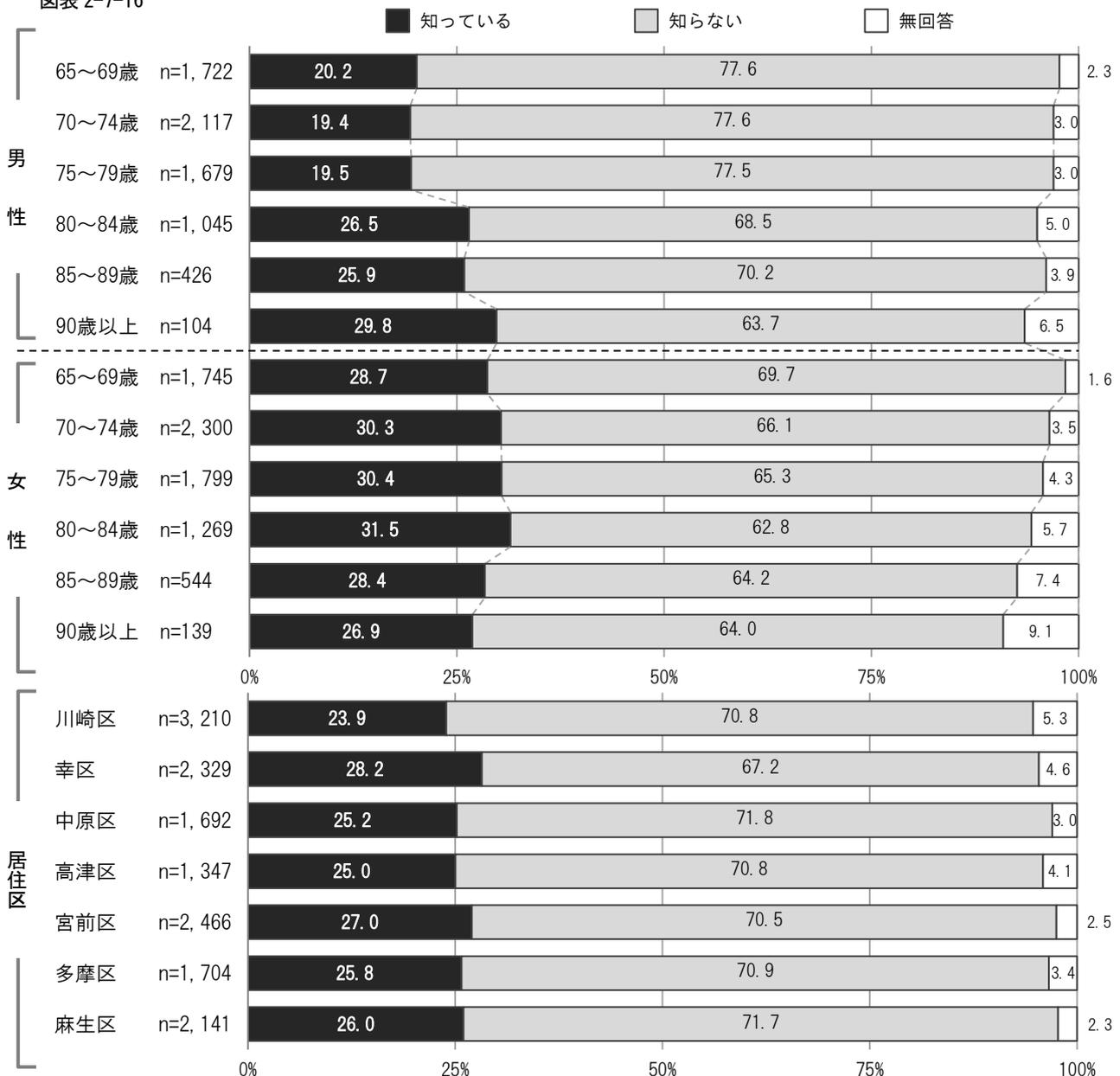
▶ 高齢者虐待の通報・相談窓口の存在を「知っている」人の割合は減少傾向にあり、2割を超えるにとどまっている

図表 2-7-15



▶ 男性の79歳までの人について、高齢者虐待の通報・相談窓口の存在を「知っている」人の割合が約2割にとどまっている一方、女性の89歳までの人について、「知っている」人の割合が約3割となっている

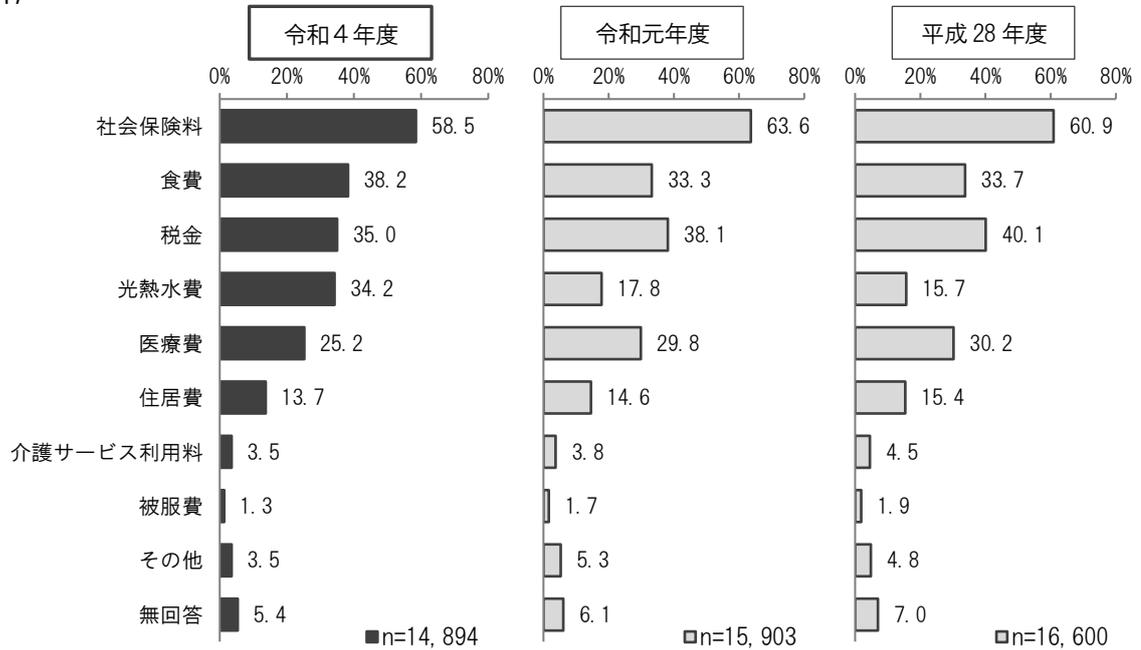
図表 2-7-16



問26 日常生活において、金銭的な負担感の大きいものはどれですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

▶ 「光熱水費」の金銭的な負担感の割合が前回調査より大幅に増加し、3割を超えている

図表 2-7-17



図表 2-7-18

単位：%

項目	回答者数(人)	社会保険料	食費	税金	光熱水費	医療費	住居費	介護サービス利用料	被服費	その他	
全体	14,894	58.5	38.2	35.0	34.2	25.2	13.7	3.5	1.3	3.5	
男性	65～69歳	1,722	65.5	35.5	49.6	30.1	23.6	23.9	2.6	1.0	2.7
	70～74歳	2,117	61.0	39.6	42.7	34.6	28.0	16.8	3.0	1.2	3.4
	75～79歳	1,679	64.5	39.4	38.7	31.0	26.3	11.9	3.9	1.5	3.3
	80～84歳	1,045	62.5	38.0	33.8	33.4	30.9	10.0	5.1	1.3	3.6
	85～89歳	426	54.3	30.6	36.0	27.9	32.4	7.5	3.1	0.9	3.0
	90歳以上	104	55.7	36.1	30.5	21.0	29.2	6.1	1.3	-	4.8
女性	65～69歳	1,745	61.8	37.5	39.9	35.7	26.7	17.3	3.1	1.2	2.7
	70～74歳	2,300	55.2	40.7	30.5	38.8	22.7	12.6	3.0	1.8	3.8
	75～79歳	1,799	55.2	39.6	24.0	36.3	20.2	9.6	3.8	1.4	3.9
	80～84歳	1,269	48.4	37.6	22.4	36.4	24.2	9.9	3.9	1.2	4.8
	85～89歳	544	46.3	35.3	20.0	30.5	24.7	6.2	5.5	1.1	4.1
	90歳以上	139	41.4	29.6	22.9	27.7	9.7	8.7	8.1	-	4.3

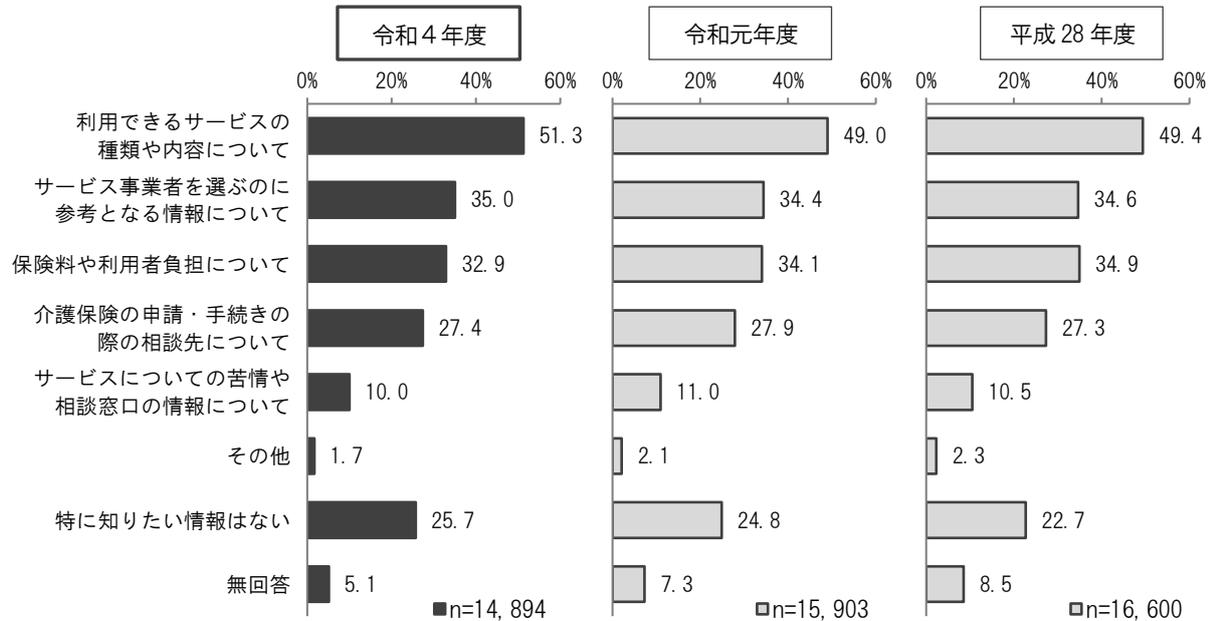
※「無回答」は掲載を省略

8 介護保険制度について

問27 介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなたが知りたい情報は何か。
(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 「利用できるサービスの種類や内容について」を知りたい情報とする人の割合が前回調査より微増し、約5割と最も高くなっている

図表 2-8-1



▶ 他区と比較すると「宮前区」は介護保険制度や介護保険サービスに関する情報全般について、知りたい情報とする人の割合が高くなっている

図表 2-8-2

単位：%

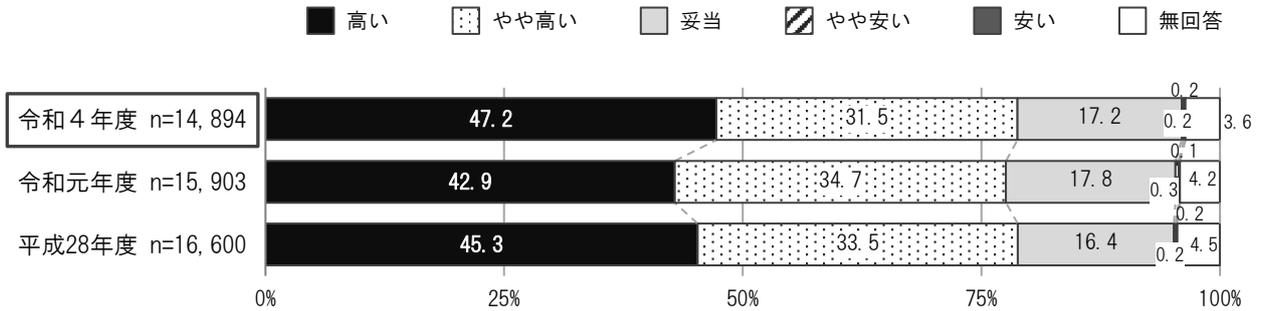
項目	回答者数(人)	利用できるサービスの種類や内容について	サービス事業者を選ぶのに参考となる情報について	保険料や利用者負担について	介護保険の申請・手続きの際の相談先について	サービスについての苦情や相談窓口の情報について	その他	
全体	14,894	51.3	35.0	32.9	27.4	10.0	1.7	
居住区	川崎区	3,210	48.8	32.1	32.4	26.6	9.0	1.7
	幸区	2,329	52.1	36.3	33.0	28.4	10.4	1.5
	中原区	1,692	49.5	33.4	31.6	25.3	10.8	1.4
	高津区	1,347	49.2	33.5	32.0	28.1	10.2	1.5
	宮前区	2,466	54.6	38.0	35.8	29.8	11.1	2.1
	多摩区	1,704	50.2	34.1	32.9	26.8	8.5	1.6
	麻生区	2,141	54.7	37.9	32.1	26.5	9.9	2.1

※「特に知りたい情報はない」「無回答」は掲載を省略

問28 現在、あなたが払っている川崎市の介護保険料をどう感じますか。
(もっとも近いもの1つの番号に○)

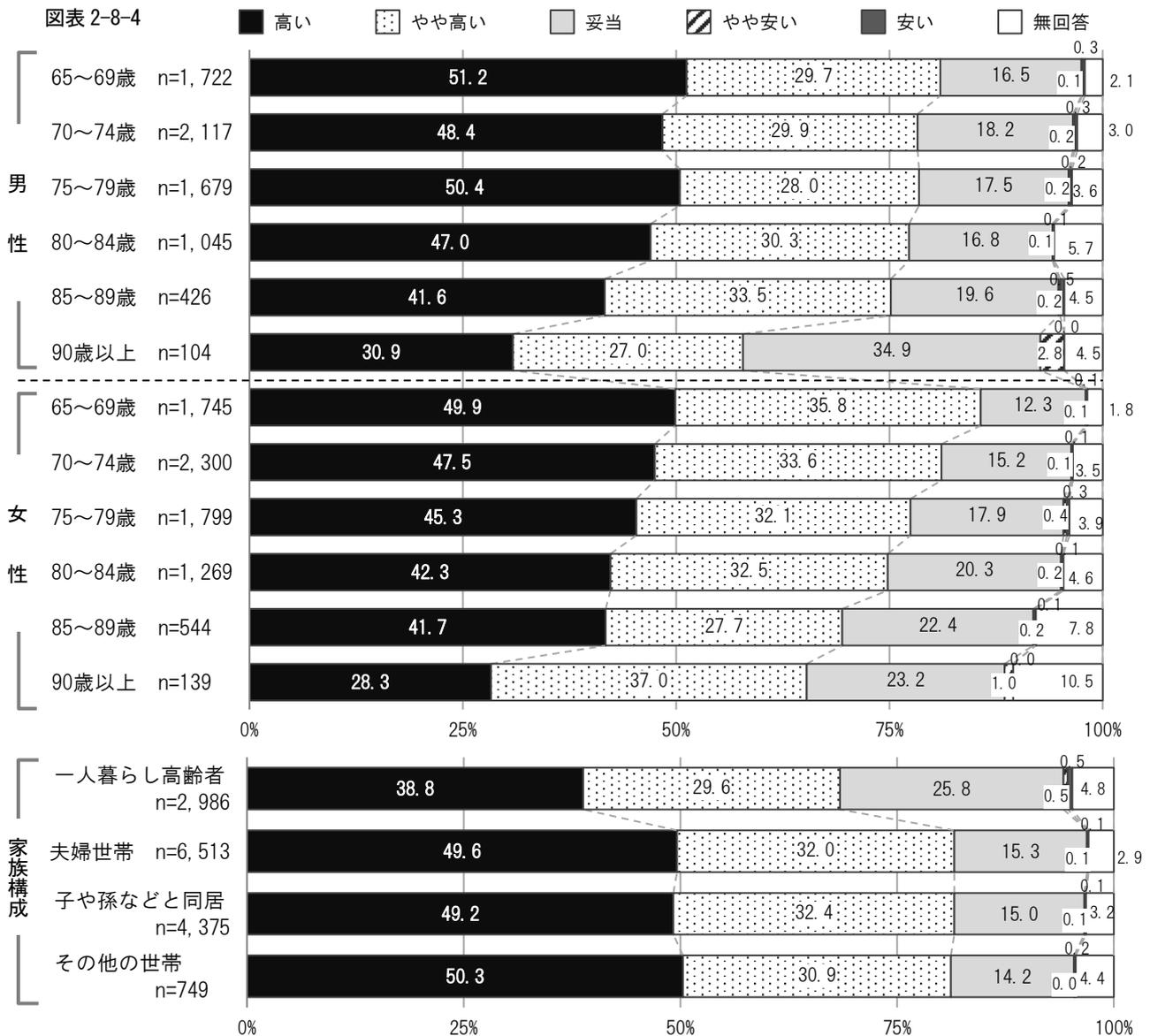
▶ 介護保険料を「高い」と感じる人の割合が前回調査より増加し、5割弱となっている

図表 2-8-3



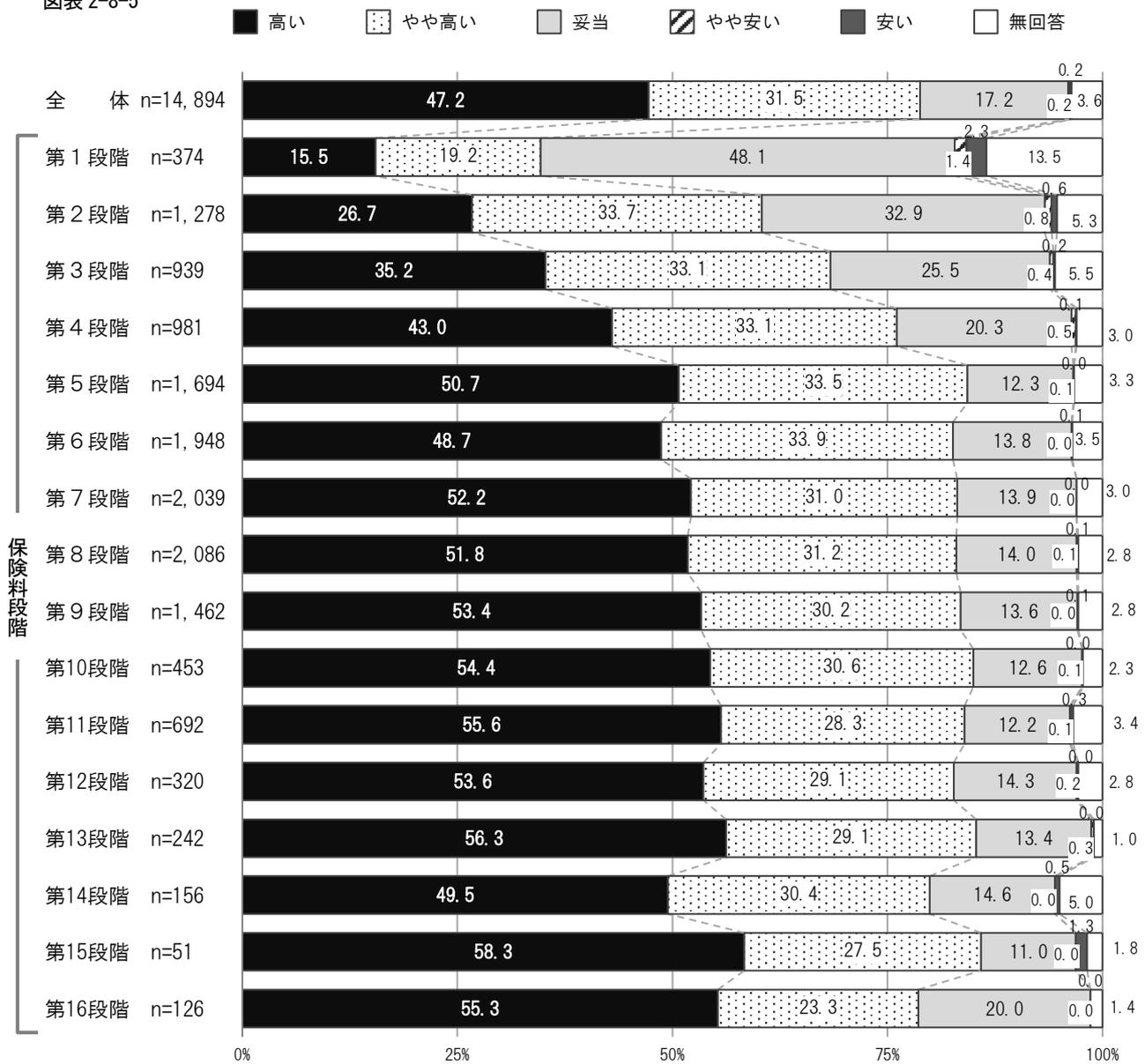
▶ 65～79歳までの男性について、介護保険料を「高い」と感じる割合が約5割となり、「一人暮らし高齢者」以外の家族構成の人のほうが、介護保険料を「高い」と感じる割合が高くなっている

図表 2-8-4



▶ 保険料段階の第7段階以上の人について、介護保険料を「高い」と感じる人の割合がおおむね5割を上回っている

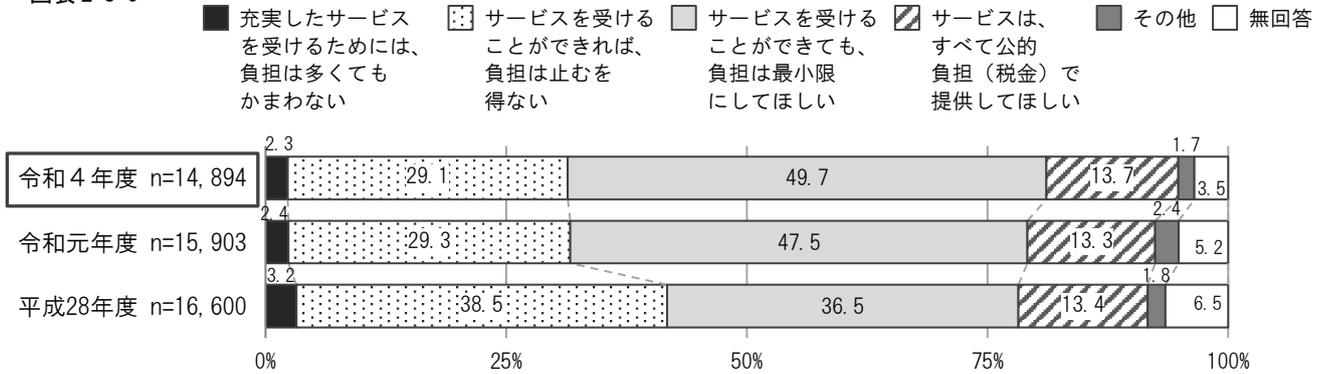
図表 2-8-5



問29 「介護保険制度」では、介護サービスを受けたときに、1割、2割または3割の自己負担を必要としています。この自己負担をどのように考えますか。
(もっとも近いもの1つの番号に○)

▶ 「サービスを受けることができても、負担は最小限にしてほしい」と考える人の割合が増加傾向となっており、約5割となっている。

図表 2-8-6



※平成27年8月から「1割または2割負担」、平成30年8月から「1割または2割または3割負担」となった。

▶ 保険料段階の第2～第7段階の人について、「サービスを受けることができても、負担は最小限にしてほしい」と考えている人の割合が5割を上回っている

図表 2-8-7

単位：%

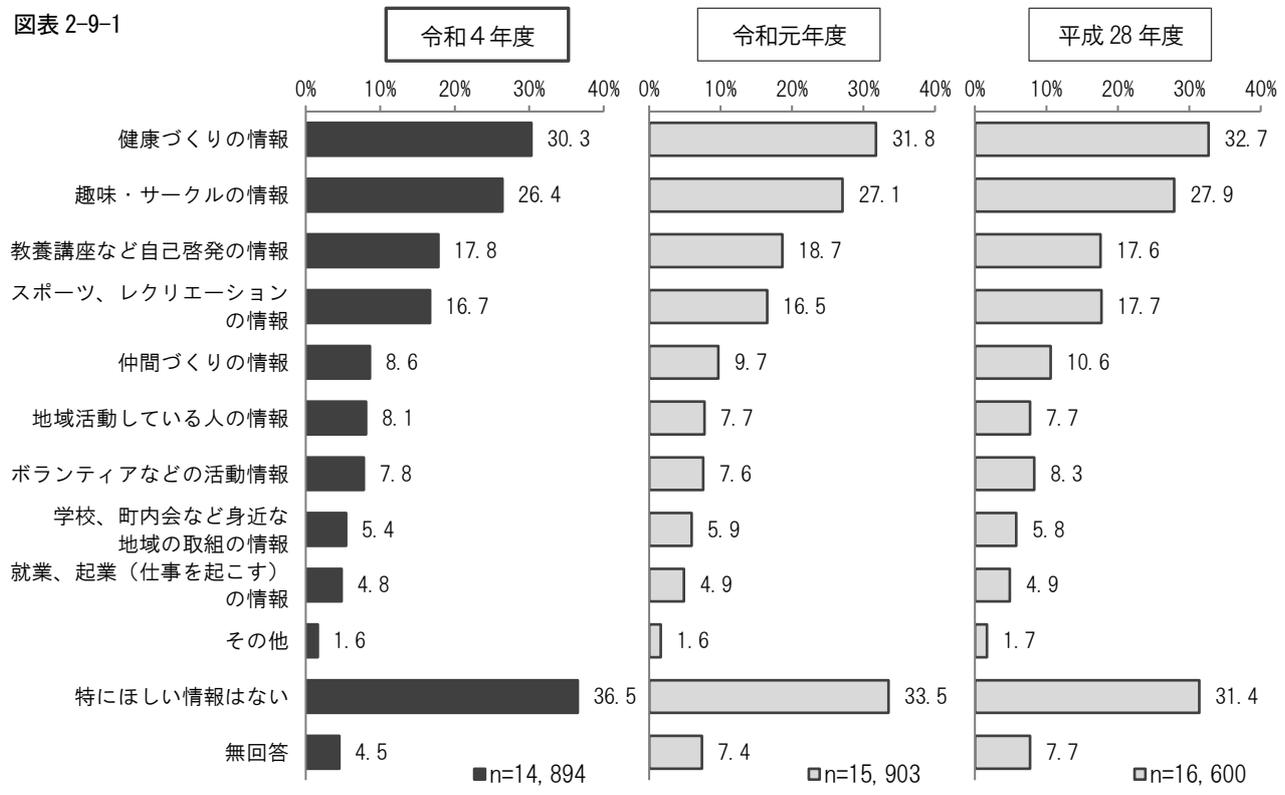
項目	回答者数(人)	充実したサービスを受けるためには、負担は多くてもかまわない	サービスを受けることができれば、負担は止むを得ない	サービスを受けることができても、負担は最小限にしてほしい	サービスは、すべて公的負担(税金)で提供してほしい	
全体	14,894	2.3	29.1	49.7	13.7	
保険料段階	第1段階	374	2.9	14.2	41.4	22.4
	第2段階	1,278	2.2	25.5	52.1	12.9
	第3段階	939	1.2	24.3	55.1	12.4
	第4段階	981	2.2	21.7	54.3	17.0
	第5段階	1,694	1.5	29.6	52.0	11.7
	第6段階	1,948	0.8	27.5	53.8	13.3
	第7段階	2,039	1.7	25.7	51.8	15.3
	第8段階	2,086	2.2	30.7	49.0	14.5
	第9段階	1,462	2.6	32.2	48.7	12.3
	第10段階	453	5.0	37.5	40.2	13.6
	第11段階	692	4.2	37.4	44.0	10.8
	第12段階	320	3.7	43.4	36.7	13.5
	第13段階	242	5.0	42.2	37.4	11.5
	第14段階	156	11.1	37.7	35.4	12.4
	第15段階	51	8.1	46.4	20.4	15.3
	第16段階	126	12.2	53.2	24.0	8.9

※「その他」「無回答」は掲載を省略

9 市の高齢者施策などについて

問30 あなたは日常生活上どのような情報がほしいですか。(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 日常生活上でほしい情報は前回調査から割合に大きな変化はなく、「健康づくりの情報」が約3割、「趣味・サークルの情報」が2割を超えている



図表 2-9-2 単位：%

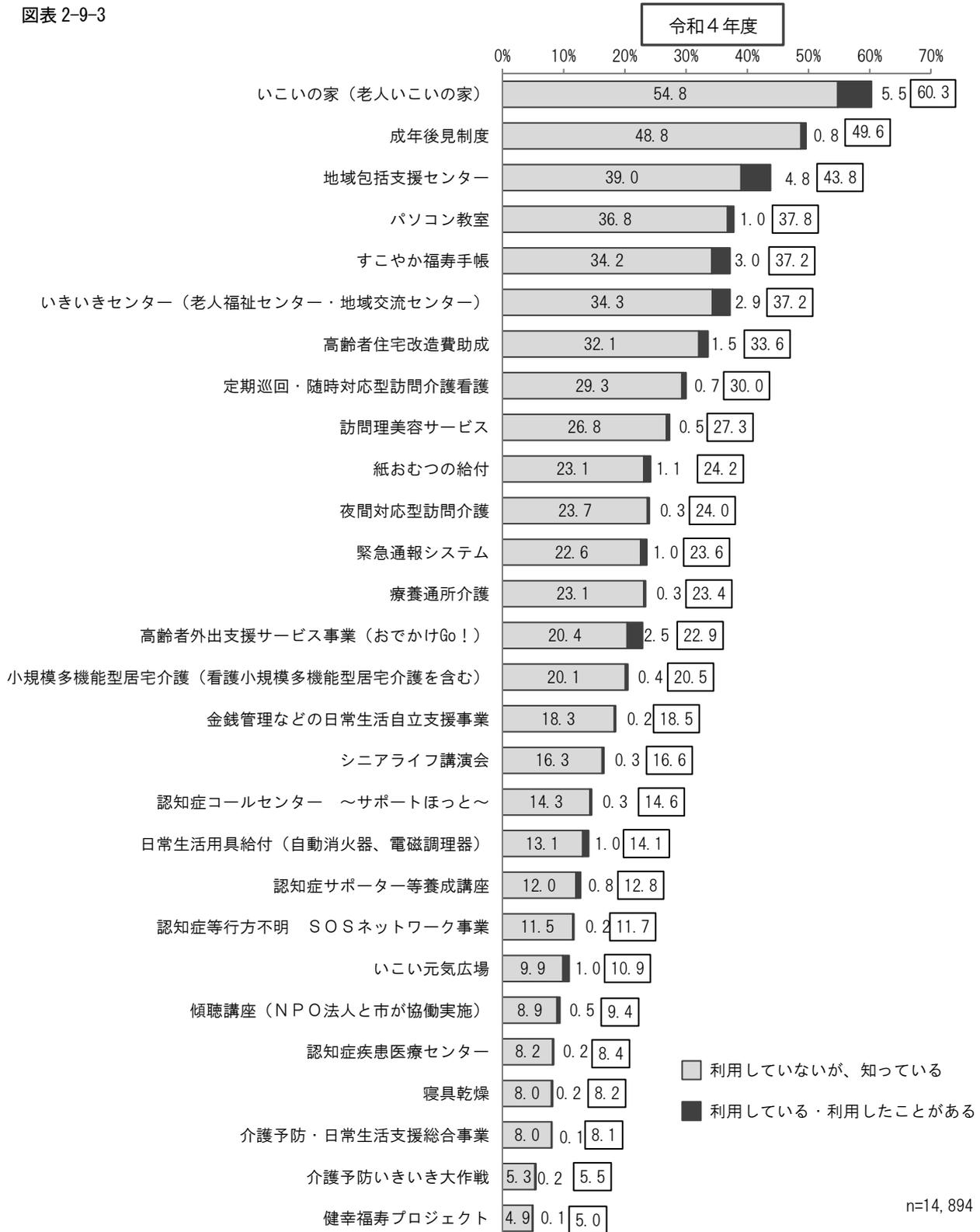
項目	回答者数(人)	健康づくりの情報	趣味・サークルの情報	教養講座など自己啓発の情報	スポーツ、レクリエーションの情報	仲間づくりの情報	地域活動している人の情報	ボランティアなどの活動情報	学校、町内会など身近な地域の取組の情報	就業、起業の情報	その他	特にほしい情報はない	
全体	14,894	30.3	26.4	17.8	16.7	8.6	8.1	7.8	5.4	4.8	1.6	36.5	
男性	65～69歳	1,722	27.0	31.4	20.5	23.5	12.1	10.0	11.9	5.6	13.9	1.3	34.4
	70～74歳	2,117	26.9	26.6	18.8	19.3	8.0	9.6	9.0	6.3	7.2	0.9	39.6
	75～79歳	1,679	27.0	22.2	15.8	14.3	7.8	7.8	6.0	6.8	4.5	2.0	41.7
	80～84歳	1,045	30.6	21.1	14.3	17.5	8.9	8.0	5.8	5.2	2.1	2.0	39.3
	85～89歳	426	27.7	19.4	10.1	12.7	7.8	7.1	3.6	5.0	0.8	1.6	48.5
	90歳以上	104	27.8	22.0	8.1	8.6	9.1	9.0	7.3	6.3	0.5	2.4	48.9
女性	65～69歳	1,745	33.2	33.0	25.0	20.1	8.0	8.3	10.6	4.9	7.1	1.4	30.2
	70～74歳	2,300	32.3	30.1	22.7	17.5	7.7	7.2	8.3	4.5	2.8	1.8	31.3
	75～79歳	1,799	36.0	25.4	16.0	13.7	8.5	7.1	6.2	4.5	1.4	1.1	33.4
	80～84歳	1,269	30.4	22.5	11.0	10.4	8.4	7.4	5.3	5.6	0.3	1.8	38.8
	85～89歳	544	31.6	18.8	7.9	7.5	10.7	5.5	3.3	5.7	0.5	3.2	41.4
	90歳以上	139	24.9	9.7	9.3	4.8	4.4	6.8	5.9	5.9	-	4.0	47.0

※「無回答」は掲載を省略

問31 あなたは以下の事業やサービスについて知って（利用して）いますか。
（それぞれ1つの番号に○）

▶ 「いこいの家」の『認知度』は最も高く約6割となっており、成年後見制度は約5割、地域包括支援センターは4割を超えている一方、市の高齢者施策として実施している事業の『認知度』について、その多くは1割から2割程度にとどまっている

図表 2-9-3



※『認知度』 = 「利用していないが、知っている」 + 「利用している・利用したことがある」

※『認知度』の高い順に並び替えている

※「知らない」「無回答」は掲載を省略

- ▶ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の『認知度』が増加し3割となっている
- ▶ 「高齢者外出支援サービス事業（おでかけGo!）」については、利用割合は増加しているが『認知度』については利用割合の増加ほど高まっていない

図表 2-9-4

単位：%

項目	令和4年度 n=14,894				令和元年度 n=15,903			
	知らない	知っている 利用していないが、 知っている	利用している・ 利用したことがある	『認知度』	知らない	知っている 利用していないが、 知っている	利用している・ 利用したことがある	『認知度』
いこいの家（老人いこいの家）	36.0	54.8	5.5	60.3	28.8	57.8	6.6	64.4
成年後見制度	46.0	48.8	0.8	49.6	42.0	48.3	0.7	49.0
地域包括支援センター	52.1	39.0	4.8	43.8	47.6	39.6	4.8	44.4
パソコン教室	57.7	36.8	1.0	37.8	50.7	39.3	1.4	40.7
すこやか福寿手帳	58.3	34.2	3.0	37.2	52.7	35.7	3.1	38.8
いきいきセンター（老人福祉センター・地域交流センター）	58.1	34.3	2.9	37.2	50.6	37.0	3.4	40.4
高齢者住宅改造費助成	62.5	32.1	1.5	33.6	54.0	35.8	1.7	37.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	65.4	29.3	0.7	30.0	64.6	26.1	0.5	26.6
訪問理美容サービス	68.8	26.8	0.5	27.3	63.3	27.4	0.6	28.0
紙おむつの給付	72.1	23.1	1.1	24.2	66.5	23.9	1.1	25.0
夜間対応型訪問介護	71.8	23.7	0.3	24.0	68.2	23.0	0.2	23.2
緊急通報システム	70.4	22.6	1.0	23.6	63.1	25.9	1.5	27.4
療養通所介護	71.6	23.1	0.3	23.4	69.6	20.7	0.3	21.0
高齢者外出支援サービス事業（おでかけGo!）	72.8	20.4	2.5	22.9	69.1	21.0	0.9	21.9
（看護）小規模多機能型居宅介護	74.6	20.1	0.4	20.5	71.6	19.1	0.3	19.4
金銭管理などの日常生活自立支援事業	76.8	18.3	0.2	18.5	73.0	18.5	0.1	18.6
シニアライフ講演会	78.4	16.3	0.3	16.6	70.7	19.4	0.6	20.0
認知症コールセンター～サポートほっと～	81.0	14.3	0.3	14.6	77.0	14.1	0.2	14.3
日常生活用具給付（自動消火器、電磁調理器）	81.6	13.1	1.0	14.1	76.5	13.2	0.9	14.1
認知症サポーター等養成講座	82.7	12.0	0.8	12.8	77.6	12.2	1.0	13.2
認知症等行方不明SOSネットワーク事業	83.2	11.5	0.2	11.7	81.2	9.2	0.1	9.3
いこい元気広場	83.7	9.9	1.0	10.9	76.2	13.3	1.4	14.7
傾聴講座（NPO法人と市が協働実施）	85.1	8.9	0.5	9.4	80.1	9.8	0.6	10.4
認知症疾患医療センター	85.9	8.2	0.2	8.4	-	-	-	-
寝具乾燥	87.4	8.0	0.2	8.2	80.9	9.2	0.3	9.5
介護予防・日常生活支援総合事業	86.0	8.0	0.1	8.1	80.8	9.9	0.2	10.1
介護予防いきいき大作戦	88.9	5.3	0.2	5.5	80.8	9.5	0.5	10.0
健幸福寿プロジェクト	89.2	4.9	0.1	5.0	84.3	6.5	0.1	6.6

※「無回答」は掲載を省略

※『認知度』＝「利用していないが、知っている」＋「利用している・利用したことがある」

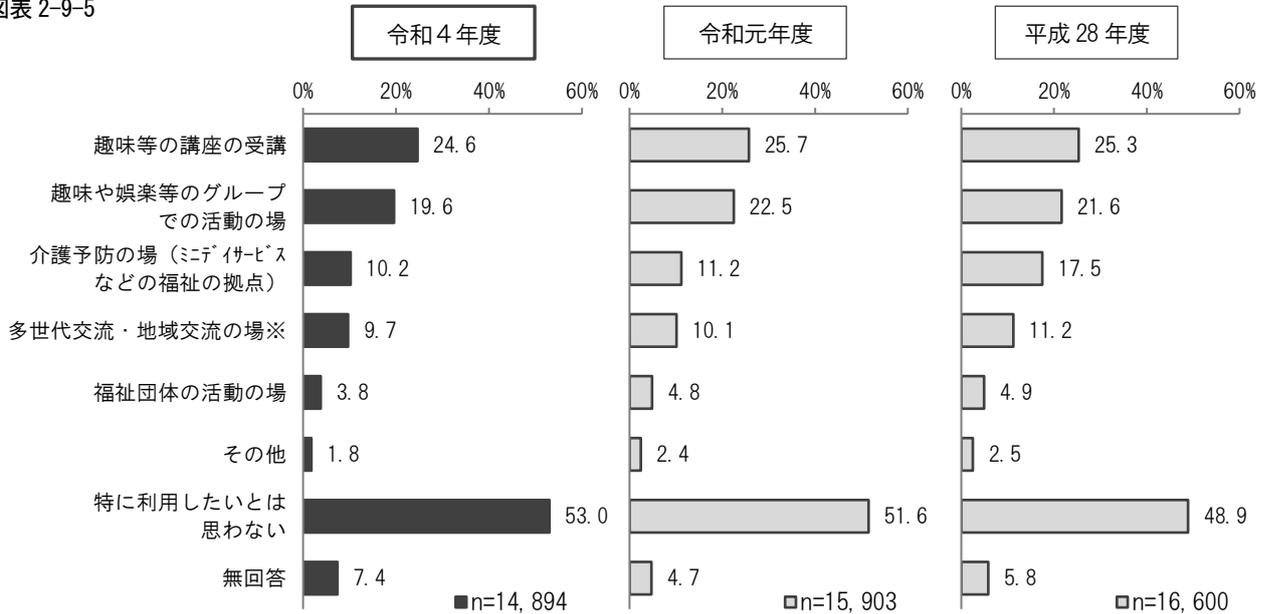
※「認知症疾患医療センター」は令和4年度からの選択肢

※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」は令和4年度から「認知症等行方不明SOSネットワーク事業」に名称変更

問32 あなたはいこいの家（老人いこいの家）やいきいきセンター（老人福祉センター・地域交流センター）をどのようなことで利用したいと思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ 「特に利用したいとは思わない」人の割合が増加傾向となっており、5割を超えている

図表 2-9-5



※平成28年度は「地域交流の場」

▶ 65～74歳の男性について、「特に利用したいとは思わない」人の割合が6割を上回っている

図表 2-9-6

単位：%

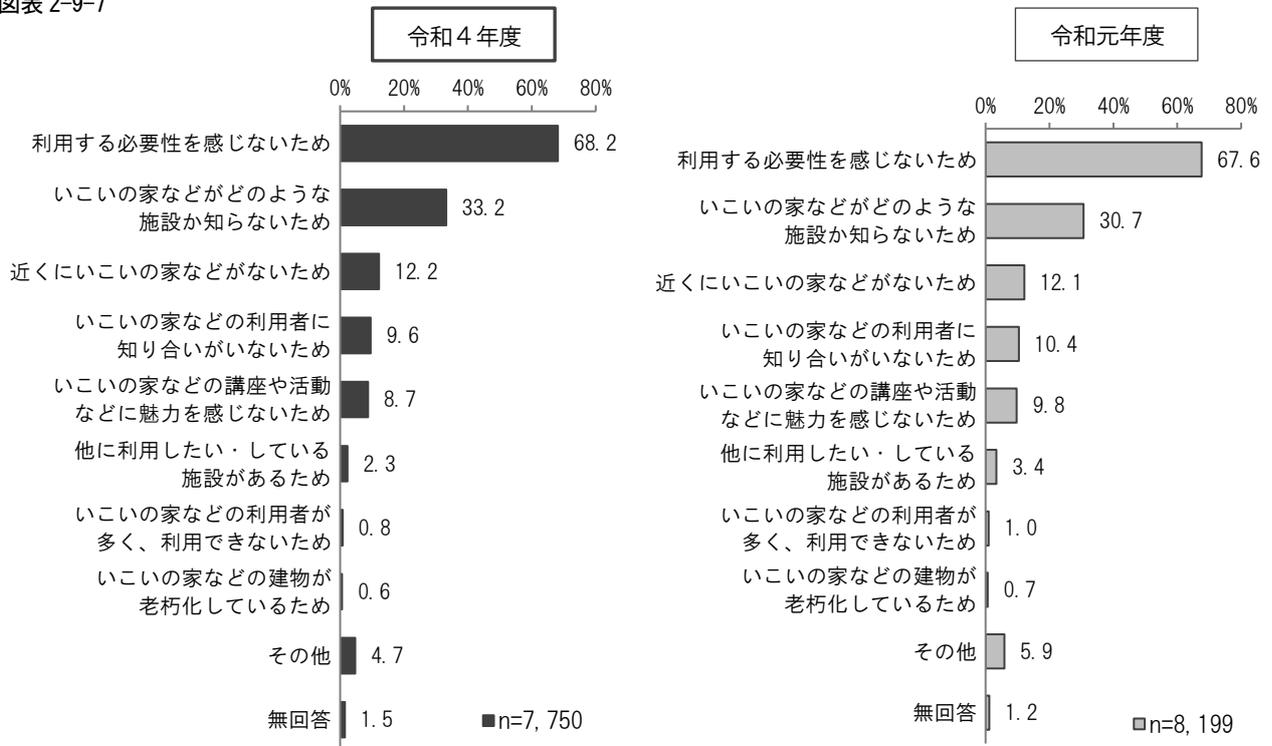
項目	回答者数（人）	趣味等の講座の受講	趣味や娯楽等のグループでの活動の場	介護予防の場（ミニイサービスなどの福祉の拠点）	多世代交流・地域交流の場	福祉団体の活動の場	その他	特に利用したいとは思わない	
全体	14,894	24.6	19.6	10.2	9.7	3.8	1.8	53.0	
男性	65～69歳	1,722	20.8	18.1	7.1	10.7	3.3	1.6	62.7
	70～74歳	2,117	19.7	16.6	6.3	9.2	2.5	1.7	61.2
	75～79歳	1,679	18.8	18.9	7.1	9.2	3.6	1.5	58.9
	80～84歳	1,045	19.4	21.6	9.4	7.2	4.2	2.3	52.3
	85～89歳	426	19.0	20.7	10.9	7.3	4.3	1.6	51.4
	90歳以上	104	15.0	19.8	11.3	6.8	7.3	2.6	60.8
女性	65～69歳	1,745	32.2	18.9	12.7	10.7	3.4	1.3	50.6
	70～74歳	2,300	31.3	19.6	12.1	9.9	3.9	1.5	47.8
	75～79歳	1,799	29.0	22.2	11.6	11.2	4.3	1.7	47.1
	80～84歳	1,269	25.1	22.1	14.1	9.9	5.7	2.4	42.7
	85～89歳	544	23.2	20.7	15.5	7.5	2.8	3.1	46.5
	90歳以上	139	16.4	18.1	11.0	8.6	4.9	0.5	51.5

※「無回答」は掲載を省略

問32-1 「特に利用したいとは思わない」と答えた方におうかがいします。
その理由は、どのようなことですか。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ いこいの家やいきいきセンターを特に利用したいと思わない理由については、約7割が「利用する必要性を感じないため」となっている

図表 2-9-7



図表 2-9-8

単位：%

項目	回答者数(人)	利用する必要性を感じないため	どのような施設か知らないため	近くにないため	利用者に知り合いがないため	講座や活動などに魅力を感じないため	他に利用したい・している施設があるため	利用者が多く、利用できないため	建物が老朽化しているため
全体	7,750	68.2	33.2	12.2	9.6	8.7	2.3	0.8	0.6
男性	65～69歳	1,083	70.5	38.3	8.6	6.5	6.5	1.3	0.2
	70～74歳	1,300	70.2	37.5	10.2	9.1	9.3	1.2	0.7
	75～79歳	965	68.4	37.0	14.1	10.7	8.1	2.0	0.4
	80～84歳	523	70.1	34.5	11.7	11.2	7.2	1.4	0.6
	85～89歳	212	64.0	38.0	16.0	11.7	4.5	3.9	1.1
	90歳以上	59	71.8	23.4	14.6	12.5	7.0	3.6	1.1
女性	65～69歳	879	65.3	31.7	11.8	8.7	10.1	2.3	1.3
	70～74歳	1,085	67.3	28.5	12.8	9.8	11.0	3.7	0.3
	75～79歳	808	67.5	27.5	13.6	10.1	8.5	3.3	1.2
	80～84歳	522	64.5	29.3	16.9	10.5	9.5	2.3	1.8
	85～89歳	238	67.2	24.9	13.9	15.0	8.7	3.8	2.2
	90歳以上	74	76.8	20.1	9.0	8.2	6.7	2.4	4.3

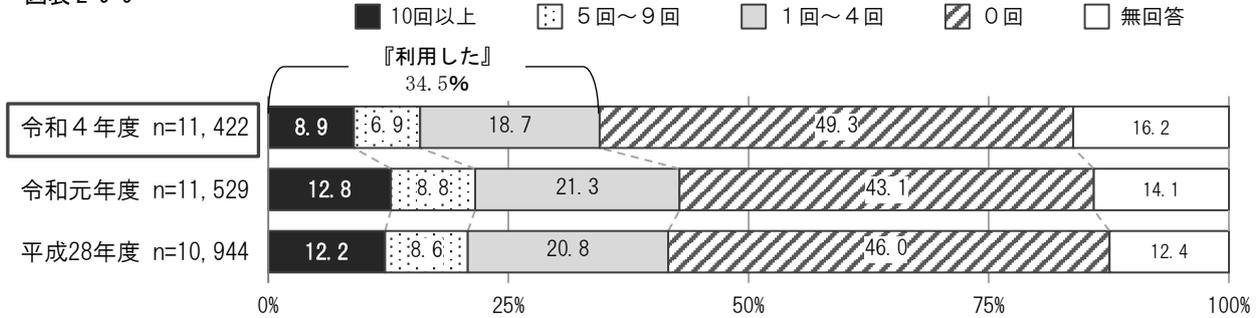
※「その他」「無回答」は掲載を省略

【70歳以上の方におうかがいします。】

問33-① あなたは9月中に、高齢者特別乗車証明書を使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。（数字を記入）1度の乗降につき1回とカウントしてください。

▶ 『利用した』人の割合が前回調査より減少し、3割を超えるにとどまっている

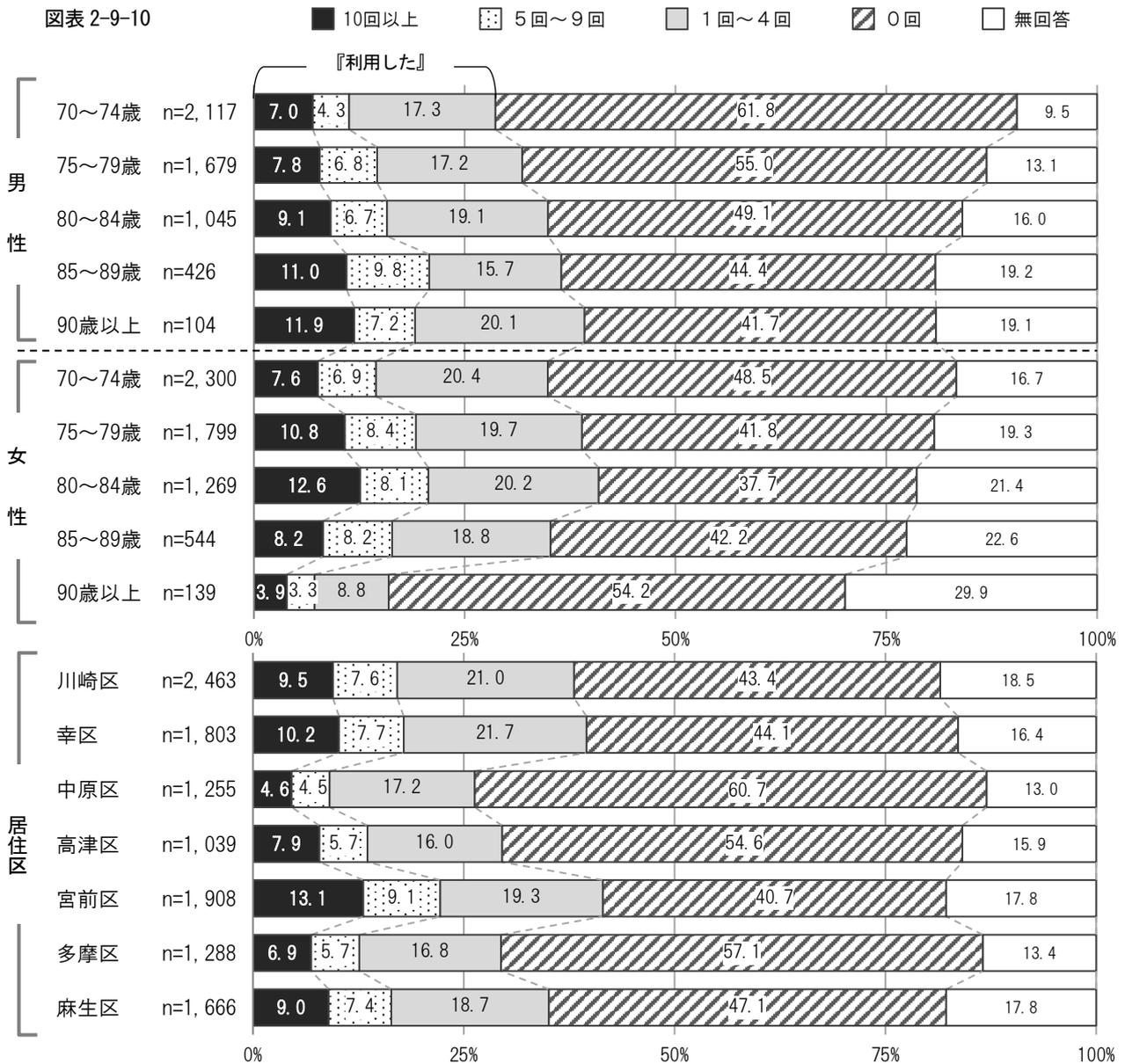
図表 2-9-9



※『利用した』 = 「10回以上」 + 「5回~9回」 + 「1回~4回」

▶ 他区と比較して「川崎区」「幸区」「宮前区」は『利用した』人の割合が高く、約4割となっている

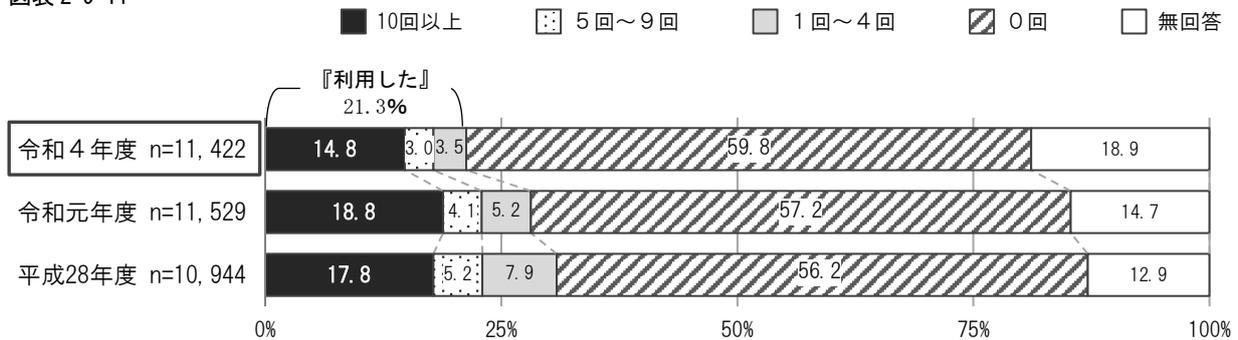
図表 2-9-10



問33-② あなたは9月中に、高齢者フリーパスを使って、何回くらい市営・民営バスに乗車しましたか。(数字を記入) 1度の乗降につき1回とカウントしてください。

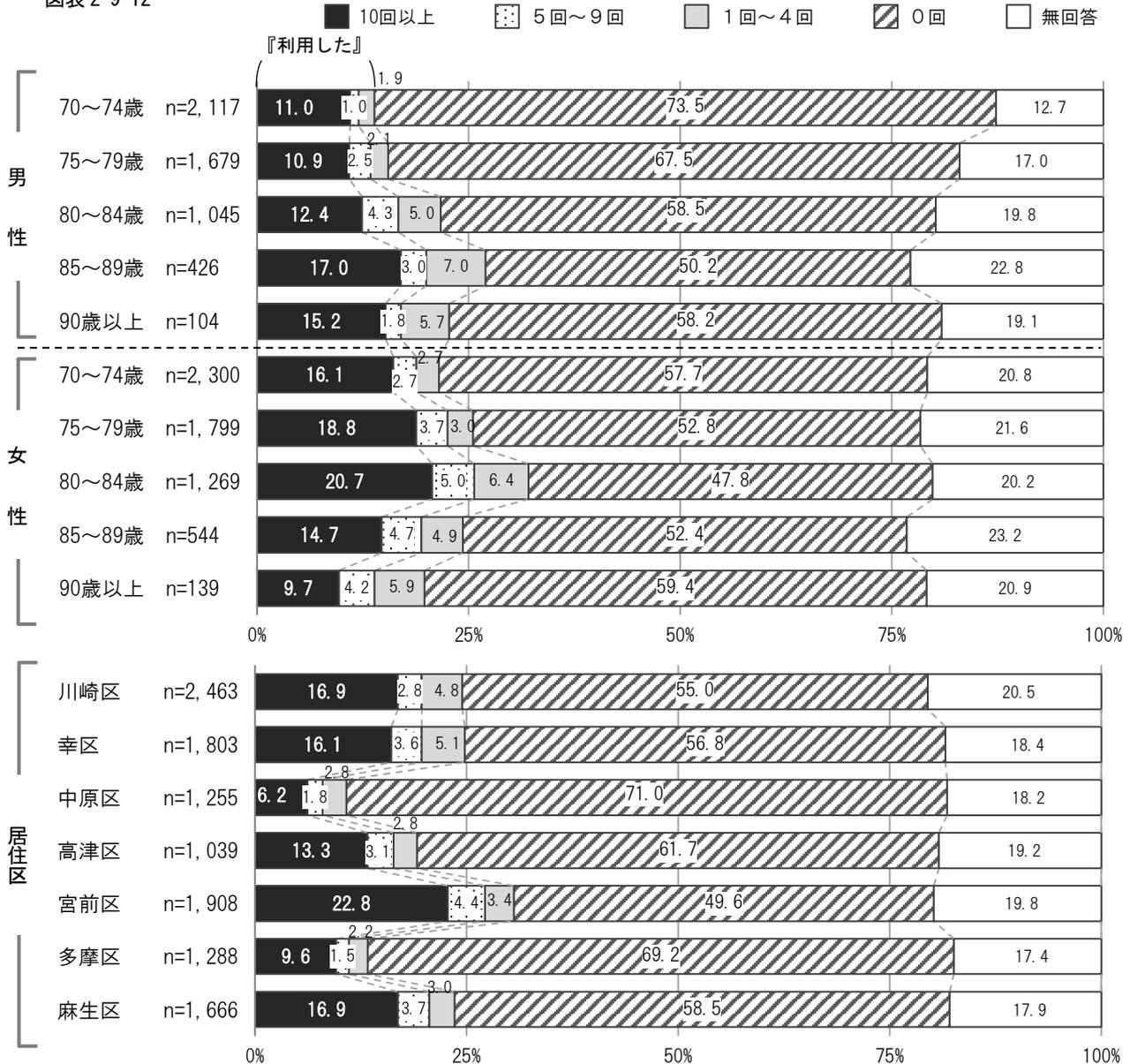
▶ 『利用した』人の割合が前回調査より減少し、約2割となっている

図表 2-9-11



▶ 他区と比較して「宮前区」は「利用した」人の割合が高く、約3割となっている

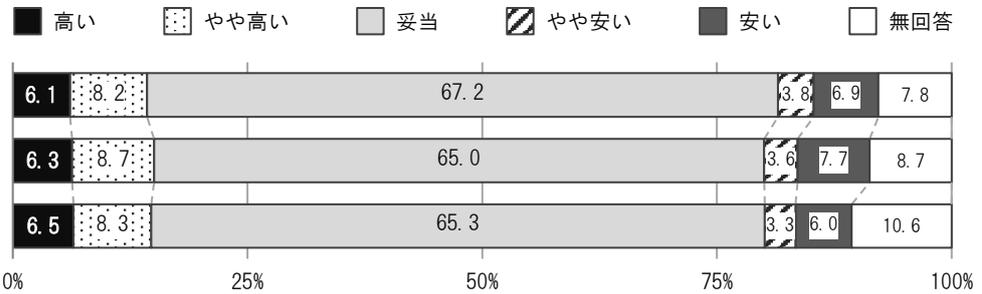
図表 2-9-12



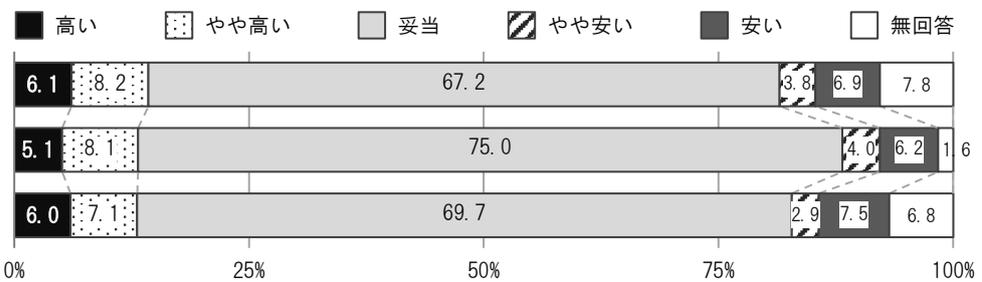
問34 現在、高齢者特別乗車証明書、高齢者フリーパスの制度は、市税で一部を負担していますが、利用者の負担金をどのように考えますか。（1つの番号に○）

▶ 利用者の負担金について、「妥当」と考える人の割合が前回調査より微増し、7割弱となっている

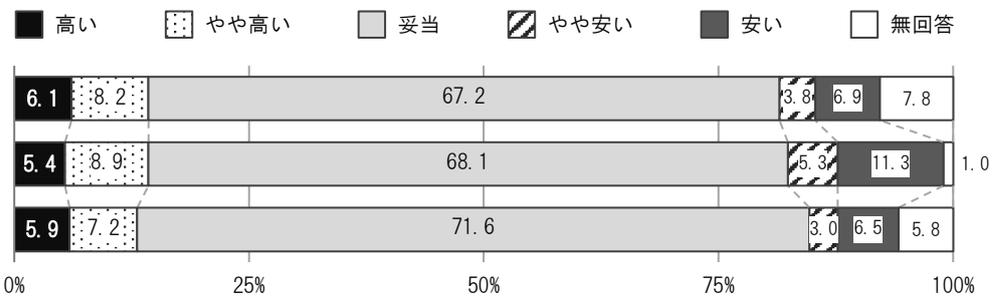
図表 2-9-13



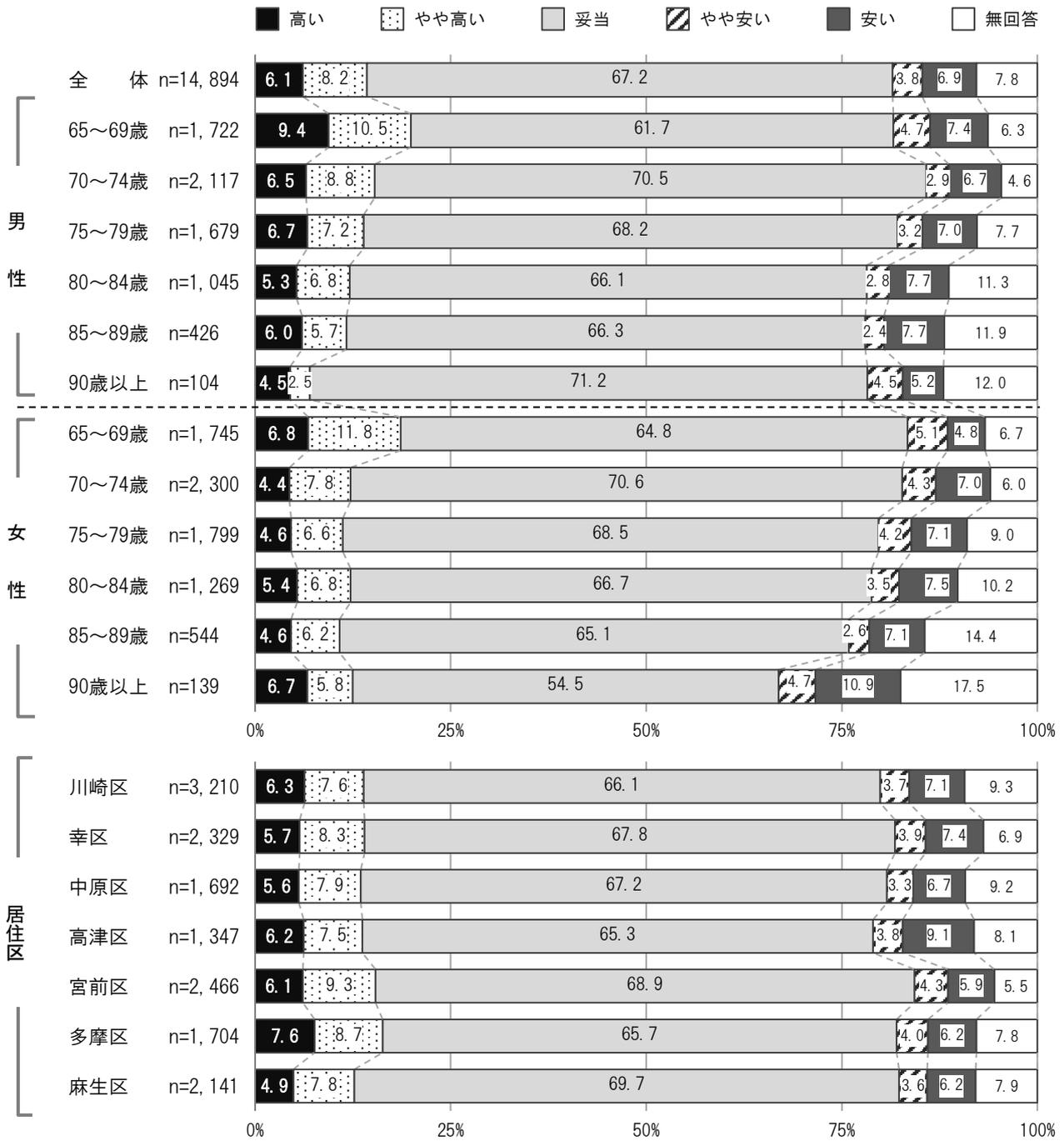
図表 2-9-14 ①高齢者特別乗車証明書の9月の利用有無別



図表 2-9-15 ②高齢者フリーパスの9月の利用有無別



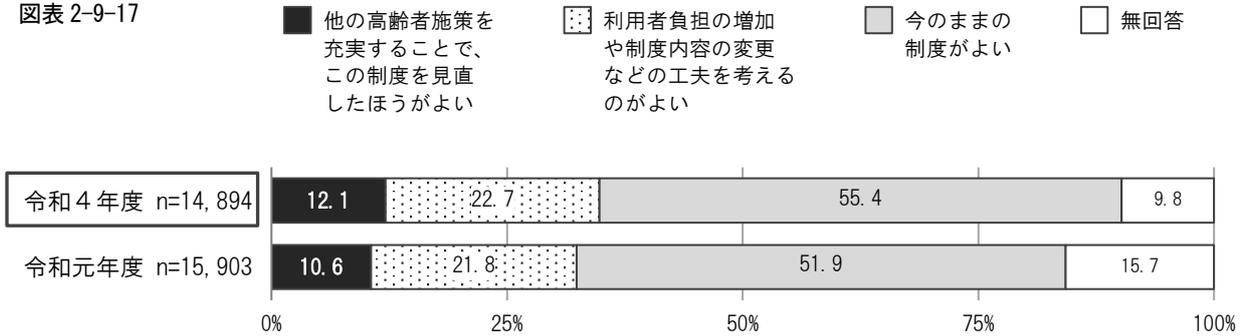
図表 2-9-16



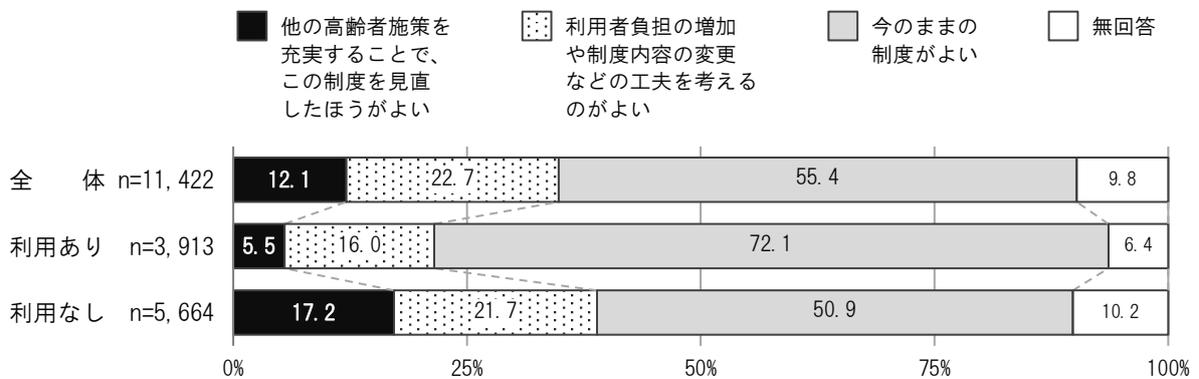
問35 将来的に高齢者が増加していく中で、今後、この高齢者特別乗車証明書、高齢者フリーパスの制度をどのように思いますか。(1つの番号に○)

▶ 「今のままの制度がよい」と思う人の割合が前回調査より増加し、5割を超えている

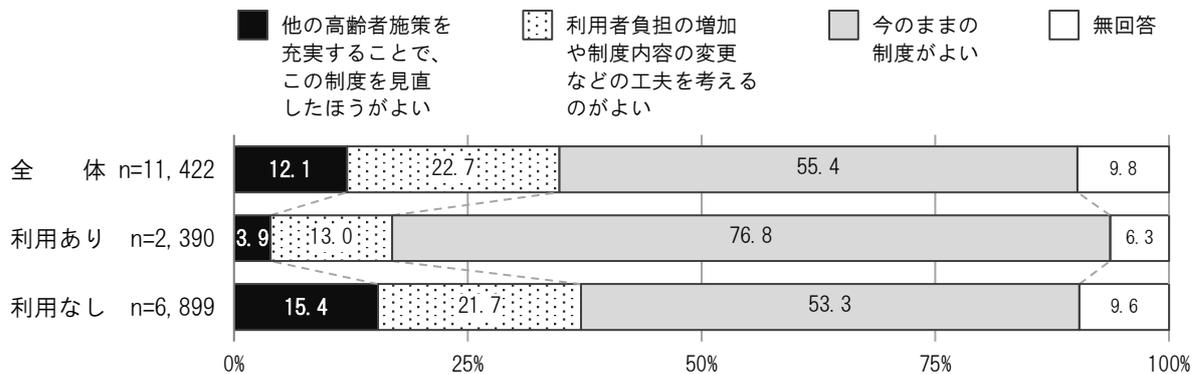
図表 2-9-17



図表 2-9-18 ①高齢者特別乗車証明書の9月の利用有無別



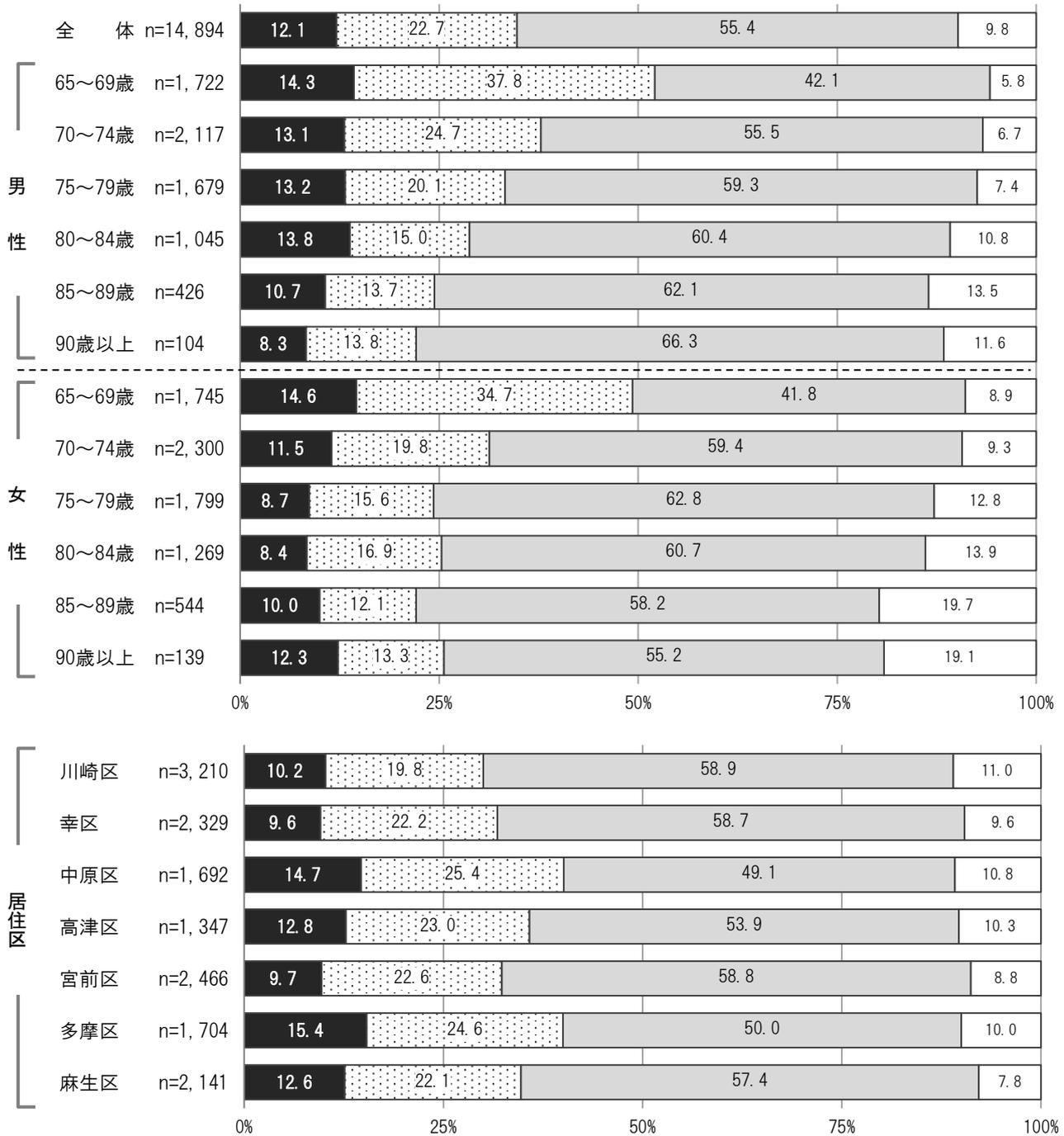
図表 2-9-19 ②高齢者フリーパスの9月の利用有無別



第2章 一般高齢者調査

図表 2-9-20

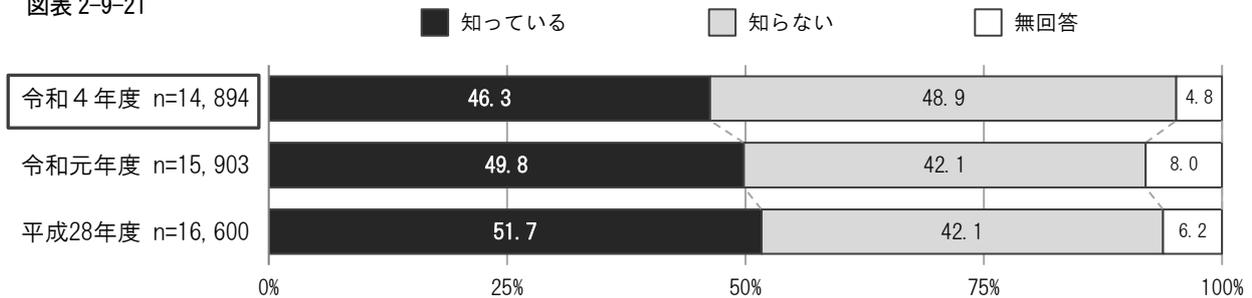
他の高齢者施策を充実することで、この制度を見直したほうがよい
 利用者負担の増加や制度内容の変更などの工夫を考えるのがよい
 今のままの制度がよい
 無回答



問36 「介護予防」とは、要介護状態（寝たきりや認知症）にならないようにするための取組ですが、あなたは知っていますか。（1つの番号に○）

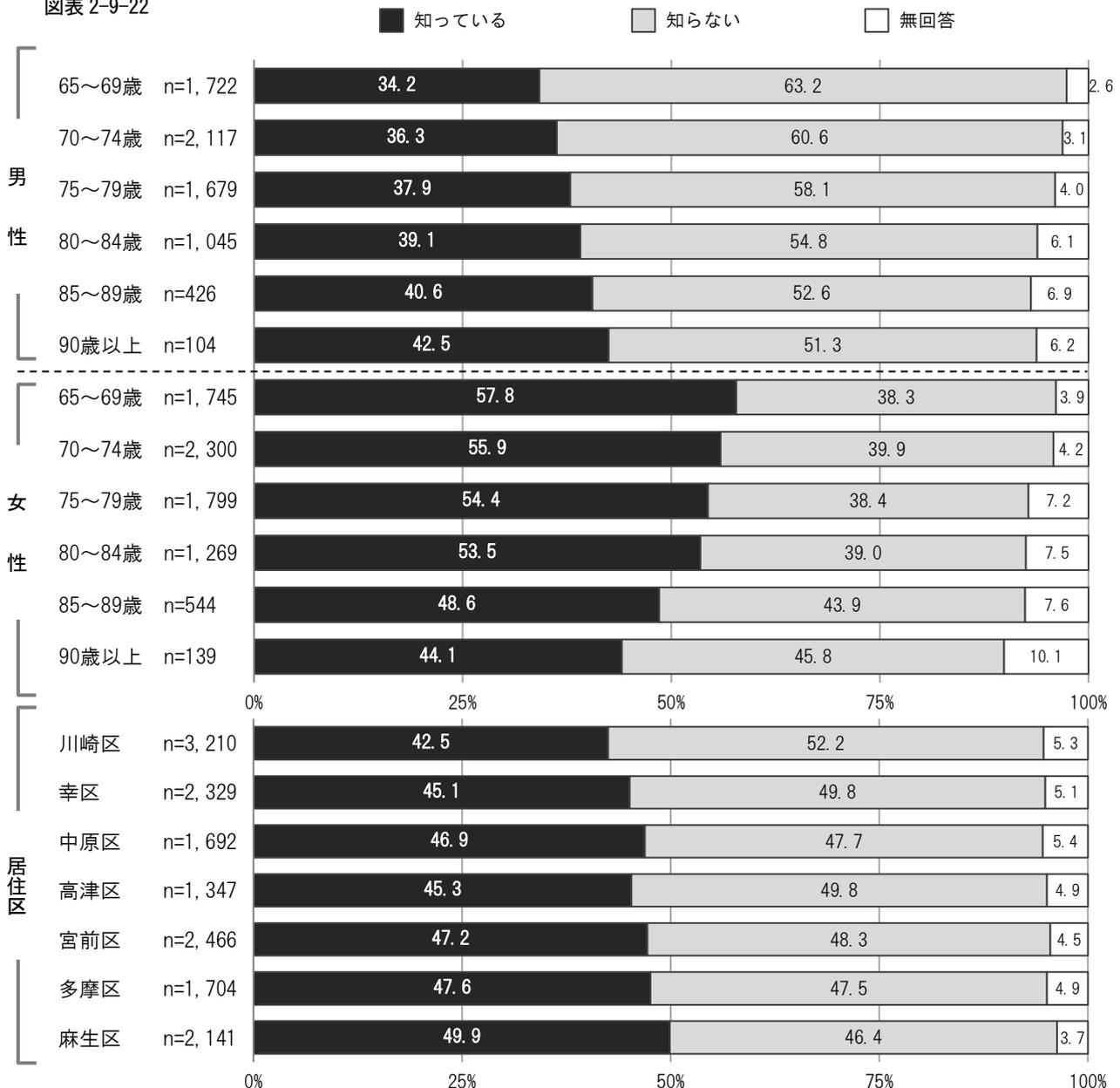
▶ 介護予防について「知っている」人の割合が前回調査より減少し、4割を超えるにとどまっている

図表 2-9-21



▶ 65～69歳の男性について、介護予防を「知っている」人の割合が最も低くなる一方、65～69歳の女性は「知っている」人の割合が最も高くなっている

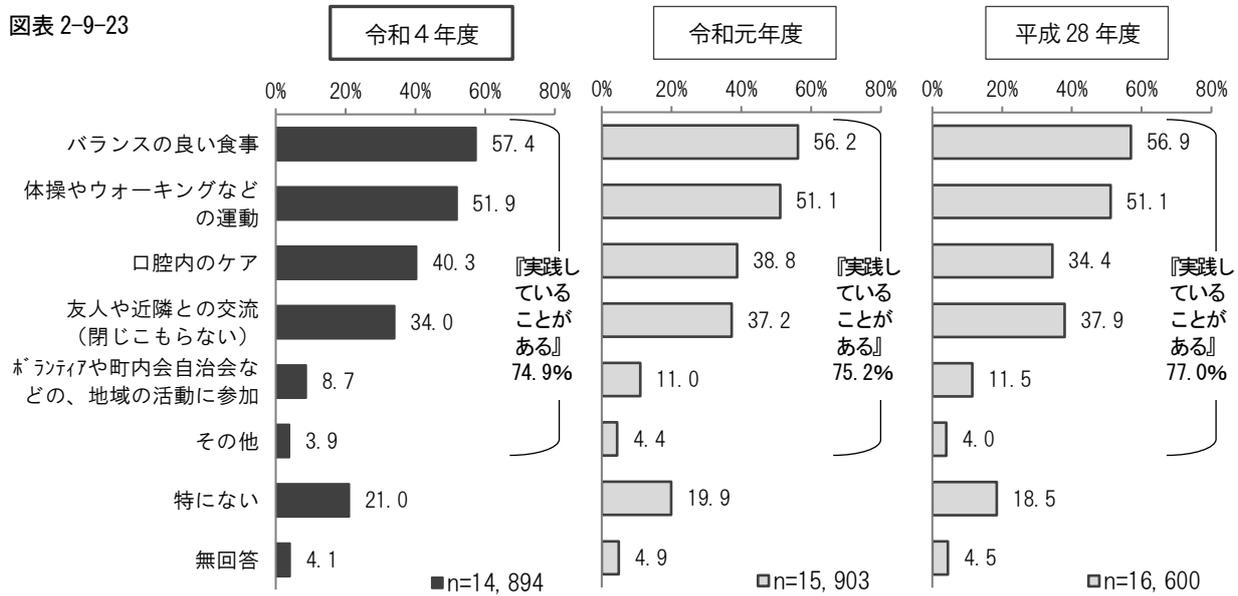
図表 2-9-22



問37 あなたは介護予防の取組で、何か実践していることがありますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

▶ 介護予防の取組で実践していることがある人の割合は7割を超えており、「口腔内のケア」を実践している人の割合が増加傾向となっている

図表 2-9-23



※『実践していることがある』=100%-「特にない」-「無回答」

▶ 実践している人の割合は70～84歳の女性が高く、麻生区が他区と比較すると実践している人の割合が高くなっている

図表 2-9-24

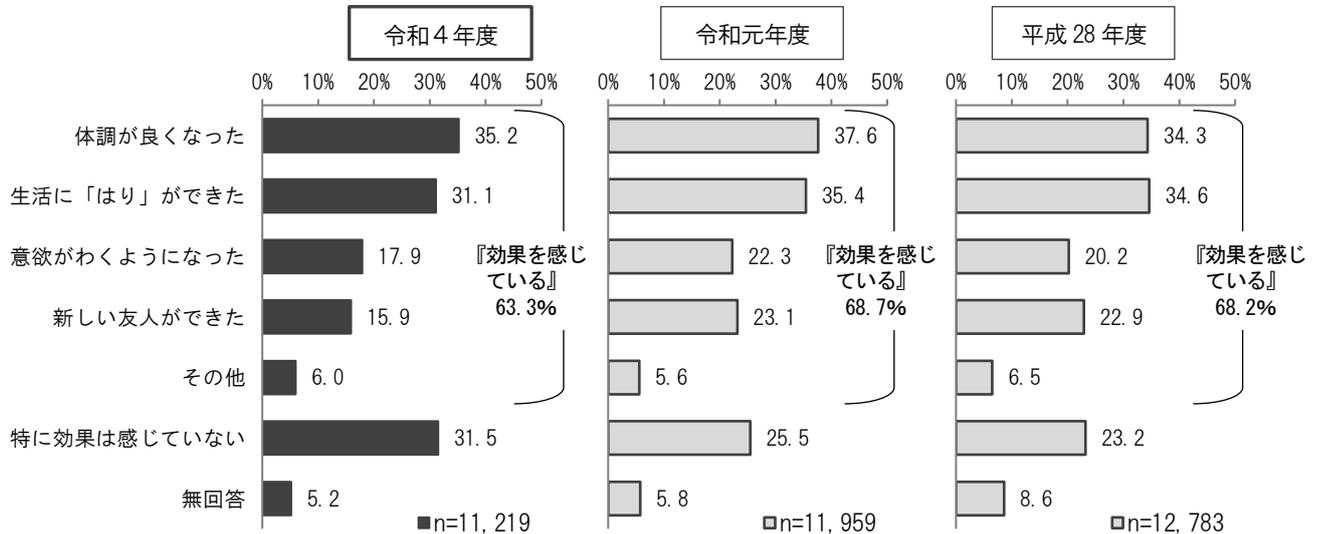
項目		回答者数(人)	バランスの良い食事	運動	体操やウォーキングなどの運動	口腔内のケア	友人や近隣との交流(閉じこもらない)	ボランティアなどの地域の活動に参加	その他	特にない
全体		14,894	57.4	51.9	40.3	34.0	8.7	3.9	21.0	
男性	65～69歳	1,722	46.3	46.0	29.4	20.9	6.8	3.1	33.4	
	70～74歳	2,117	48.8	51.1	32.2	24.1	9.4	3.6	27.9	
	75～79歳	1,679	51.1	53.2	32.5	27.7	8.6	3.3	24.4	
	80～84歳	1,045	49.3	50.8	31.7	27.2	9.8	4.0	24.7	
	85～89歳	426	48.4	44.1	32.0	21.1	6.2	3.7	27.6	
	90歳以上	104	57.6	44.0	26.6	19.5	6.8	5.1	26.2	
女性	65～69歳	1,745	63.3	51.6	49.2	38.0	7.4	3.6	17.8	
	70～74歳	2,300	65.6	55.5	50.5	42.4	9.1	4.8	14.3	
	75～79歳	1,799	68.3	56.3	50.0	45.3	10.1	4.7	12.3	
	80～84歳	1,269	65.0	54.5	46.2	47.3	10.2	3.1	12.5	
	85～89歳	544	62.8	50.4	41.6	42.7	7.5	5.1	15.4	
	90歳以上	139	56.1	34.1	36.5	36.9	6.2	5.7	24.4	
居住区	川崎区	3,210	51.0	46.2	35.0	32.7	9.0	4.3	24.7	
	幸区	2,329	54.0	50.2	37.3	31.4	9.8	3.2	22.8	
	中原区	1,692	57.5	52.2	41.8	32.9	9.9	3.1	21.2	
	高津区	1,347	56.5	51.1	39.5	32.8	7.5	3.4	20.2	
	宮前区	2,466	59.6	54.1	42.8	36.0	7.7	3.8	19.5	
	多摩区	1,704	58.3	52.5	41.0	33.6	7.9	4.8	20.2	
	麻生区	2,141	65.6	57.6	45.2	37.9	9.3	4.5	18.1	

※「無回答」は掲載を省略

問37-1 前問で「実践していることがある」と答えた方におうかがいします。取組を通して、どのような効果を感じていますか。（あてはまるものすべての番号に○）

▶ 介護予防の取組を実践している人のうち、何らかの効果を感じている人の割合は6割を超えている

図表 2-9-25



※『効果を感じている』=100%-「特に効果は感じていない」-「無回答」

▶ 70～74歳、80～84歳、90歳以上の男性について、「体調が良くなった」と実感する割合は4割を上回っており、70～89歳の女性は、「生活に『はり』ができた」と実感する割合が3割を上回っている

図表 2-9-26

単位：%

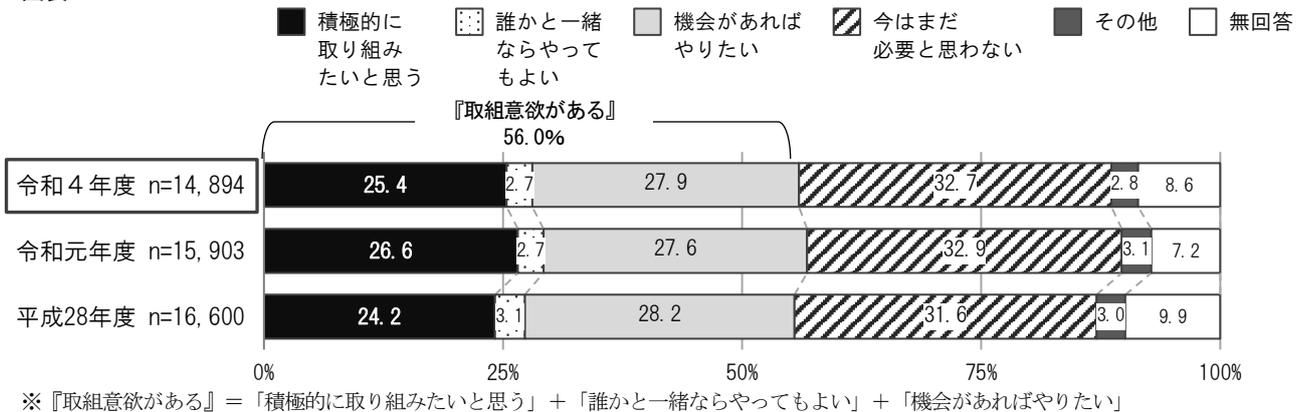
項目	回答者数(人)	体調が良くなった	生活に「はり」ができた	意欲がわくようになった	新しい友人ができた	その他	特に効果は感じていない	
全体	11,219	35.2	31.1	17.9	15.9	6.0	31.5	
男性	65～69歳	1,067	38.3	24.2	15.5	12.0	4.7	35.5
	70～74歳	1,424	40.0	26.8	17.3	12.6	4.6	35.6
	75～79歳	1,152	36.8	27.2	16.2	12.2	6.1	35.0
	80～84歳	694	40.8	29.8	22.0	18.1	7.9	27.2
	85～89歳	273	35.8	23.9	15.0	11.1	5.8	34.1
	90歳以上	63	46.0	28.2	22.5	15.3	5.3	17.9
女性	65～69歳	1,304	31.7	28.8	15.7	15.4	5.7	35.8
	70～74歳	1,835	32.9	35.8	17.7	18.7	6.7	30.3
	75～79歳	1,375	31.9	35.1	18.8	19.8	7.0	28.0
	80～84歳	964	34.2	38.4	21.7	19.3	6.2	24.2
	85～89歳	370	29.7	37.2	21.1	16.7	5.2	27.4
	90歳以上	84	34.3	25.2	14.9	6.4	6.1	26.4

※「無回答」は掲載を省略

問38 あなたは今後、介護予防に取り組みたいと思いますか。（1つの番号に○）

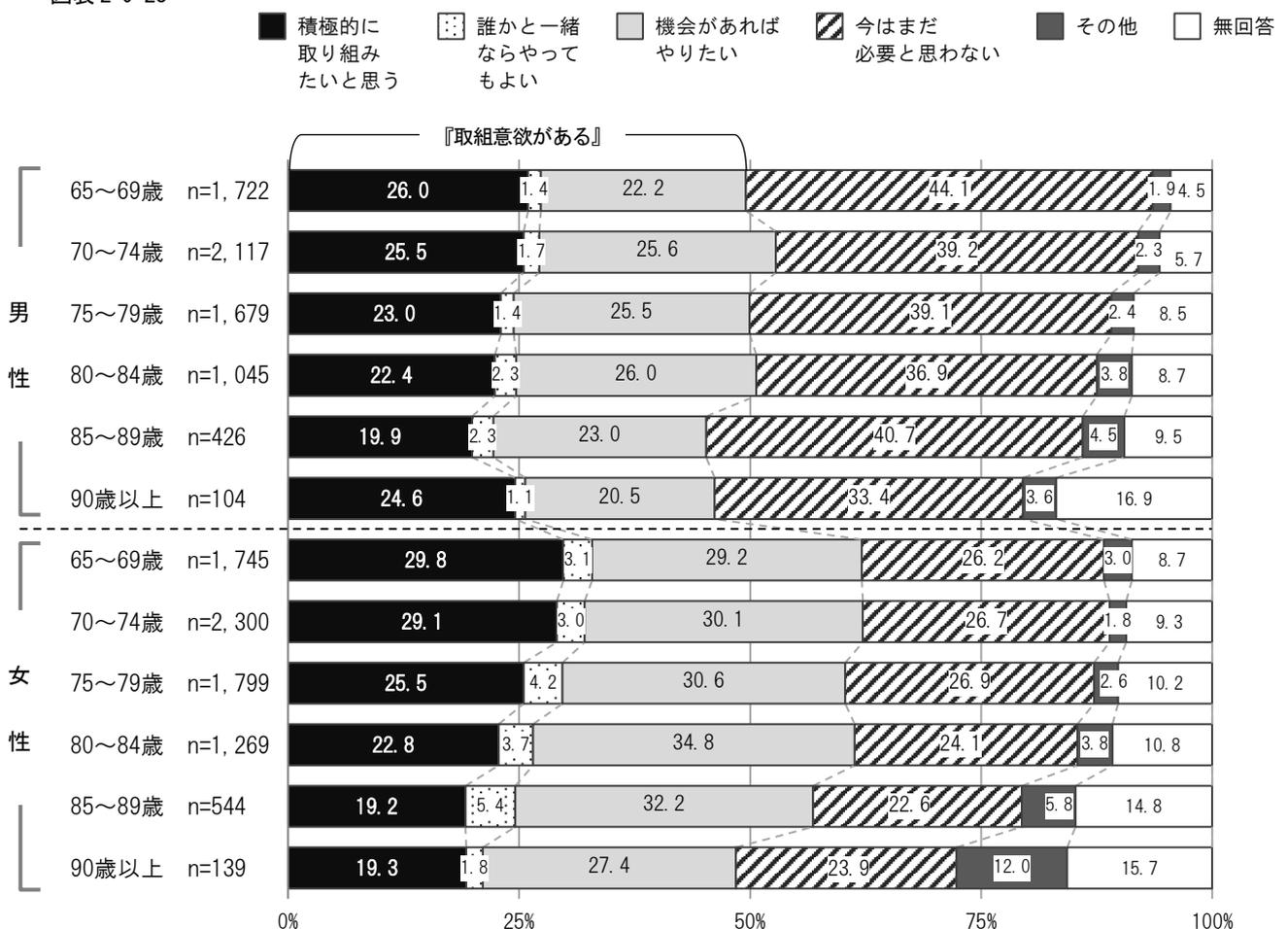
▶ 介護予防に『取組意欲がある』人の割合は前回調査から変化はなく、5割を超えている

図表 2-9-27



▶ 65～84歳の女性について、介護予防に『取組意欲がある』人の割合が高く、6割を上回っている

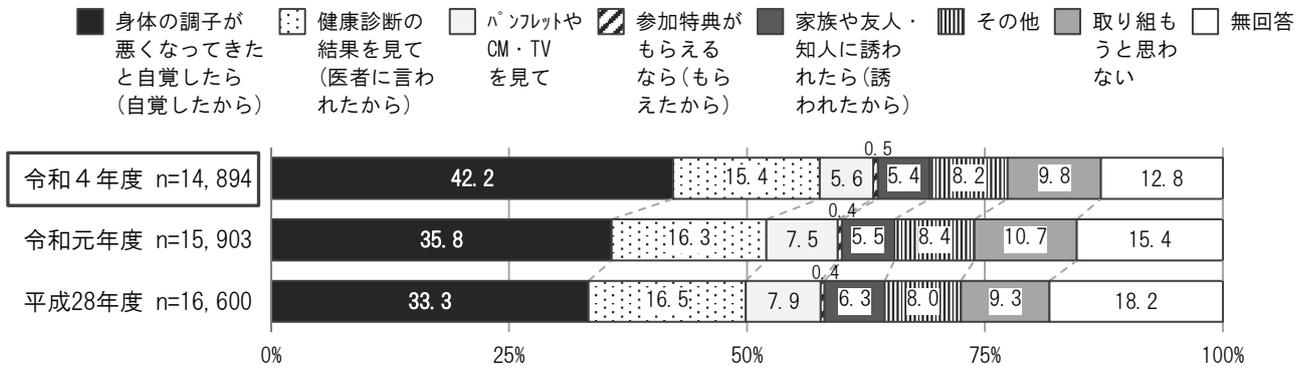
図表 2-9-28



問39 あなたはどのようなきっかけで、介護予防に取り組もうと思いますか（取り組み始めましたか）。（1つの番号に○）

▶ 「身体の調子が悪くなってきたと自覚したら（自覚したから）」介護予防に取り組もうと思う割合が前回調査より増加し、約4割となっている

図表 2-9-29



図表 2-9-30

単位：%

項目	回答者数(人)	身体が悪くなってきたと自覚したら	健康診断の結果を見て	パンフレットやCM・TVを見て	参加特典がもらえるなら	家族や友人・知人に誘われたら	その他	取り組もうと思わない	
全体	14,894	42.2	15.4	5.6	0.5	5.4	8.2	9.8	
男性	65~69歳	1,722	47.1	19.5	4.0	0.5	2.8	7.1	12.1
	70~74歳	2,117	44.3	19.7	4.4	0.8	4.0	5.9	11.3
	75~79歳	1,679	41.4	18.4	4.7	0.2	4.3	7.3	12.2
	80~84歳	1,045	39.8	17.1	3.0	0.5	3.5	9.5	11.6
	85~89歳	426	34.1	14.5	4.2	0.7	5.7	6.7	18.3
	90歳以上	104	35.6	9.4	4.2	-	3.3	5.7	23.5
女性	65~69歳	1,745	43.7	14.4	5.9	0.7	7.4	9.9	6.4
	70~74歳	2,300	43.3	12.7	7.4	0.6	6.6	10.3	6.6
	75~79歳	1,799	39.6	13.1	7.3	0.5	6.8	8.0	7.2
	80~84歳	1,269	41.3	11.2	7.4	0.2	7.0	7.7	9.5
	85~89歳	544	38.0	9.1	6.1	-	8.3	9.3	10.2
	90歳以上	139	30.3	7.7	7.9	2.4	1.8	6.9	13.4
居住区	川崎区	3,210	42.3	15.5	5.2	0.3	5.6	6.9	11.0
	幸区	2,329	44.1	15.1	5.7	0.4	5.9	5.7	9.8
	中原区	1,692	41.7	16.4	5.6	0.6	4.8	8.0	10.2
	高津区	1,347	41.2	14.3	6.3	0.6	5.7	8.4	10.0
	宮前区	2,466	42.7	15.6	5.9	0.6	4.7	8.4	9.6
	多摩区	1,704	40.6	15.7	5.1	0.4	6.2	9.4	10.4
	麻生区	2,141	43.1	15.2	5.8	0.8	5.3	10.3	7.7

※「無回答」は掲載を省略

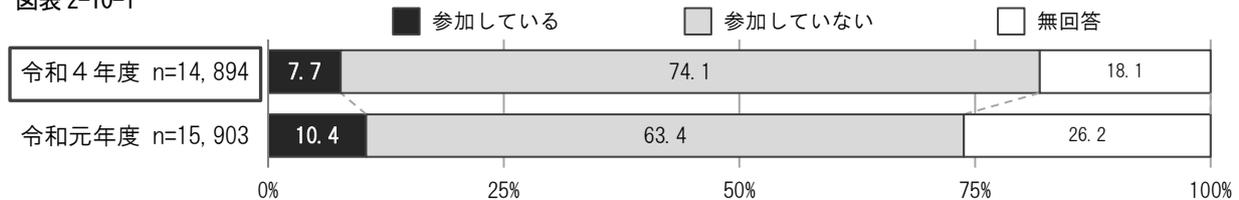
10 地域での活動について

問40 あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。老人クラブ・町内会・自治会の活動を除きます。（それぞれ1つの番号に○）

▶ いずれの会・グループ等についても『参加している』人の割合が前回調査より減少し、「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」が約2割となっている

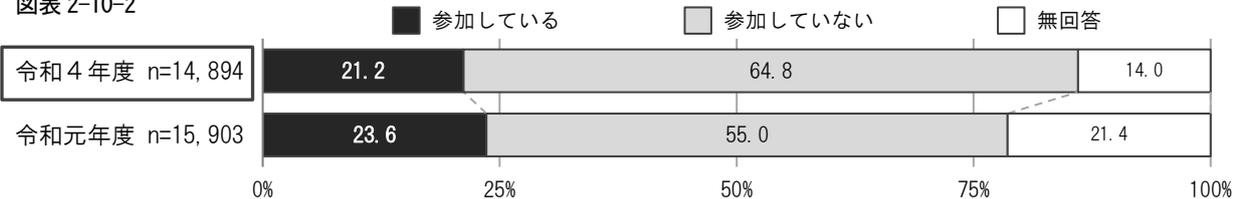
① ボランティアのグループ

図表 2-10-1



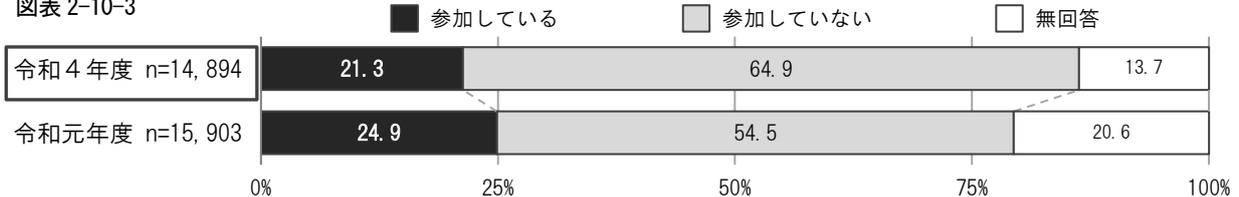
② スポーツ関係のグループやクラブ

図表 2-10-2



③ 趣味関係のグループ

図表 2-10-3



④ 学習・教養サークル

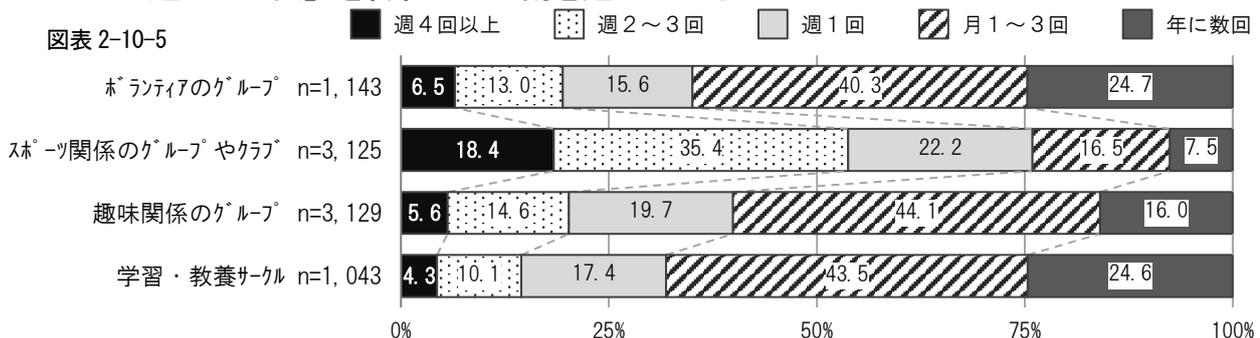
図表 2-10-4



※参加している = 「週4回以上」 + 「週2～3回」 + 「週1回」 + 「月1～3回」 + 「年に数回」の回答にて集計

▶ 「スポーツ関係のグループやクラブ」に『参加している』人の参加頻度は、「週4回以上」と「週2～3回」を合わせて5割を超えている

図表 2-10-5

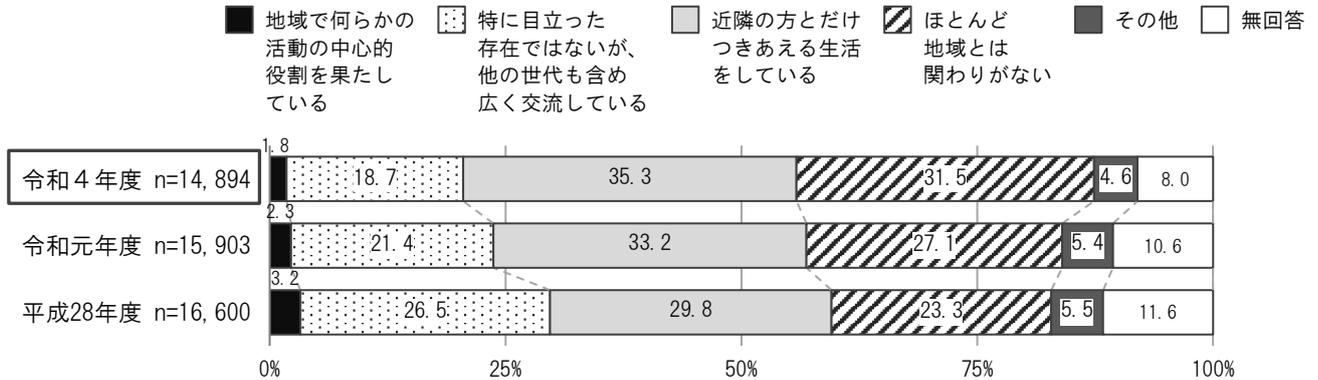


11 今後の暮らし方について

問41 あなたは今から数年後（おおむね5年後）の地域社会との関わりについて、どのように考えていますか。（1つの番号に○）

▶ 数年後は「ほとんど地域とは関わりがない」と考えている人の割合が増加傾向にあり、約3割となっている

図表 2-11-1



▶ 65～74歳の男性について、数年後は「ほとんど地域とは関わりがない」と考えている人の割合が高くなっており、65～74歳の女性では「特に目立った存在ではないが、他の世代も含め広く交流している」と考えている人の割合が高くなっている

図表 2-11-2

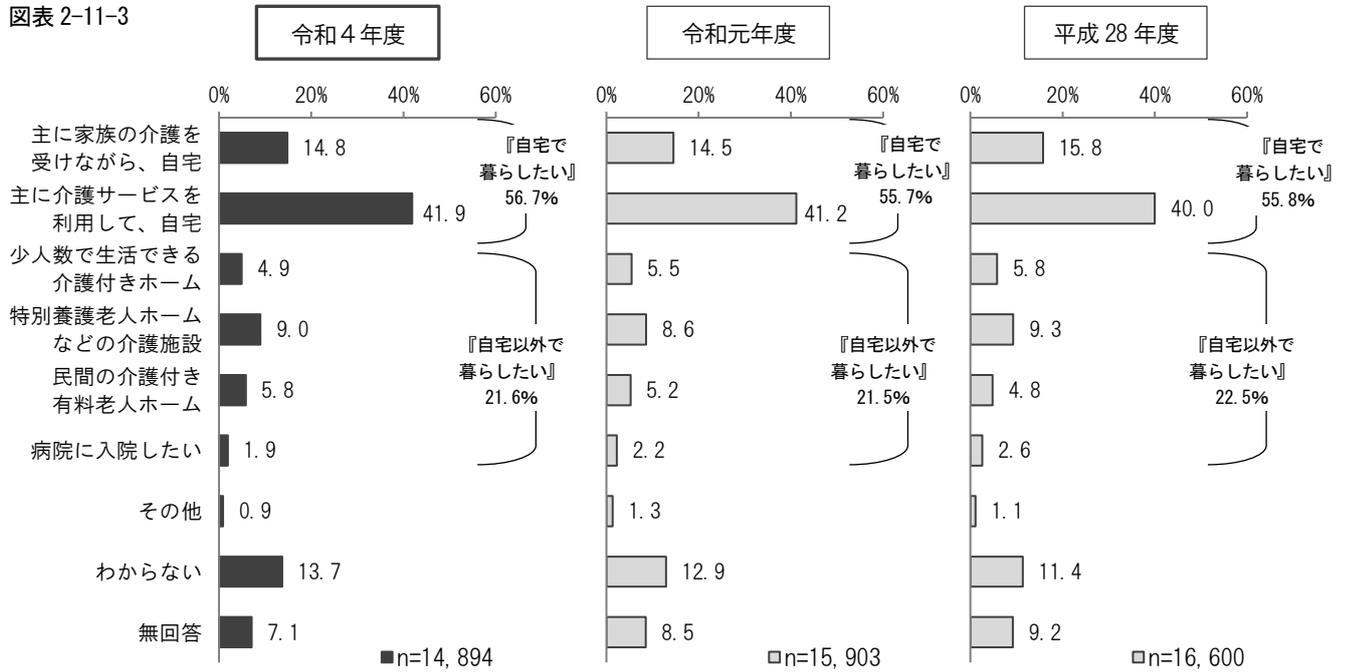
単位：%

項目		回答者数(人)	地域で何らかの活動の中心的役割を果たしている	特に目立った存在ではないが、他の世代も含め広く交流している	近隣の方とだけつきあえる生活をしている	ほとんど地域とは関わりがない	その他	無回答
全体		14,894	1.8	18.7	35.3	31.5	4.6	8.0
男性	65～69歳	1,722	2.2	20.0	28.9	42.6	2.6	3.7
	70～74歳	2,117	2.8	18.4	32.6	39.5	2.8	3.9
	75～79歳	1,679	2.2	17.1	36.7	35.1	2.6	6.3
	80～84歳	1,045	2.0	12.3	33.3	37.0	5.5	10.0
	85～89歳	426	2.2	9.7	38.0	32.0	6.9	11.2
	90歳以上	104	0.6	9.9	41.1	33.6	4.8	10.0
女性	65～69歳	1,745	1.6	25.7	32.1	29.2	6.5	4.9
	70～74歳	2,300	0.9	22.2	35.6	27.5	5.7	8.1
	75～79歳	1,799	1.6	19.4	41.2	21.8	4.3	11.7
	80～84歳	1,269	1.5	17.3	42.4	19.8	5.6	13.4
	85～89歳	544	0.7	9.4	38.2	26.0	8.5	17.0
	90歳以上	139	-	9.6	30.0	29.7	8.8	21.9

問42 あなたは介護が必要になった場合、どのようにしたいですか。
 (もっとも近いもの1つの番号に○)

▶ 介護が必要になった場合、どのようにしたいかの割合について、前回調査から変化はなく、『自宅で暮らしたい』が6割弱、『自宅以外で暮らしたい』が約2割となっている

図表 2-11-3



※『自宅で暮らしたい』 = 「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」 + 「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」
 ※『自宅以外で暮らしたい』 = 「少人数で生活できる介護付きホームで暮らしたい」 + 「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」 + 「民間の介護付き有料老人ホームに入りたい」 + 「病院に入院したい」

- ▶ 80歳以上の男性について、『自宅で暮らしたい』と考えている人の割合が高くなっており、他区と比較して「麻生区」「宮前区」で割合が高くなっている
- ▶ 65～69歳の女性や「一人暮らし高齢者」について、『自宅以外で暮らしたい』と考えている人の割合が高くなっている

図表 2-11-4

単位：%

項目		回答者数(人)	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	少人数で生活できる介護付きホーム(住宅)で暮らしたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	民間の介護付き有料老人ホームに入りたい	病院に入院したい	『自宅で暮らしたい』	『自宅以外で暮らしたい』
全体		14,894	14.8	41.9	4.9	9.0	5.8	1.9	56.7	21.6
男性	65～69歳	1,722	15.1	40.5	4.3	8.7	7.1	1.2	55.6	21.3
	70～74歳	2,117	17.3	39.7	4.2	10.5	5.5	1.5	57.0	21.7
	75～79歳	1,679	21.9	38.7	3.4	8.9	5.0	2.2	60.6	19.5
	80～84歳	1,045	22.2	39.7	2.1	8.3	3.3	1.8	61.9	15.5
	85～89歳	426	24.9	36.6	2.5	7.3	4.2	0.7	61.5	14.7
	90歳以上	104	31.5	41.1	1.8	9.9	3.7	1.8	72.6	17.2
女性	65～69歳	1,745	7.4	44.1	8.0	9.9	8.4	1.2	51.5	27.5
	70～74歳	2,300	9.3	44.9	6.1	8.9	6.8	1.6	54.2	23.4
	75～79歳	1,799	11.9	45.5	6.2	8.8	5.2	2.7	57.4	22.9
	80～84歳	1,269	13.7	45.9	4.6	8.0	4.1	2.6	59.6	19.3
	85～89歳	544	14.0	38.7	4.1	6.5	6.1	4.2	52.7	20.9
	90歳以上	139	23.5	21.5	4.1	6.9	4.8	7.4	45.0	23.2
居住区	川崎区	3,210	15.1	40.2	5.0	9.4	4.1	2.9	55.3	21.4
	幸区	2,329	14.3	42.1	4.8	10.4	4.7	1.9	56.4	21.8
	中原区	1,692	13.6	39.9	6.1	9.5	6.9	2.1	53.5	24.6
	高津区	1,347	16.4	38.1	4.5	9.1	5.0	1.9	54.5	20.5
	宮前区	2,466	15.5	43.8	4.8	8.5	6.2	1.2	59.3	20.7
	多摩区	1,704	13.2	44.0	5.6	8.0	5.7	1.7	57.2	21.0
	麻生区	2,141	15.4	45.4	3.7	8.0	8.3	1.5	60.8	21.5
家族構成	一人暮らし高齢者	2,986	4.5	40.1	7.3	10.5	6.6	2.9	44.6	27.3
	夫婦世帯	6,513	16.8	43.5	3.9	8.3	6.9	1.1	60.3	20.2
	子や孫など同居	4,375	19.2	40.9	4.9	9.1	4.1	2.4	60.1	20.5
	その他の世帯	749	10.2	45.9	4.6	8.4	4.4	2.2	56.1	19.6

※「その他」「わからない」「無回答」は掲載を省略

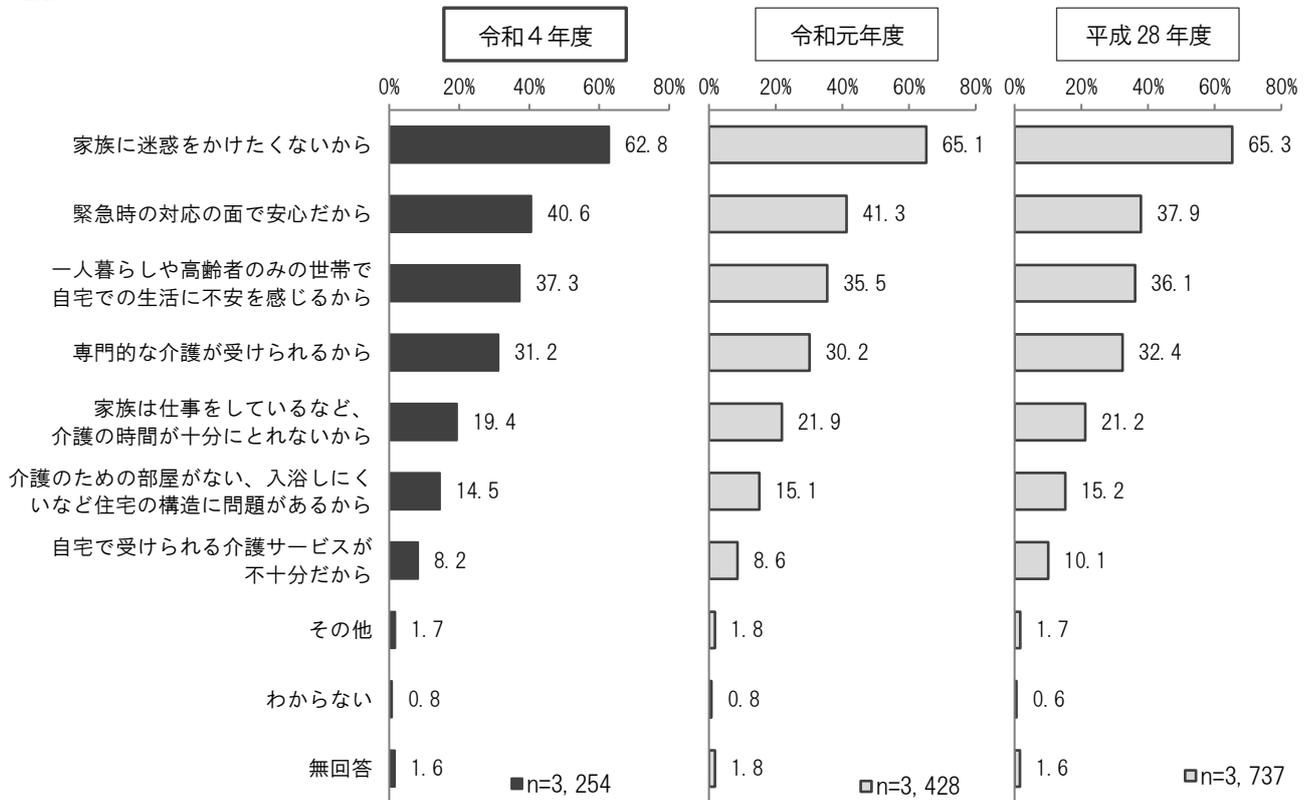
※『自宅で暮らしたい』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」＋「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」

※『自宅以外で暮らしたい』＝「少人数で生活できる介護付きホームで暮らしたい」＋「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」＋「民間の介護付き有料老人ホームに入りたい」＋「病院に入院したい」

問42-1 前問で「少人数の介護付きホーム（住宅）」「特別養護老人ホーム等介護施設入所」「介護付き有料老人ホーム」「病院に入院」と答えた方におうかがいします。
 なぜ自宅以外で生活したいとお考えですか。（あてはまるもの3つまでに○）

▶ 自宅以外で生活したいと考える理由として「家族に迷惑をかけたくないから」と考える人の割合が前回調査より微減し、6割を超えて最も高くなっている

図表 2-11-5



▶ 「子や孫など同居」世帯では、自宅以外で生活したいと考える理由として「家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」の割合が高くなっている

図表 2-11-6

単位：％

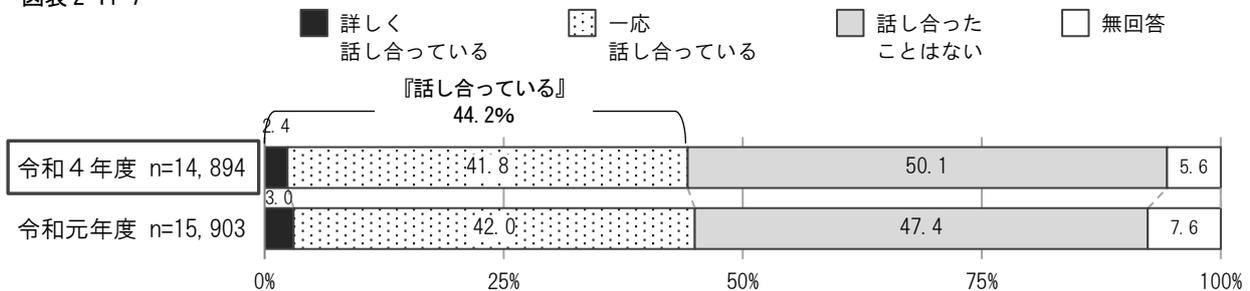
項目		回答者数(人)	家族に迷惑をかけたくないから	緊急時の対応の面で安心だから	一人暮らしや高齢者のみの世帯で自宅での生活に不安を感じるから	専門的な介護が受けられるから	家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから	介護のための部屋がない、入浴しにくいなど住宅の構造に問題があるから	自宅で受けられる介護サービスが不十分だから
全体		3,254	62.8	40.6	37.3	31.2	19.4	14.5	8.2
男性	65～69歳	359	58.8	32.5	38.2	28.1	15.0	13.2	11.3
	70～74歳	463	63.5	44.7	37.9	31.2	13.5	16.3	9.7
	75～79歳	336	65.7	43.7	36.7	31.9	14.1	13.5	11.0
	80～84歳	168	58.1	44.7	44.9	40.3	12.1	15.7	8.9
	85～89歳	62	55.9	35.8	34.6	36.9	16.8	21.8	3.3
	90歳以上	19	48.6	60.6	25.5	61.5	12.7	9.3	7.6
女性	65～69歳	806	64.9	37.1	37.5	28.3	19.1	12.9	8.5
	70～74歳	1315	60.8	41.8	43.9	29.1	20.6	14.4	6.0
	75～79歳	898	67.8	40.1	30.9	29.6	27.1	15.8	5.9
	80～84歳	144	64.6	38.2	30.7	29.8	33.2	16.0	5.4
	85～89歳	806	57.5	50.8	36.8	38.6	27.9	5.0	8.6
	90歳以上	1315	62.7	40.5	21.1	65.6	7.3	24.8	12.3
家族構成	一人暮らし高齢者	806	37.1	51.5	59.3	30.4	10.3	8.6	7.2
	夫婦世帯	1,315	68.5	41.6	43.5	32.8	10.7	13.2	9.0
	子や孫など同居	898	78.3	29.6	9.7	29.9	40.5	20.2	7.5
	その他の世帯	144	57.0	43.4	39.3	29.2	13.0	22.5	12.8
居住区	川崎区	680	62.7	41.1	32.5	27.4	21.5	16.9	8.8
	幸区	497	58.7	40.2	39.2	30.2	20.9	12.6	7.8
	中原区	405	61.2	41.6	34.7	30.8	21.6	13.5	6.9
	高津区	291	61.8	39.9	35.3	33.3	17.9	14.7	11.1
	宮前区	519	64.7	38.9	41.2	33.7	17.2	17.6	6.4
	多摩区	363	67.6	47.3	36.6	26.9	22.6	13.0	11.2
	麻生区	450	65.8	44.6	35.6	34.5	21.4	13.0	9.8

※「その他」「わからない」「無回答」は掲載を省略

問43 あなたは人生の最終段階における医療・介護について、ご家族の方と話し合っていますか。（1つの番号に○）

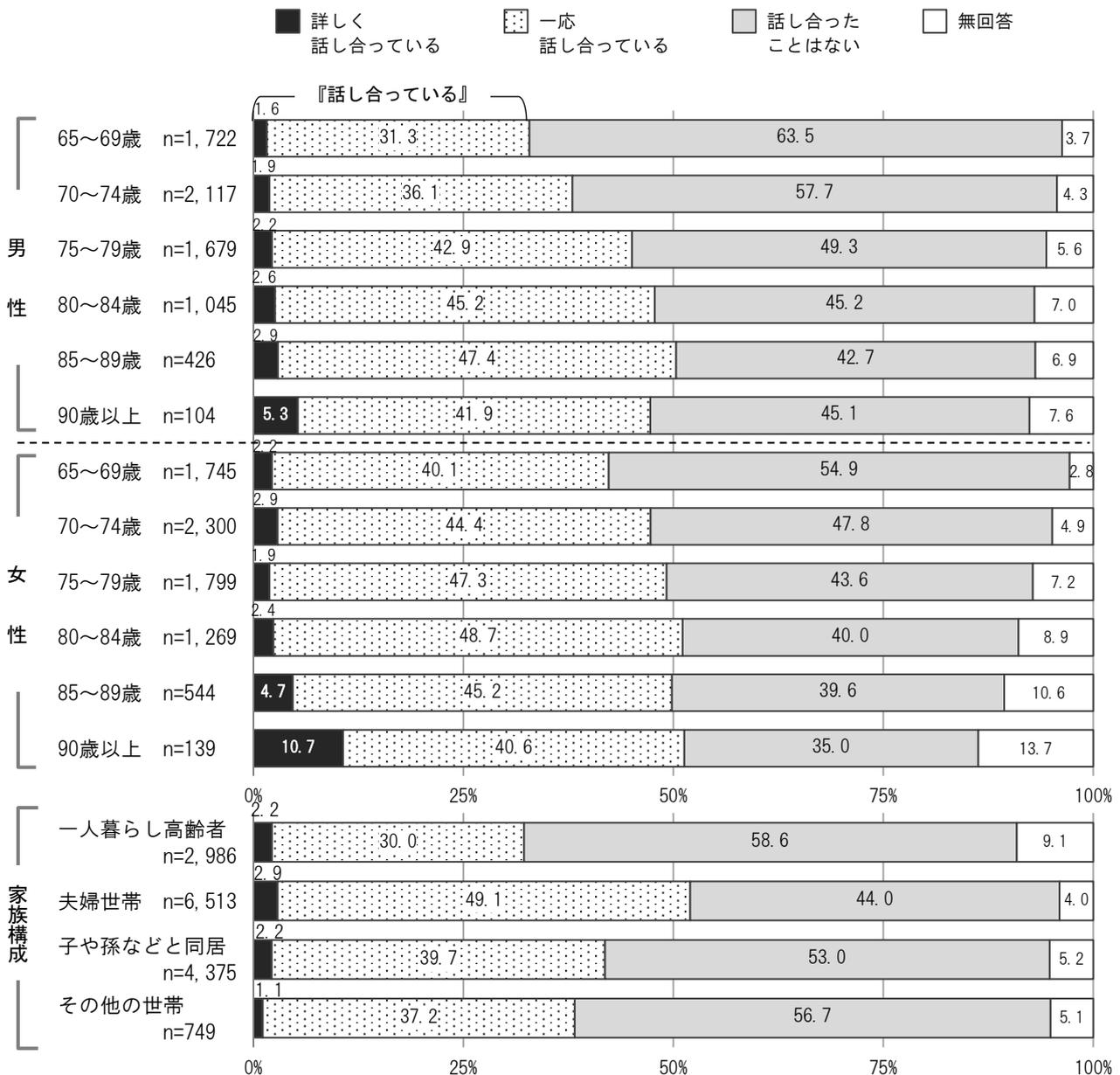
▶ 人生の最終段階における医療・介護について『話し合っている』割合は前回調査から変化はなく、4割を超えている

図表 2-11-7



▶ 85歳以上の男性、75歳以上の女性で『話し合っている』割合が約5割となっている

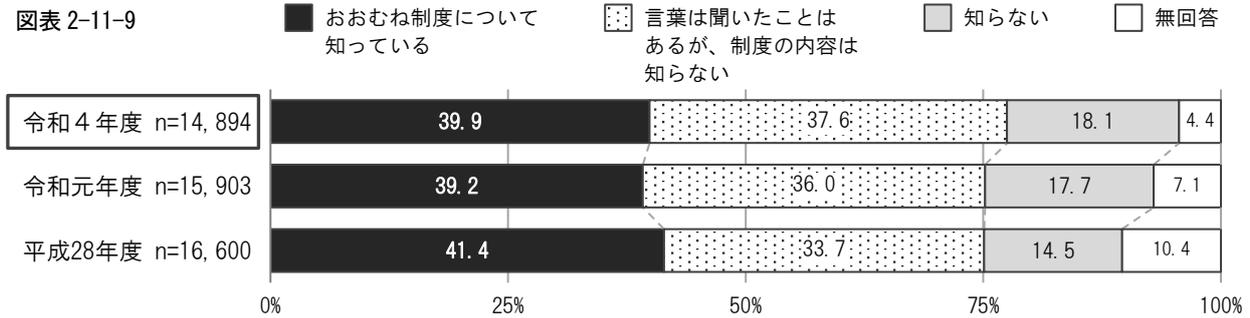
図表 2-11-8



問44 あなたは成年後見制度を知っていますか。(1つの番号に○)

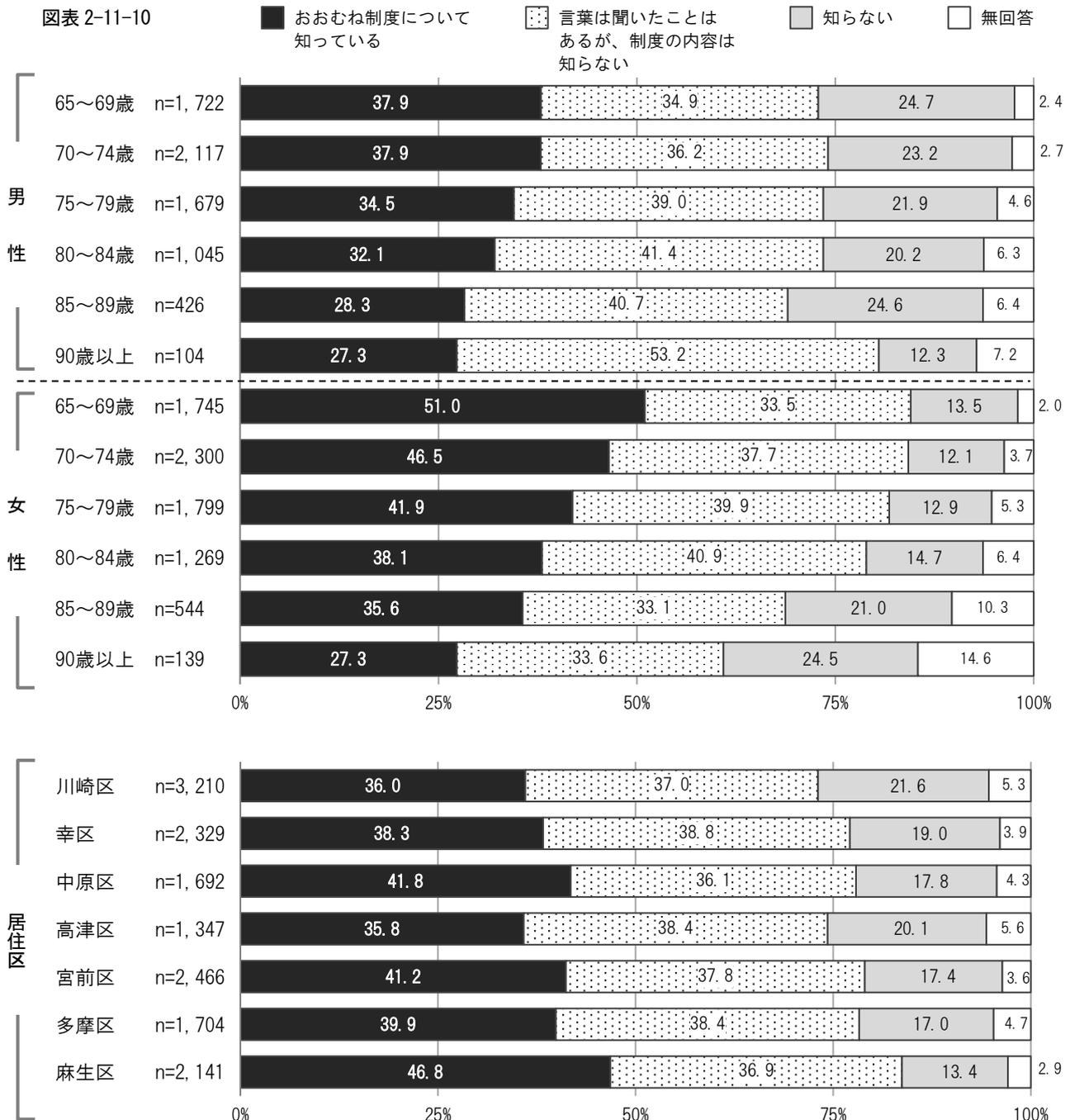
▶ 成年後見制度について「おおむね制度について知っている」人の割合は前回調査から変化はなく、約4割となっている

図表 2-11-9



▶ 65～69歳の女性について「おおむね知っている」割合が約5割となっており、他区と比較して「麻生区」は知っている人の割合が高くなっている

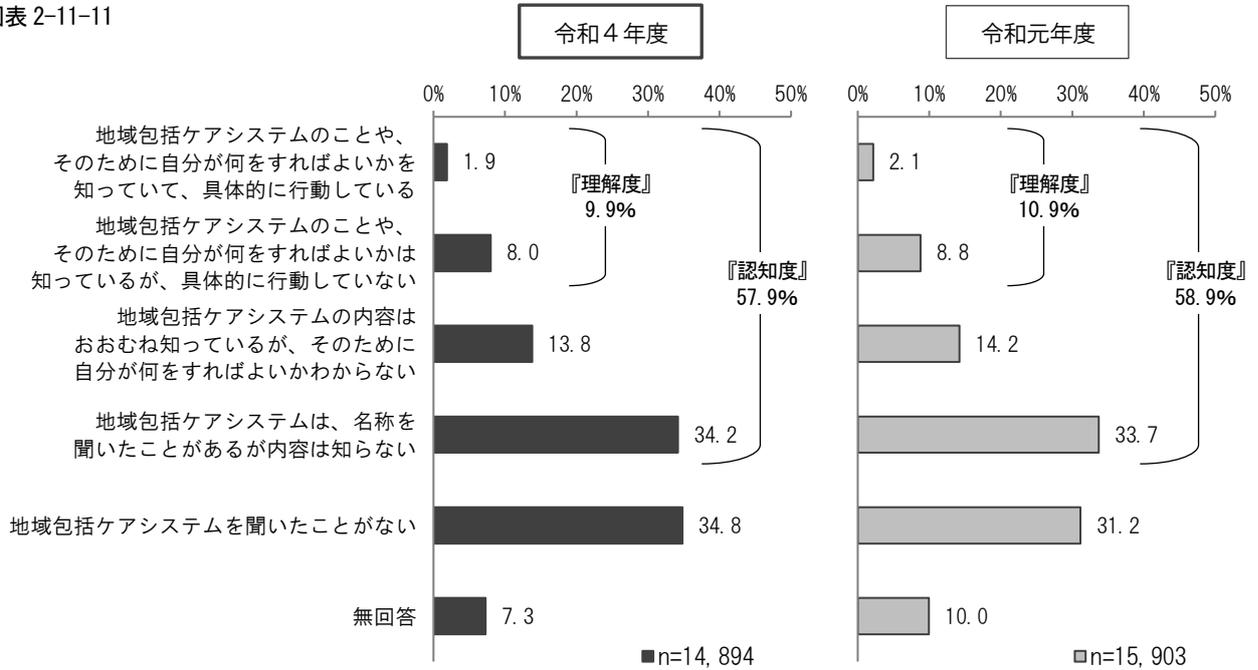
図表 2-11-10



問45 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものについて、ご回答ください。（1つの番号に○）

▶ 「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が前回調査より増加し、3割を超えている

図表 2-11-11



※『理解度』＝「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している」＋「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない」

※『認知度』＝『理解度』＋「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」＋「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」

▶ 65～84歳の女性について、地域包括ケアシステムの『認知度』の割合が高く、他区と比較して「麻生区」は『認知度』の割合が高くなっている

図表 2-11-12

単位：%

項目	回答者数(人)	地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している	地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない	地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない	地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない	地域包括ケアシステムを聞いたことがない	『理解度』	『認知度』	
全体	14,894	1.9	8.0	13.8	34.2	34.8	9.9	57.9	
男性	65～69歳	1,722	1.0	3.9	10.0	30.5	51.5	4.9	45.4
	70～74歳	2,117	1.1	4.7	10.0	34.2	45.9	5.8	50.0
	75～79歳	1,679	1.4	6.2	9.2	37.1	39.3	7.6	53.9
	80～84歳	1,045	1.2	6.1	12.1	38.0	32.6	7.3	57.4
	85～89歳	426	2.9	8.6	11.1	33.1	33.6	11.5	55.7
	90歳以上	104	2.7	4.9	11.0	30.7	39.3	7.6	49.3
女性	65～69歳	1,745	2.4	10.1	16.9	34.7	31.8	12.5	64.1
	70～74歳	2,300	2.4	11.3	17.8	33.7	28.8	13.7	65.2
	75～79歳	1,799	3.2	10.7	18.2	35.6	23.1	13.9	67.7
	80～84歳	1,269	2.1	9.7	18.1	33.3	23.9	11.8	63.2
	85～89歳	544	1.7	8.5	12.6	31.1	26.4	10.2	53.9
	90歳以上	139	2.4	9.7	7.7	27.4	32.9	12.1	47.2
居住区	川崎区	3,210	2.0	7.2	13.4	32.3	51.5	9.2	54.9
	幸区	2,329	2.0	7.7	13.9	35.2	45.9	9.7	58.8
	中原区	1,692	2.5	8.0	13.6	33.2	39.3	10.5	57.3
	高津区	1,347	1.4	7.3	11.4	33.9	32.6	8.7	54.0
	宮前区	2,466	2.2	7.0	14.0	34.9	33.6	9.2	58.1
	多摩区	1,704	1.4	8.6	13.7	33.5	39.3	10.0	57.2
	麻生区	2,141	2.0	10.1	16.9	36.8	31.8	12.1	65.8

※「無回答」は掲載を省略

※『理解度』＝「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している」＋「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない」

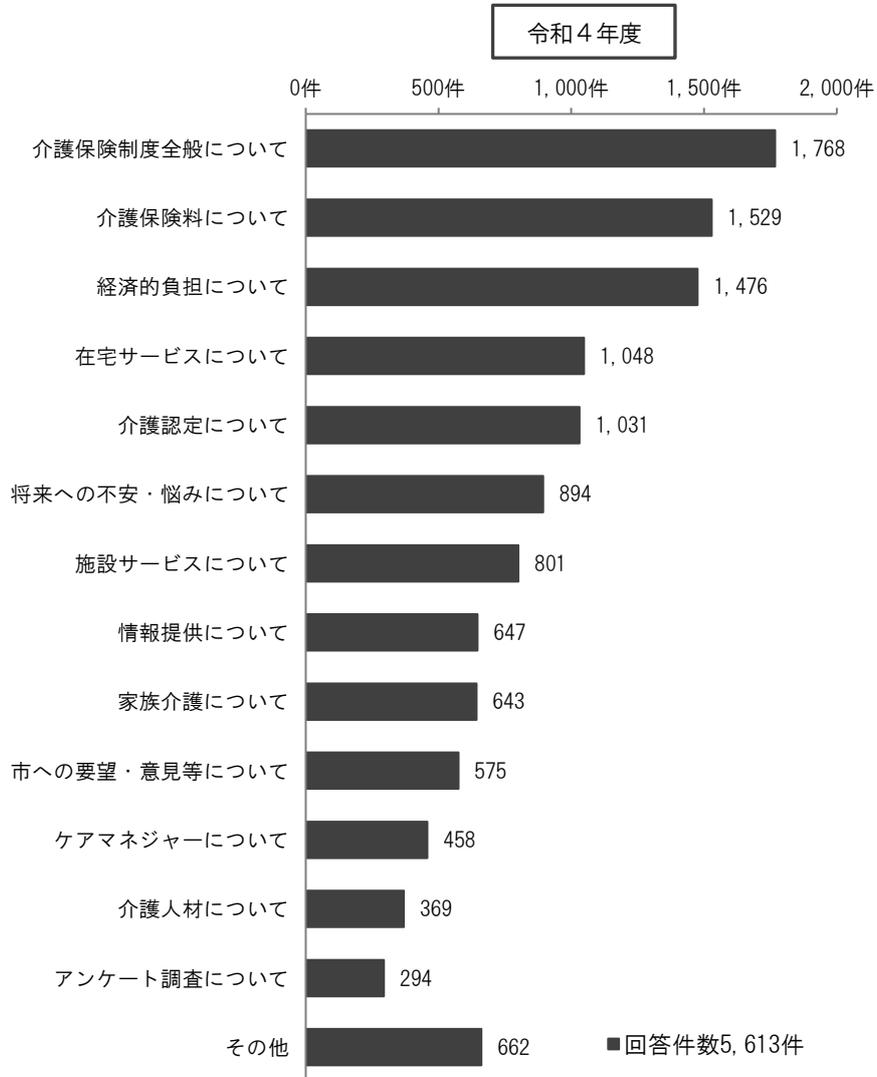
※『認知度』＝「理解度」＋「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」＋「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」

12 介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについての自由意見の件数

介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについて、ご意見があればお聞かせください。

▶ 「介護保険制度全般」「介護保険料」「経済的負担」についてのご意見が多くなっている

図表 2-12-1



※1人の意見の中に複数の意見がある場合は重複してカウントしている。